

令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事
(建築主体・電気設備工事)

設 計 図

令和 7 年 8 月

株式会社
プラス1設計室



THINKING KONG

特記仕様書（建築工事編）	
I 工事概要	
1. 工事場所	高知県四万十市西土佐用井 (都市計画区域 内・㊦)
2. 敷地面積	
3. 構造・規模	木造平屋建て
4. 建築面積	86.47 m ²
5. 延床面積	80.15 m ²
6. 主要用途	医師住宅
II 建築工事仕様	
1. 共通仕様	
(1)	図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。
(2)	電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は()図、機械設備工事の工事仕様書は()図による。
(3)	受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。
2. 特記仕様	
(1)	項目は、㊦印の付いたものを適用する。
(2)	特記事項は、㊦印の付いたものを適用する。 ㊦印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ㊦印と㊦印の付いた場合は、共に適用する。
(3)	特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4)	特記事項に記載の(別図-)は、標準仕様書の「別図 各部配筋」の当該項目を示す。
(5)	㊦印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。
(6)	標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

① 各章共通事項	<p>○適用基準及び区分</p> <p>※ 建築工事監理指針(上下巻) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) 鉄骨設計標準図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編) 建設副産物適正処理推進要綱 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。 区分等 基準風速 V₀= () m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表()</p> <p>○電気保安技術者</p> <p>○施工条件</p> <p>○発生材の処理</p> <p>・ 引き渡しを要するもの() ・ 特定管理産業廃棄物(種類: 処理方法:) ・ 現場において再利用を図るもの() ○再生資源化を図るもの(・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材) ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。</p> <p>・ 石綿含有建材の処理等</p> <p>○材料の品質等</p> <p>本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)から6)の事項を満たすものとする。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について(通知)」による証明書等を、監督職員に提出する。</p> <p>○特別な材料の工法</p> <p>標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>○施工図及び施工計画書</p> <p>提出した施工図及び施工計画書の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。</p>																																																									
② 各章共通事項	<p>○埋戻し及び盛土</p> <p>材料及び工法 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ㊦ C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書(施工条件明示)による。 D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書(施工条件明示)による。</p> <p>※構外搬出 搬出先の名称() 所在地(四万十市西土佐) 運搬距離() km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。 搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・ 構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積</p> <p>○騒音振動の防止</p> <p>低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。</p>																																																									
③ 各章共通事項	<p>○支持地盤等</p> <p>・ 杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ・ () ・ 図示</p> <p>○直接基礎 支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・ () ・ 図示 試験掘り(根切り底の状態の確認等) ・ 行わない ・ 行う 位置等 ・ 図示</p> <p>・ 地盤の載荷試験 載荷試験の方法等 ・ 図示</p> <p>・ 既製コンクリート杭地業</p> <p>種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490</p> <p>寸法、継手、性能等 (種別: 種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.3)</p>																																																									
④ 各章共通事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>コンクリート強度(N/mm²)</th> <th>鋼管厚(mm)</th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(m)</th> <th>継手数</th> <th>セト数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">試験杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">本杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>特記仕様書（建築工事編）(1) 令和4年度版</p> <p>工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事 設計図</p> <p>高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第 196860 号 永富 達也</p> <p>A-01 No.</p>		種類	コンクリート強度(N/mm ²)	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭	上杭									中杭									下杭									本杭	上杭									中杭 下杭								
	種類	コンクリート強度(N/mm ²)	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																	
試験杭	上杭																																																									
	中杭																																																									
	下杭																																																									
本杭	上杭																																																									
	中杭 下杭																																																									

・技能士	<p>(1.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>・型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄骨工事</td> <td>鉄工</td> <td>・構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</td> <td>ブロック建築</td> <td>・コンクリートブロック工事作業</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル施工</td> <td>・ALCパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">防水工事</td> <td rowspan="6">防水施工</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・ケレンゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・アクリルゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・合成ゴム系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木工事</td> <td>建築大工</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>枠組壁建築</td> <td>・枠組壁工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根及びといた工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>かわらぶき</td> <td>・かわらぶき作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>・鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">建具工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>・ビル用サッシ工事作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス施工</td> <td>・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>自動ドア施工</td> <td>・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">カーテンウォール工事</td> <td>カーテンウォール施工</td> <td>・金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td>サッシ施工</td> <td>・ビル用サッシ工事作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス施工</td> <td>・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装仕上施工</td> <td>・アクリル系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">熱絶縁施工</td> <td rowspan="2">表装</td> <td>・吹付け硬質ケレンフォーム断熱工事作業</td> </tr> <tr> <td>・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面表示施工</td> <td>・溶解ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマシナーカ工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>○完成時の提出図書</td> <td> <p>(1.7.1)</p> <p>※完成図(配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表)CADデータ(CD-R)とも 記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書(A4ファイル綴じ 提出部数:1部) ※施工図(CADデータ 提出部数:1部) ※保全に関する資料(提出部数 ※1部 ・部) ※工事写真・完成写真 写真データ(CD-R)とも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版</td> <td>工程毎</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>カラー ※キャビネ版</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>カラー ・全紙版(7R5額縁入)</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。 デジタル写真の仕様は1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。 ※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。</p> <p>※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上り塗材</td> <td>F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする</td> </tr> <tr> <td>②塗料</td> <td>ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する</td> </tr> <tr> <td>③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)</td> <td>1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2)フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする</td> </tr> <tr> <td>④内装用接着剤、木工用接着剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内に関わる材料(上記②～④)及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を有または成分について一覧表を作成し提出すること。</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示(仕上表備考欄) ・ ()か所</p> </td> </tr> <tr> <td>・室内空気中の化学物質の濃度測定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業	とび	・とび作業	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業	ALCパネル施工	・ALCパネル工事作業	防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ケレンゴム系塗膜防水工事作業	・アクリルゴム系塗膜防水工事作業	・合成ゴム系シート防水工事作業	・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業	・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業	・改質アスファルトシート防水工事作業	・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	枠組壁建築	・枠組壁工事作業	屋根及びといた工事	建築板金	・内外装板金作業	かわらぶき	・かわらぶき作業	金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業	建築板金	・内外装板金作業	左官工事	左官	・左官作業	建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ工事作業	ガラス施工	・ガラス工事作業	自動ドア施工	・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業	サッシ施工	・ビル用サッシ工事作業	ガラス施工	・ガラス工事作業	塗装工事	塗装	・建築塗装作業	内装仕上施工	・アクリル系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業	熱絶縁施工	表装	・吹付け硬質ケレンフォーム断熱工事作業	・壁装作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面表示施工	・溶解ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマシナーカ工事作業	植栽工事	造園	・造園工事作業	○完成時の提出図書	<p>(1.7.1)</p> <p>※完成図(配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表)CADデータ(CD-R)とも 記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書(A4ファイル綴じ 提出部数:1部) ※施工図(CADデータ 提出部数:1部) ※保全に関する資料(提出部数 ※1部 ・部) ※工事写真・完成写真 写真データ(CD-R)とも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版</td> <td>工程毎</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>カラー ※キャビネ版</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>カラー ・全紙版(7R5額縁入)</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。 デジタル写真の仕様は1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。 ※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。</p> <p>※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上り塗材</td> <td>F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする</td> </tr> <tr> <td>②塗料</td> <td>ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する</td> </tr> <tr> <td>③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)</td> <td>1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2)フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする</td> </tr> <tr> <td>④内装用接着剤、木工用接着剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内に関わる材料(上記②～④)及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を有または成分について一覧表を作成し提出すること。</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示(仕上表備考欄) ・ ()か所</p>	区分	分類規格	提出部数	部数	着工前及び工事中	カラー ※サービス版	工程毎	1部	カラー ※キャビネ版	枚	部	完成時	カラー ・全紙版(7R5額縁入)	枚	部	・	枚	部	対象建築材料等	使用制限	①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする	②塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する	③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2)フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする	④内装用接着剤、木工用接着剤		⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する	・室内空気中の化学物質の濃度測定	
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																																																										
仮設工事	とび	・とび作業																																																																																																																										
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業																																																																																																																										
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																																																										
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																																																										
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業																																																																																																																										
	とび	・とび作業																																																																																																																										
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業																																																																																																																										
	ALCパネル施工	・ALCパネル工事作業																																																																																																																										
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ケレンゴム系塗膜防水工事作業																																																																																																																										
		・アクリルゴム系塗膜防水工事作業																																																																																																																										
		・合成ゴム系シート防水工事作業																																																																																																																										
		・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業																																																																																																																										
		・シーリング防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																																																										
		・改質アスファルトシート防水工事作業																																																																																																																										
・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業																																																																																																																												
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																																																										
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																																																										
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																																																										
	枠組壁建築	・枠組壁工事作業																																																																																																																										
屋根及びといた工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																										
	かわらぶき	・かわらぶき作業																																																																																																																										
金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業																																																																																																																										
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																										
左官工事	左官	・左官作業																																																																																																																										
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ工事作業																																																																																																																										
	ガラス施工	・ガラス工事作業																																																																																																																										
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業																																																																																																																										
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業																																																																																																																										
	サッシ施工	・ビル用サッシ工事作業																																																																																																																										
	ガラス施工	・ガラス工事作業																																																																																																																										
塗装工事	塗装	・建築塗装作業																																																																																																																										
	内装仕上施工	・アクリル系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・化粧フィルム工事作業																																																																																																																										
熱絶縁施工	表装	・吹付け硬質ケレンフォーム断熱工事作業																																																																																																																										
		・壁装作業																																																																																																																										
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																																																										
舗装工事	路面表示施工	・溶解ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマシナーカ工事作業																																																																																																																										
植栽工事	造園	・造園工事作業																																																																																																																										
○完成時の提出図書	<p>(1.7.1)</p> <p>※完成図(配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表)CADデータ(CD-R)とも 記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。 ※施工計画書(A4ファイル綴じ 提出部数:1部) ※施工図(CADデータ 提出部数:1部) ※保全に関する資料(提出部数 ※1部 ・部) ※工事写真・完成写真 写真データ(CD-R)とも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版</td> <td>工程毎</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>カラー ※キャビネ版</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>カラー ・全紙版(7R5額縁入)</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。 デジタル写真の仕様は1適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。 ※上記の他、完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。 ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。</p> <p>※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物(VOC)の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上り塗材</td> <td>F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする</td> </tr> <tr> <td>②塗料</td> <td>ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する</td> </tr> <tr> <td>③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)</td> <td>1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2)フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする</td> </tr> <tr> <td>④内装用接着剤、木工用接着剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内に関わる材料(上記②～④)及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を有または成分について一覧表を作成し提出すること。</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること 測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示(仕上表備考欄) ・ ()か所</p>	区分	分類規格	提出部数	部数	着工前及び工事中	カラー ※サービス版	工程毎	1部	カラー ※キャビネ版	枚	部	完成時	カラー ・全紙版(7R5額縁入)	枚	部	・	枚	部	対象建築材料等	使用制限	①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする	②塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する	③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2)フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする	④内装用接着剤、木工用接着剤		⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する																																																																																													
区分	分類規格	提出部数	部数																																																																																																																									
着工前及び工事中	カラー ※サービス版	工程毎	1部																																																																																																																									
	カラー ※キャビネ版	枚	部																																																																																																																									
完成時	カラー ・全紙版(7R5額縁入)	枚	部																																																																																																																									
	・	枚	部																																																																																																																									
対象建築材料等	使用制限																																																																																																																											
①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上り塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする																																																																																																																											
②塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロロビクリン、ダイアゾリン、フェノール系を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する																																																																																																																											
③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2)フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする																																																																																																																											
④内装用接着剤、木工用接着剤																																																																																																																												
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する																																																																																																																											
・室内空気中の化学物質の濃度測定																																																																																																																												

○設備工事との取り合い	<p>設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工範囲</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁貫通部の補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>梁貫通部のスリーブ</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フアヒンジ</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋込形電盤、消火栓等の仮枠及び補強</td> <td>仮枠</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>補強</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>電気室、自家発電室などのピット(蓋含む)</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 図示</p>	施工範囲	区分	梁貫通部の補強	※本工事 ・別途工事	梁貫通部のスリーブ	・本工事 ※別途工事	自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フアヒンジ	※本工事 ・別途工事	天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強	※本工事 ・別途工事	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地	・本工事 ※別途工事	埋込形電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	・本工事 ※別途工事	補強	※本工事 ・別途工事	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート	・本工事 ※別途工事	電気室、自家発電室などのピット(蓋含む)	※本工事 ・別途工事
施工範囲	区分																					
梁貫通部の補強	※本工事 ・別途工事																					
梁貫通部のスリーブ	・本工事 ※別途工事																					
自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フアヒンジ	※本工事 ・別途工事																					
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強	※本工事 ・別途工事																					
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地	・本工事 ※別途工事																					
埋込形電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	・本工事 ※別途工事																				
	補強	※本工事 ・別途工事																				
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート	・本工事 ※別途工事																					
電気室、自家発電室などのピット(蓋含む)	※本工事 ・別途工事																					
○設計GL																						
○足場その他	<p>(2.2.4)</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり掘置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外部足場に設ける防護シート等 ○養生シート※JISA8952のI類に適合するもの (建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの) ・ 防音シート ・ 採光防音シート ・ 養生ネット</p> <p>・ 設ける 規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は(2.3.1)現場説明書(施工条件明示)による。 ※設けない</p> <p>構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ・ 無償) ・ 利用できない 構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ・ 無償) ・ 利用できない</p>																					
○監督職員事務所等																						
○工事用水																						
○工事用電力																						
○埋戻し及び盛土	<p>(3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>材料及び工法 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ㊦ C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書(施工条件明示)による。 D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書(施工条件明示)による。</p> <p>(3.2.5)</p> <p>※構外搬出 搬出先の名称() 所在地(四万十市西土佐) 運搬距離() km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。 搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・ 構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積</p> <p>低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。</p>																					
○建設発生土の処理																						
○騒音振動の防止																						
○支持地盤等	<p>(4.2.1)(4.3.4、5)(4.5.5、6)</p> <p>・ 杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ・ () ・ 図示</p> <p>○直接基礎 支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・ () ・ 図示 試験掘り(根切り底の状態の確認等) ・ 行わない ・ 行う 位置等 ・ 図示</p> <p>・ 地盤の載荷試験 載荷試験の方法等 ・ 図示</p> <p>・ 既製コンクリート杭地業</p> <p>種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490</p> <p>寸法、継手、性能等 (種別: 種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.3)</p>																					
○地業																						
○工事																						
特記仕様書（建築工事編）(1)	令和4年度版																					
工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事 設計図																					
高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第 196860 号 永富 達也	A-01 No.																					

鋼杭地業	杭先端部形状 (4.3.3)	・開放形 ・半開放形 ・閉そく形
	セメントミルク工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.4)	試験杭 試験杭の位置 ・図示による() 掘削深さ ・図示による() 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内
	特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.5)	・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$ 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周固定液 ・使用する ・使用しない
	試験杭	試験杭の位置 ・図示による() 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ※1/100以内
	杭の継手の工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)	・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による
	杭頭の処理等 (4.3.8)	・処理しない ・処理する 処理方法(切断ともなう補強方法含む) ・図示による()
	杭頭の中詰め材料 (4.3.8)	・基礎のコンクリートと同調合のもの
	材料、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)	
		種類 厚さ(mm) 杭径(mm) 杭長(m) 継手数 セット数 長期設計支持力(kN/本) 備考
		試験杭 上杭 中杭 下杭
	本杭 上杭 中杭 下杭	
	杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉塞形 先端部の補強 ・標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による 先端部の補強(補強バンドなど)及びその他付属品の材質 ・SS400と同等またはそれ以上	

場所打ち コンクリート杭 地業	特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)	・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式のうち α 、 β 、 γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$ 工法 ・中掘り拡大根固め工法 試験杭 試験杭の位置 ・図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ※1/100以内	
	杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)	・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 検査 ※評定等により定められた項目 施工 ※評定等をされた施工管理基準による	
	杭頭の処理等 (4.3.8)(4.4.6)	・処理しない ・処理する 処理方法(切断ともなう補強方法含む) ・図示による()	
	杭頭の中詰め材料 (4.3.8)	・基礎のコンクリートと同調合のもの	
	工法 (4.5.1)(4.5.5)	・アースドリル工法(安定液 ※使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない)	
	併用する工法 (4.5.1)(4.5.6)	・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・SKK400 ・SKK490 ・拡底杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない)	
	寸法等 (4.2.2)		
		鋼管厚(mm) 鋼管径(mm) 軸径(mm) 拡底径(mm) 杭長(m) セット数 長期設計支持力(kN/本) 備考	
		試験杭	
		本杭	
	試験杭 試験杭の位置 ・図示による() 孔壁の保持状況(孔壁測定) 測定箇所 ・試験杭()箇所及び本杭()箇所 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による() 杭の精度 水平方向の位置ずれ ※杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ※1/100以内 鉄筋の種類 (4.5.4)		
	種類の記号 呼び径(mm) 備考		
	・SD295		
	・SD345		
	・		
	帯筋 (4.5.4)	・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)6.2帯筋(b)(3)⑥(ロ))	

砂利地業 捨コンクリート 地業 床下防湿層 地盤改良工法	鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)	・100mm
	鉄筋かごの補強 (4.5.4)	・図示による() ・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する
	組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)	※重ね継手 重ね継手の長さ ・図示による()
	主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)	・図示による()
	セメントの種類 (4.5.4)	※高炉セメントB種
	コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)	・図示による()
	コンクリートの種別 (4.5.4)	・A種 ・B種 ・評定等の内容による
	スランブ (4.5.4)	※18cm
	構造体強度補正值 (4.5.4)	※3N/mm ² ・図示による() ・評定等の内容による
	材料 (4.6.2)	◎再生クラッシュラン
	・切込砂利又は切込砕石	
	砂利厚さ (4.6.3)	・60mm ◎ 100mm
	施工範囲 (4.6.3)	・基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ◎図示による()
	厚さ (4.6.4)	※50mm
	施工範囲 (4.6.4)(6.14.1)	・基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ◎図示による()
	設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)	※18N/mm ²
	スランブ (4.6.4)(6.14.1)	※15cm又は18cm
	材料 (4.6.2、5)	※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
	施工範囲	・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) ・図示
	種類及び施工方法等	・図示による()
	六価クロム溶出試験	※現場説明書による

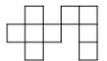
特記仕様書(建築工事編)(2)

令和4年度版

工事名称

令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築

工事設計図



株式会社

プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8

TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247

事務所登録 第 1324 号

1級建築士 第 196860 号 永富 達也

A-02

No.

・ALCパネル	ALCパネルの区分等 (8.4.2~5)																							
	区分	単位荷重 (N/m ²) 正荷重 負荷重		厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能 (時間)	構法の種別																	
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・	・	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種																	
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・	・	図示による	・なし ・1	・C種 ・D種 ・E種																	
・屋根用	・	・	・	・	図示による	・0.5	・																	
・床用	・	・	・	・	図示による	・1 ・2	※F種																	
<p>パネルの相互の接合部に挿入する目地材</p> <p>外壁、屋根パネルの構法</p> <p>1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した構法</p> <p>耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による</p> <p>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合</p> <p>・図示による</p> <p>目地幅 (mm)</p> <p>(パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部)</p> <p>※10~20</p> <p>外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない</p>																								
・押出成形セメント板 (ECP)	ECPの種類等 (8.5.2~5)																							
	パネルの種類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考																		
・外壁パネル	・F (フラット ^ハ ^ホ ^ホ)	・	・50・60	・	・A種 ・B種																			
	・D (デ ^ザ イン ^ハ ^ホ)	・	・50・60	600																				
・間仕切壁パネル	・F (フラット ^ハ ^ホ ^ホ)	・	・50・60	・	・B種 ・C種																			
	・D (デ ^ザ イン ^ハ ^ホ)	・	・50・60	600																				
・T (タイ ^ル ヘ ^ス ^ホ)	・	60	・	・																				
	・	60	・	・																				
<p>外壁パネルの工法</p> <p>1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合</p> <p>・図示による</p> <p>パネル相互の目地幅 (mm) ※長辺10、短辺15以上</p> <p>出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※15程度</p> <p>耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様</p> <p>やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>開口の大きさ</td> <td>切断後のパネルの残り部分の幅</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネルに開口を設ける場合</td> <td>短辺</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による</p>									開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・	長辺	・	・	パネルを切り欠く場合	短辺	・	・	長辺	・	・
		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																					
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・																					
	長辺	・	・																					
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・																					
	長辺	・	・																					

・改質アスファルトシート防水	屋根露出防水																																																																																										
	種別	施工箇所																																																																																									
・D-1																																																																																											
・D-2																																																																																											
・D-3																																																																																											
・D-4																																																																																											
・DI-1																																																																																											
・DI-2																																																																																											
<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による</p> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置</p> <p>※図示</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・数量 ()、設置数量 () 個</p> <p>屋根排水溝 ※図示</p> <p>断熱材 G (DI-1、DI-2の場合)</p> <p>種類 ・</p> <p>厚さ ※25mm ・50mm</p> <p>仕上塗料</p> <p>種類 ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による</p> <p>使用量 ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による</p> <p>高日射反射率防水 G ・適用する</p>																																																																																											
屋内外水 (9.2.3~5) (表9.2.9)																																																																																											
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																								
・E-1		・E-2																																																																																									
保護層 ・設ける (※図示)																																																																																											
<p>防水層の下地のモルタル塗り ・適用する (施工範囲 図示)</p> <p>防水層の下地立上り ・コンクリート打放しB種 ()</p> <p>屋上排水溝 ・適用する ()</p>																																																																																											
押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 (9.3.2~3) (表9.3.1~3)																																																																																											
<p>屋根露出防水</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">種別</td> <td rowspan="2">施工箇所</td> <td colspan="2">改質アスファルトシート</td> <td rowspan="2">断熱材 G</td> <td rowspan="2">防湿層</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>厚さ (mm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・AS-T1</td> <td rowspan="2">下層用</td> <td>※非露出複層防水用R種</td> <td>※2.5以上</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>※露出複層防水用R種</td> <td>※3.0以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・AS-T2</td> <td rowspan="2">上層用</td> <td>※露出単層防水用R種</td> <td>※4.0以上</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・AS-T3</td> <td rowspan="2">下層用</td> <td>※非露出複層防水用R種</td> <td>※1.5以上</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・AS-T4</td> <td rowspan="2">上層用</td> <td>※露出複層防水用R種</td> <td>※3.0以上</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・AS-J1</td> <td rowspan="2">下層用</td> <td>※非露出複層防水用R種</td> <td>※1.5以上</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・AS-J1</td> <td rowspan="2">上層用</td> <td>※露出複層防水用R種</td> <td>※2.0以上</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ASI-T1</td> <td rowspan="2">下層用</td> <td>※非露出複層防水用R種</td> <td>※1.5以上</td> <td rowspan="2">種類 ・</td> <td rowspan="2">・設ける</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ASI-T1</td> <td rowspan="2">上層用</td> <td>※露出複層防水用R種</td> <td>※3.0以上</td> <td rowspan="2">厚さ ・25mm</td> <td rowspan="2">・設けない</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ASI-J1</td> <td rowspan="2">下層用</td> <td>※非露出複層防水用R種</td> <td>※1.5以上</td> <td rowspan="2">厚さ ・50mm</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ASI-J1</td> <td rowspan="2">上層用</td> <td>※露出複層防水用R種</td> <td>※2.0以上</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>				種別	施工箇所	改質アスファルトシート		断熱材 G	防湿層	種類	厚さ (mm)	・AS-T1	下層用	※非露出複層防水用R種	※2.5以上			※露出複層防水用R種	※3.0以上	・AS-T2	上層用	※露出単層防水用R種	※4.0以上			・	・	・AS-T3	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上			・	・	・AS-T4	上層用	※露出複層防水用R種	※3.0以上			・	・	・AS-J1	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上			・	・	・AS-J1	上層用	※露出複層防水用R種	※2.0以上			・	・	・ASI-T1	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上	種類 ・	・設ける	・	・	・ASI-T1	上層用	※露出複層防水用R種	※3.0以上	厚さ ・25mm	・設けない	・	・	・ASI-J1	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上	厚さ ・50mm	・	・	・	・ASI-J1	上層用	※露出複層防水用R種	※2.0以上	・	・	・	・
種別	施工箇所	改質アスファルトシート				断熱材 G	防湿層																																																																																				
		種類	厚さ (mm)																																																																																								
・AS-T1	下層用	※非露出複層防水用R種	※2.5以上																																																																																								
		※露出複層防水用R種	※3.0以上																																																																																								
・AS-T2	上層用	※露出単層防水用R種	※4.0以上																																																																																								
		・	・																																																																																								
・AS-T3	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上																																																																																								
		・	・																																																																																								
・AS-T4	上層用	※露出複層防水用R種	※3.0以上																																																																																								
		・	・																																																																																								
・AS-J1	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上																																																																																								
		・	・																																																																																								
・AS-J1	上層用	※露出複層防水用R種	※2.0以上																																																																																								
		・	・																																																																																								
・ASI-T1	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上	種類 ・	・設ける																																																																																						
		・	・																																																																																								
・ASI-T1	上層用	※露出複層防水用R種	※3.0以上	厚さ ・25mm	・設けない																																																																																						
		・	・																																																																																								
・ASI-J1	下層用	※非露出複層防水用R種	※1.5以上	厚さ ・50mm	・																																																																																						
		・	・																																																																																								
・ASI-J1	上層用	※露出複層防水用R種	※2.0以上	・	・																																																																																						
		・	・																																																																																								

・合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種別 (9.4.2~4) (表9.4.1~3)																																			
	種別	施工箇所	ルーフィングシートの厚さ (mm)	断熱材 G	仕上塗料	防湿層																														
・S-F1		※1.2			・カラー ・シルバ																															
・S-F2		※2.0																																		
・S-M1		※1.5																																		
・S-M2		※1.5																																		
・SI-F1		※1.2	種類 ・		・カラー ・シルバ	・設ける																														
・SI-F2		※2.0																																		
・SI-M1		※1.5	厚さ ・25 ・50		・カラー ・シルバ	・設けない																														
・SI-M2		※1.5																																		
・S-C1		※1.0																																		
<p>S-F1、SI-F1の場合</p> <p>プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 () 図示</p> <p>プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り () 図示</p> <p>S-C1の保護層</p> <p>平場 ・モルタル塗り 塗り厚 (・30mm) ・保護コンクリート 厚さ () mm</p> <p>立上り部の保護モルタルの塗厚 ※7mm以下 ()</p>																																				
・塗膜防水	防水層の種別 (9.5.3) (表9.5.1~2)																																			
	種別	施工箇所	備考																																	
・X-1			仕上塗料塗り ・カラー																																	
・X-2			・シルバ																																	
・Y-1	※地下外壁防水																																			
・Y-2	※屋内防水		Y-2の保護層 ・設ける																																	
・ケイ酸質系塗布防水	防水層の種別 (9.6.3) (表9.6.1)																																			
	種別	施工箇所	種別	施工箇所																																
※C-U1			・C-U P																																	
・FRP防水	防水層の種別																																			
	種別	施工箇所	備考																																	
・脱気装置	(9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3)																																			
	防水種別	種類	設置数量																																	
D-1 D-2 D-3 D-4	※アスファルトルーフィング類 (又は改質アスファルトシート、ルーフィングシート) の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類 (又は改質アスファルトシート、ルーフィングシート) の製造所の仕様による																																		
DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS1-T1 AS1-J1 S-F1 S-F2 S1-F1 S1-F2	・	・ () 個/m ²																																		
X-1	※主材料の製造所の仕様による	※主材料の製造所の仕様による																																		
<p>下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。 (9.7.2、3、5) (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>サイディング</td> <td>MS-2 10×10程度</td> </tr> </table> <p>シーリング面への仕上塗材仕上げ等 ・行う ○行わない</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (部位)</p> <p>保証期間は (10) 年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。</p>					サイディング	MS-2 10×10程度																														
サイディング	MS-2 10×10程度																																			
10石工事	・施工	石材の割付け (取合い部以外) () 図示 (10.1.3)																																		
	・石材	<p>天然石 (10.2.1~3) (表10.2.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>岩石の種類</td> <td>等級</td> <td>形状</td> <td>寸法 (mm)</td> <td>厚さ (mm)</td> <td>表面仕上げ</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>テラゾブロック</p> <table border="1"> <tr> <td>施工箇所</td> <td>種石の種類</td> <td>大きさ</td> <td>形状による区分</td> <td>仕上げ面による区分</td> <td>寸法 (mm)</td> <td>厚さ (mm)</td> <td>表面仕上げ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td></td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				施工箇所	岩石の種類	等級	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考			・1等品 ・2等品						施工箇所	種石の種類	大きさ	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ		※大理石 ・花こう岩		・平もの ・役もの	・片面 ・両面		
施工箇所	岩石の種類	等級	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考																													
		・1等品 ・2等品																																		
施工箇所	種石の種類	大きさ	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ																													
	※大理石 ・花こう岩		・平もの ・役もの	・片面 ・両面																																
特記仕様書 (建築工事編) (5)			令和4年度版																																	
工事名称		令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築			工事 設計図																															
 株式会社 プラス1設計室		高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第 196860 号 永富 達也			A-05 No.																															

		・テラコタイル									
		施工箇所	種石の種類	大きさ(mm)	寸法による区分	厚さ(mm)	表面仕上げ				
		※大理石 ・花こう岩			・300型 ・400型						
		乾式工法的方式による金物の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法等 ・ () ・ 図示 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質 ・ () ・ 図示 石表面処理及び裏打ち処理 (10.3.2)(10.5.2)(10.6.2、3) ・適用する ・適用しない									
① タ イル 工 事	・伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 ○タイル ・セメント系による タイル張り ・有機系接着剤に よるタイル張り	位置 () ・ 図示 (11.1.3)(表11.1.1)									
		タイルの形状、寸法等 (11.2.2、4、6)									
		形状寸法 (mm)	再生材 適用 [G]	吸水率による区分 I類 II類 III類	うわぐすり 施ゆう	役物 有 無	色 標準 特注	耐凍害性 あり なし	耐滑 り性	備 考	
		玄関前	150角	・	○	・	・	・	○	・	・
		玄関	150角	・	○	・	・	・	・	・	・
		役物使用箇所 ※各部の形状は図示による									
		内 装	出隅 天端								
		外 装	出隅、窓台、マグサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする)								
		見本焼き ・行う ・行わない 試験張り ・行う ・行わない									
		壁タイル張りの工法 (11.2.2、6) 内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り 下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法(高圧水洗処理)									
壁タイル張りの工法 (11.3.2~5) 内装タイル ・内装タイル接着剤張り 外装タイル ・外装タイル接着剤張り 内装タイル以外のユニットタイル ・外装タイル接着剤張り 下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法(高圧水洗処理) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。											
② 木 工 事	○表面仕上げ ○木 材 [G] ○製 材 [G]	機械加工 ・A種 ※B種 ・C種 (12.1.4) 適用箇所 ()									
		手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 適用箇所 ()									
		・本工事に使用する木材は、高知県内産材(高知県内の森林から生産された木材)を使用するものとする。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。 ○木材は原則 四万十市有林より生産された木材を使用することとし、 原木が四万十市産材であることを明確に証する資料(産地証明等)を提示すること。 ただし、内部造作材及び5m以上の長尺構造材(通し柱、登り梁)は例外とする。 その他これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。									
		日本農林規格(JAS)以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっ ていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所 ()									
		間伐材等の適用 ・使用する(使用箇所) 木材の含水率 ※A種 ・B種 (以降の表に記載のある場合はその数値を優先する)									
		ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。									
		・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)									
		施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用			
				※2級	・	※A種 ・B種	・	・			
				※2級	・	※A種 ・B種	・	・			
		※2級	・	※A種 ・B種	・	・					
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材											
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用					
見え掛り面		※上小節	・	※A種 ・B種	・	・					
見え掛り面 以外		※小節以上	・	※A種 ・B種	・	・					
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹用製材											
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等 の適用					
		※1等	・	※10%以下 ・A種 ・B種	・	・					
		※1等	・	※10%以下 ・A種 ・B種	・	・					

○JAS 1083(製材)以外の製材(下地材)						
施工箇所	寸法 (mm)	造作材の材面 の品質	防虫処理	防腐・ 防蟻処理	含水率	間伐材等 の適用
野物		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・
○JAS 1083(製材)以外の製材(構造材)						
施工箇所	寸法 (mm)	造作材の材面 の品質	防虫処理	防腐・ 防蟻処理	含水率	間伐材等 の適用
土台・大引 柱・梁 垂木等		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	○適用する ・適用しない	○適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・
○防虫、防腐、防蟻処理(GL+1.0mの範囲内)とする						
・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 (12.2.1)						
施工箇所	品 名	樹 種	寸 法 (mm)	見付け材面	見付け材面 の品質	
					※1等 ・2等	
					※1等 ・2等	
・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材						
施工箇所	品 名	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸 法 (mm)	化粧薄板の 厚さ(mm)	見付け材面 の品質
						※1等 ・2等 ※1等 ・2等
○「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材						
施工箇所	樹 種	寸 法 (mm)	含 水 率	見付け材面の品質		
	桧	35・15	※15%以下			
・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材						
施工箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸 法 (mm)	化粧薄板の 厚さ(mm)	含 水 率	見付け材面の品質
					※15%以下	
・造作用単板積層材 [G]						
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)						
施工箇所	品 名	寸 法 (mm)	表面の品質		防虫処理	
			・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)		・する ・しない	
・JAS 0701以外の造作用単板積層材						
施工箇所	寸 法 (mm)	含 水 率	表面の品質		防虫処理	
		※14%以下	・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)		・する ・しない	
・CLT(直交集成板) [G]						
・JAS 3079に基づく直交集成板 (12.2.1)						
施工箇所	品 名	曲げ強度 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸 法 (mm)
・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)						
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質		防虫処理
	※5.5	※1類 ・2類		広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上		・する ・しない
○「合板の日本農林規格」による構造用合板						
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理 強度等級
床	28.0	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上		※C-D以上 ・	・する ・しない
壁						
屋根	15.0					
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板						
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名		防虫処理	
		・特類 ・1類			・する ・しない	
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板						
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧ばりに使用する単板の樹種名		防虫処理	
		・1類 ・2類			・する ・しない	
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板						
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧加工の方法		単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類				・する ・しない
・パーティクルボード						
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分		曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性
	※15			※13タイプ	※P又はM	

・JAS 0360に基づく構造用パネル			
施工箇所	厚さ(mm)	品 名	
・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)			
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分
造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2) ※隠し釘打ち ・釘頭埋木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書表12.2.3~5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質:)			
ホルムアルデヒドの放散量 (12.2.2、3) ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。			
防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 () (12.3.1)			
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理			
適用部位		保存処理性能区分	
図示		・K2 ○K3 ※K4	
		・K2 ・K3 ※K4	
薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理			
適用部位		処理の方法	
土台、土壌		薬剤処理	
地盤面より1.0m迄の軸組等		薬剤処理	
薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 ()			
合板等の加圧注入処理の適用 適用部位 ()			
合法的に伐採された木材である証明書を提出する。			
③ ・長尺金属板葺 (13.2.2、3)(表13.2.1、2)			
施工箇所	長尺金属板の種類		厚さ(mm)
○庇	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)		※0.4 ・
○屋根	○SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板 断熱材裏打ち品		○0.35
下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ○改質アスファルトルーフィング下葺材(コ47スル-フィング) ○一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ) 雪止め ・設置する(施工箇所 ・ 図示)			
③ ・折板葺 (13.3.2)(表13.2.1)(表14.2.2)			
施工箇所	形式	長尺金属板の種類	厚さ(mm)
	※重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) ・かん合形 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)	※0.6 ・0.8
		※図示 ・山高 () ・山びつ()	※有り ・なし ・なし
JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理(直接外気の影響を受けない屋内の場合) ・E種 ・F種 断熱材 ※有り (種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ・無し			
③ ・粘土瓦葺 (13.4.2、3)			
施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役物瓦の種類
	※J型	※53A	・軒かわら ・そでかわら ・のしがわら ・かんむりがわら
	・S形	・49A ・49B	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら
	・F形	・40	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら
雪止め瓦 ※適用しない ・適用する 凍害試験 ・行う ・行わない 棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示 下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ) 椽木の留付け工法 ※図示 棟の工法 ※7寸丸伏せ棟 ・F形用冠伏せ棟 ・のし積み棟 ※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用 しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。			
特記仕様書(建築工事編)(6)			令和4年度版
工事名称		令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築	工事 設計図
株式会社 プラス1設計室		高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第 196860 号 永富 達也	A-06 No.

④ 金 属 工 事	○とい	といの材種 ・配管用鋼管 ・表面処理鋼板 (13.5.2、3)(表13.5.1、4) ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP  ・VP) ○     鋼板 鋼管製といの防露巻き ※行う (工法 ※標準仕様書表13.5.4 による ・) ルーフドレン																	
	○スレート葺き																		
	・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.1)(表14.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色合い</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・BB-1種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> </table> 陽極酸化被膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色	種別	色合い	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)	・BB-1種	・標準色 ・特注色		・BB-2種	・標準色 ・特注色									
	種別	色合い	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)																
	・BB-1種	・標準色 ・特注色																	
	・BB-2種	・標準色 ・特注色																	
	・鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.2)(表14.2.2) <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table>	表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)	・溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		・電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種	
	表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)																
	・溶融亜鉛めっき	・A種																	
		・B種																	
・C種																			
・電気亜鉛めっき	・D種																		
	・E種																		
	・F種																		
・軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外 ・19形 ※25形 (14.4.2~4)(表14.4.1) 屋内 ※19形 ・25形 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 1章 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・() 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・() 野縁の間隔 ・図示 ・() ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※図示 ・() ・天井のふとところが1.5m以上3m以下の場合 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)による ・図示 ・天井のふとところが3mを超える場合 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※図示 ・() ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・() 補強方法 ※図示 ・()																		
・軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナの種類 ※標準仕様書表14.5.1 による ・図示 (14.5.3、4)(表14.5.1) スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・()																		
・金属成形板張り	(14.6.2、3)(表14.2.1) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>色合い</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・アルミニウム</td> <td>・押し出し ・ロール</td> <td>・BB-1種 ・BB-2種</td> </tr> <tr> <td>・プレス</td> <td>・AC-1種 ・AC-2種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	表面処理		種別	色合い	・アルミニウム	・押し出し ・ロール	・BB-1種 ・BB-2種	・プレス	・AC-1種 ・AC-2種	・	・							
表面処理																			
種別	色合い																		
・アルミニウム	・押し出し ・ロール	・BB-1種 ・BB-2種																	
	・プレス	・AC-1種 ・AC-2種																	
	・	・																	
6 7   製笠木	取付け用下地 ※標準仕様書14.4 による ・図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示 ・) 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 () 1章 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 種類 ・250形 ・300形 ・350形 (14.7.2)(表14.7.1) 表面処理 種別 ()種 色合い ・標準色 ・特注色																		
○手すり及びタラップ	手すり ○ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL程度 ・No.2B程度) (14.8.2) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっき()種) タラップ ・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※研磨なし) (14.8.3) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきA種)																		

⑤ 建 具 工 事	仕上塗材の種類 (15.6.2)(表15.6.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・</td> <td>・着色骨材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C</td> <td>・</td> <td>・砂壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材L</td> <td>・</td> <td>・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>吸放湿性 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材W</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・</td> <td>吸放湿性 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材C</td> <td>・</td> <td>上塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材L</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材Si</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">○複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>・</td> <td>耐候性 ※耐候形3種 ・</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E</td> <td>・</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>・</td> <td>溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>樹脂 アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>外観 ※つやあり ・つやなし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・軽量骨材仕上塗材</td> <td>・吹付け用軽量塗材</td> <td>・</td> <td>・砂壁状 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・こて塗用軽量塗材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火材料の指定</td> <td colspan="3">※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする</td> </tr> <tr> <td>種別 ・A種 ・B種 (15.7.2)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ロックウール、接着剤のホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3)</td> <td colspan="3">※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。</td> </tr> <tr> <td>仕上げ吹付け厚さ(mm) ※図示 ・25 ・()</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>○防火戸</td> <td colspan="3">・建具表による ・() (16.1.3)</td> </tr> <tr> <td>・見本の製作等</td> <td colspan="3"> 建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (16.1.4) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) </td> </tr> <tr> <td>・防犯建物部品</td> <td colspan="3">※適用する (・建具表による ・) (16.1.6)</td> </tr> <tr> <td>○7   製建具</td> <td colspan="3"> 性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種(建具符号: ・建具表による) ・B種(建具符号: ・建具表による) ・C種(建具符号: ・建具表による) ・D種(建具符号: ・建具表による) ○E種(建具符号: ・建具表による) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・() ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種(※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種(※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・() 水切り板、ぜん板 ※図示 ・() </td> </tr> <tr> <td>○網戸等</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </table> </td> <td colspan="2"> 性能値等 (16.2.5)(16.3.2~5)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種(建具符号: ・建具表による) ・B種(建具符号: ・建具表による) ・C種(建具符号: ・建具表による) ・D種(建具符号: ・建具表による) ・E種(建具符号: ・建具表による) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・() ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・() </td> </tr> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)	・外装薄塗材E	・	・さざ波状	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り)	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく	・内装薄塗材Si	・	吸放湿性 ・適用する	・内装薄塗材W	・		・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・外装厚塗材E	・	吸放湿性 ・適用する	・内装厚塗材C	・	上塗材 ・適用する	・内装厚塗材L	・		・内装厚塗材Si	・		○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	・複層塗材Si	・	耐候性 ※耐候形3種 ・	○複層塗材E	・	上塗材	・複層塗材RE	・	溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	・可とう形複層塗材CE	・	樹脂 アクリル系	・防水形複層塗材CE	・	外観 ※つやあり ・つやなし	・軽量骨材仕上塗材	・吹付け用軽量塗材	・	・砂壁状 ・平たん状	・こて塗用軽量塗材	・		防火材料の指定	※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする			種別 ・A種 ・B種 (15.7.2)				ロックウール、接着剤のホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3)	※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。			仕上げ吹付け厚さ(mm) ※図示 ・25 ・()				○防火戸	・建具表による ・() (16.1.3)			・見本の製作等	建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (16.1.4) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:)			・防犯建物部品	※適用する (・建具表による ・) (16.1.6)			○7   製建具	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種(建具符号: ・建具表による) ・B種(建具符号: ・建具表による) ・C種(建具符号: ・建具表による) ・D種(建具符号: ・建具表による) ○E種(建具符号: ・建具表による) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・() ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種(※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種(※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・() 水切り板、ぜん板 ※図示 ・()			○網戸等	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm	性能値等 (16.2.5)(16.3.2~5)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種(建具符号: ・建具表による) ・B種(建具符号: ・建具表による) ・C種(建具符号: ・建具表による) ・D種(建具符号: ・建具表による) ・E種(建具符号: ・建具表による) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・() ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・()	
	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状																																																																																																																														
	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状																																																																																																																														
		・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)																																																																																																																														
		・外装薄塗材E	・	・さざ波状																																																																																																																														
		・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状																																																																																																																														
		・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)																																																																																																																														
		・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り)																																																																																																																														
		・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく																																																																																																																														
		・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく																																																																																																																														
・内装薄塗材Si		・	吸放湿性 ・適用する																																																																																																																															
・内装薄塗材W		・																																																																																																																																
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																															
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																															
	・外装厚塗材E	・	吸放湿性 ・適用する																																																																																																																															
	・内装厚塗材C	・	上塗材 ・適用する																																																																																																																															
	・内装厚塗材L	・																																																																																																																																
	・内装厚塗材Si	・																																																																																																																																
○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	○ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状																																																																																																																															
	・複層塗材Si	・	耐候性 ※耐候形3種 ・																																																																																																																															
	○複層塗材E	・	上塗材																																																																																																																															
	・複層塗材RE	・	溶媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系																																																																																																																															
	・可とう形複層塗材CE	・	樹脂 アクリル系																																																																																																																															
	・防水形複層塗材CE	・	外観 ※つやあり ・つやなし																																																																																																																															
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け用軽量塗材	・	・砂壁状 ・平たん状																																																																																																																															
	・こて塗用軽量塗材	・																																																																																																																																
防火材料の指定	※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする																																																																																																																																	
種別 ・A種 ・B種 (15.7.2)																																																																																																																																		
ロックウール、接着剤のホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3)	※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。																																																																																																																																	
仕上げ吹付け厚さ(mm) ※図示 ・25 ・()																																																																																																																																		
○防火戸	・建具表による ・() (16.1.3)																																																																																																																																	
・見本の製作等	建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (16.1.4) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:)																																																																																																																																	
・防犯建物部品	※適用する (・建具表による ・) (16.1.6)																																																																																																																																	
○7   製建具	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種(建具符号: ・建具表による) ・B種(建具符号: ・建具表による) ・C種(建具符号: ・建具表による) ・D種(建具符号: ・建具表による) ○E種(建具符号: ・建具表による) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・() ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種(※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種(※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・() 水切り板、ぜん板 ※図示 ・()																																																																																																																																	
○網戸等	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm	性能値等 (16.2.5)(16.3.2~5)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種(建具符号: ・建具表による) ・B種(建具符号: ・建具表による) ・C種(建具符号: ・建具表による) ・D種(建具符号: ・建具表による) ・E種(建具符号: ・建具表による) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・() ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・()																																																																																																																				
種類	材質	線径	網目																																																																																																																															
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																															
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm																																																																																																																															

○鋼製建具	材料 ガラス ※複層ガラス(組合せは建具表による) ・() ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ・() ・図示 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない	性能値等 (16.2.2)(16.4.2~4)(16.4.6)(表16.4.2) ・簡易気密型ドアセット(建具符号: ・建具表による) ・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6(建具符号: ・建具表による) ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・耐震ドア 面内変形追従性の等級() (建具符号: ・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・() ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ※標準仕様書(16.4.2)による ・()					
	○鋼製軽量建具	性能値等 (16.2.2)(16.5.2~4)(16.5.6)(表16.5.1) ・簡易気密型ドアセット(建具符号: ・建具表による) ・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6(建具符号: ・建具表による) ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・耐震ドア 面内変形追従性の等級() (建具符号: ・建具表による) 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・() ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・() 鋼板類の厚さ ※標準仕様書(16.5.1)による ・()					
	○ステンレス製建具	性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~5) ・簡易気密型ドアセット(建具符号: ・建具表による) ・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6(建具符号: ・建具表による) ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・断熱ドア・断熱サッシ  断熱性の等級() (建具符号: ・建具表による) ・耐震ドア 面内変形追従性の等級() (建具符号: ・建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・() ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ					
	○木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・() (16.7.2~4) 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 ○フラッシュ戸 ・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() ・ふすま 種別(・I型 ・II型) ふすま紙上張り(押入等の裏側以外)(・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度) 縁仕上げ(・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリアー塗装)) ・戸ぶすま ・紙張り障子 枠及びくつずりの材料 ・() ・図示					
	○鍵	マスターキー ・制作する ○制作しない (16.8.4) その他の鍵 ※各室3本1組(室名札付き、鍵箱有) ・()					
	・自動ドア開閉装置	(16.9.2、3)					
		種類	駆動装置の値	防錆	検出装置の性能値	検出装置の種類	凍結防止装置
		引き戸用駆動装置	※標準仕様書表16.9.1による	・適用する ・適用しない	※標準仕様書表16.9.3による	・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない
		車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置	※標準仕様書表16.9.2による	・適用する ・適用しない		車椅子使用者用便房スイッチ	
		性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・() (16.10.3)(表16.10.1)					

特記仕様書(建築工事編)(7)		令和4年度版
工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築	工事 設計図
 株式会社 プラス1設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8	A-07 No.
	TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247	
	事務所登録 第 1324 号	
	1級建築士 第 196860 号 永富 達也	

・重量シャッター	シャッターの種類		<ul style="list-style-type: none"> 管理用シャッター 耐風圧強度 () pa (16.11.2、3) 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () pa 屋内用防火シャッター 防煙シャッター
	開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式		安全装置
・軽量シャッター	開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式(手動併用)		耐風圧強度 () pa
	電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ()		スラット 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
・オートヘッドドア	セクション材料による区分		ガイドレールの材料
	※スチールタイプ	※バランス式	※溶融亜鉛めっき鋼板
○ガラス	風圧力による強さの区分 (・125 ・100 ・75 ・50)		電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ()
	・合わせガラス (9.7)(16.14.2~4)(図16.14.1)		・強化ガラス
・ガラスロック積み	ガラスの留め材及び溝の大きさ		ガラス溝の大きさ (mm)
	アルミニウム製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による
・建築窓ガラス用フィルム	表面形状		防火性能
	正方形	・125×125	・80

⑧ 塗装工事	○材料	屋内で使用使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
	○素地ごしらえ	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
○塗装	・錆止め塗料塗り	下地面等
	・タフテッドカーペット	鉄鋼面
○接着剤	・タフテッドカーペット	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)
	○接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)
○内装工事	○ビニルシート	目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ()
	○ビニル床タイル	帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上 ~ 3.2 未満

⑨ 内装工事	○材料	屋内で使用使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
	○素地ごしらえ	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
○塗装	・錆止め塗料塗り	下地面等
	・タフテッドカーペット	鉄鋼面
○接着剤	・タフテッドカーペット	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)
	○接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)
○内装工事	○ビニルシート	目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ()
	○ビニル床タイル	帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上 ~ 3.2 未満

○ビニル幅木	材質の種類 ※軟質 ・硬質 (19.2.2)
	高さ (mm) ○60 ・75 ・100 ・45
・ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 (19.2.2)
	色柄 () ・フラット ・凹凸
・視覚障害者用床タイル	厚さ (mm) (・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0)
	寸法 (mm) ()
○カーペット敷き	・タフテッドカーペット
	・タフテッドカーペット
・合成樹脂塗床	・厚膜型塗床材
	・厚膜型塗床材
○フローリング張り	単層フローリング
	複合フローリング
特記仕様書(建築工事編)(8)	令和4年度版
	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築

○フローリング張り	材質の種類 ※軟質 ・硬質 (19.2.2)
	高さ (mm) ○60 ・75 ・100 ・45
・ゴム床タイル	種類 ・単層品 ・積層品 (19.2.2)
	色柄 () ・フラット ・凹凸
・視覚障害者用床タイル	厚さ (mm) (・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0)
	寸法 (mm) ()
○カーペット敷き	・タフテッドカーペット
	・タフテッドカーペット
・合成樹脂塗床	・厚膜型塗床材
	・厚膜型塗床材
○フローリング張り	単層フローリング
	複合フローリング
特記仕様書(建築工事編)(8)	令和4年度版
	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築

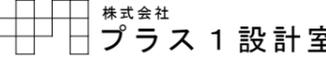
⑨ 畳敷き	(19.6.2)(表19.6.1)																																																																																																																																																																						
	<p>種別 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種(畳床：)</p> <p>下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン [G])</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。</p> <p>畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用(3種表の2等以上) ※適用する ・適用しない 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。</p>																																																																																																																																																																						
○せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り	(19.7.2)(表19.7.1)																																																																																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)、規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質木毛セメント板 [G]</td> <td>HW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板 [G]</td> <td>MW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板 [G]</td> <td>NW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板 [G]</td> <td>HF</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板 [G]</td> <td>NF</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板</td> <td>0.8 FK 1.0 FK</td> <td>タイプ2(無糸綿) ・6 ・8</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>※フットタイプ(※9(不燃) ・12(不燃) ・) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15(不燃) ・)</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ガラス繊維吸音ボード32K</td> <td>GW-B</td> <td>※25(ガラスクロス包)</td> </tr> <tr> <td>○せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>※12.5(不燃) ○9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>○シーリングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5(不燃 ・準不燃) ○9.5</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12.5(不燃) ・15(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード(木目)</td> <td>GB-D(W)</td> <td>12.5(不燃) 幅 440mm 程度 模様(※証目 ・板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)</td> <td>GB-D(T)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・普通合板 [G]</td> <td></td> <td>・生地、透明塗料塗リ(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗リ(しな合板程度)</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 [G]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 [G]</td> <td></td> <td>・オーバーレイ ・プリント ・塗装</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>JIS K 6903 による 厚さ1.2</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアム密度繊維板 [G]</td> <td>G-MDF</td> <td>・3 ・7 ・9 ・12 ・無研磨 ・研磨</td> </tr> <tr> <td>・単板張り高密度繊維板 [G]</td> <td></td> <td>・生地、透明塗料塗リ(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗リ(しな合板程度)</td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード [G]</td> <td></td> <td>・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10(難燃) ・12(難燃) ・</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード(素地) [G]</td> <td>HB</td> <td>・無研磨板(・スタンダード・テンパード) ・研磨板(・スタンダード・テンパード)</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード(化粧) [G]</td> <td></td> <td>・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード [G]</td> <td>A-1B T-1B</td> <td>A級 ・9 ・12 ・15 ・18</td> </tr> <tr> <td>・火山性ガラス質複層板 化粧加工K2</td> <td>密度A1</td> <td>・6 ・9 ・12</td> </tr> <tr> <td>遮音シール材 ・適用する(・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 合板類の張付け ・A種 ※B種 せっこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○壁紙張り</td> <td colspan="2">(19.8.2、3)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="4">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>プラスチック無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 コンクリート面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 せっこうボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種</p> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○断熱材 [G]</td> <td colspan="2">(19.9.2~4)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 ・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチ層なし)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○グラスウール断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・断熱材現場発泡工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 ・()</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所 ・図示</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody></table></td> </tr> </tbody></table>		種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等	・硬質木毛セメント板 [G]	HW	・15 ・20 ・25	・中質木毛セメント板 [G]	MW	・15 ・20 ・25	・普通木毛セメント板 [G]	NW	・15 ・20 ・25	・硬質木片セメント板 [G]	HF	・12 ・15 ・18 ・21	・普通木片セメント板 [G]	NF	・30	・けい酸カルシウム板	0.8 FK 1.0 FK	タイプ2(無糸綿) ・6 ・8	・ロックウール化粧吸音板	DR	※フットタイプ(※9(不燃) ・12(不燃) ・) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15(不燃) ・)	・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25	・ガラス繊維吸音ボード32K	GW-B	※25(ガラスクロス包)	○せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃) ○9.5(準不燃)	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)	○シーリングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃 ・準不燃) ○9.5	・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)	・せっこうラスボード	GB-L	9.5	・化粧せっこうボード(木目)	GB-D(W)	12.5(不燃) 幅 440mm 程度 模様(※証目 ・板目) 専用下地材有り	・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	GB-D(T)	9.5(準不燃)	・普通合板 [G]		・生地、透明塗料塗リ(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗リ(しな合板程度)	・天然木化粧合板 [G]			・特殊加工化粧合板 [G]		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ1.2	・ポリエステル樹脂化粧板			・ミディアム密度繊維板 [G]	G-MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・無研磨 ・研磨	・単板張り高密度繊維板 [G]		・生地、透明塗料塗リ(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗リ(しな合板程度)	・化粧パーティクルボード [G]		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10(難燃) ・12(難燃) ・	・ハードボード(素地) [G]	HB	・無研磨板(・スタンダード・テンパード) ・研磨板(・スタンダード・テンパード)	・ハードボード(化粧) [G]		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・インシュレーションボード [G]	A-1B T-1B	A級 ・9 ・12 ・15 ・18	・火山性ガラス質複層板 化粧加工K2	密度A1	・6 ・9 ・12	遮音シール材 ・適用する(・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 合板類の張付け ・A種 ※B種 せっこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法			○壁紙張り	(19.8.2、3)		<p>ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="4">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>プラスチック無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 コンクリート面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 せっこうボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種</p>		施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック無機質	その他	図示	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		○断熱材 [G]	(19.9.2~4)		<p>断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 ・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチ層なし)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○グラスウール断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・断熱材現場発泡工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 ・()</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所 ・図示</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody></table>		種類	厚さ(mm)	施工箇所	○ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	図示	図示	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチ層なし)			○硬質ウレタンフォーム断熱材	図示	図示	・フェノールフォーム断熱材			○グラスウール断熱材	図示	図示	・断熱材現場発泡工法			断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 ・()			施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所 ・図示	
種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等																																																																																																																																																																					
・硬質木毛セメント板 [G]	HW	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																					
・中質木毛セメント板 [G]	MW	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																					
・普通木毛セメント板 [G]	NW	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																					
・硬質木片セメント板 [G]	HF	・12 ・15 ・18 ・21																																																																																																																																																																					
・普通木片セメント板 [G]	NF	・30																																																																																																																																																																					
・けい酸カルシウム板	0.8 FK 1.0 FK	タイプ2(無糸綿) ・6 ・8																																																																																																																																																																					
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フットタイプ(※9(不燃) ・12(不燃) ・) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15(不燃) ・)																																																																																																																																																																					
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25																																																																																																																																																																					
・ガラス繊維吸音ボード32K	GW-B	※25(ガラスクロス包)																																																																																																																																																																					
○せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃) ○9.5(準不燃)																																																																																																																																																																					
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)																																																																																																																																																																					
○シーリングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃 ・準不燃) ○9.5																																																																																																																																																																					
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)																																																																																																																																																																					
・せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																																																																																					
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D(W)	12.5(不燃) 幅 440mm 程度 模様(※証目 ・板目) 専用下地材有り																																																																																																																																																																					
・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	GB-D(T)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																					
・普通合板 [G]		・生地、透明塗料塗リ(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗リ(しな合板程度)																																																																																																																																																																					
・天然木化粧合板 [G]																																																																																																																																																																							
・特殊加工化粧合板 [G]		・オーバーレイ ・プリント ・塗装																																																																																																																																																																					
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ1.2																																																																																																																																																																					
・ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																																																																																							
・ミディアム密度繊維板 [G]	G-MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・無研磨 ・研磨																																																																																																																																																																					
・単板張り高密度繊維板 [G]		・生地、透明塗料塗リ(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗リ(しな合板程度)																																																																																																																																																																					
・化粧パーティクルボード [G]		・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装 ・10(難燃) ・12(難燃) ・																																																																																																																																																																					
・ハードボード(素地) [G]	HB	・無研磨板(・スタンダード・テンパード) ・研磨板(・スタンダード・テンパード)																																																																																																																																																																					
・ハードボード(化粧) [G]		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																																																																					
・インシュレーションボード [G]	A-1B T-1B	A級 ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																					
・火山性ガラス質複層板 化粧加工K2	密度A1	・6 ・9 ・12																																																																																																																																																																					
遮音シール材 ・適用する(・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 合板類の張付け ・A種 ※B種 せっこうボードの目地工法 ・継目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法																																																																																																																																																																							
○壁紙張り	(19.8.2、3)																																																																																																																																																																						
	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="4">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>プラスチック無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃・準不燃・難燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 コンクリート面の素地ごしらえ ・A種 ※B種 せっこうボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種</p>		施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック無機質	その他	図示	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃			・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃																																																																																																																															
施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考																																																																																																																																																																	
	紙	繊維	プラスチック無機質	その他																																																																																																																																																																			
図示	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																		
	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃																																																																																																																																																																		
○断熱材 [G]	(19.9.2~4)																																																																																																																																																																						
	<p>断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 ・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチ層なし)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○グラスウール断熱材</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・断熱材現場発泡工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 ・()</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所 ・図示</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody></table>		種類	厚さ(mm)	施工箇所	○ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	図示	図示	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチ層なし)			○硬質ウレタンフォーム断熱材	図示	図示	・フェノールフォーム断熱材			○グラスウール断熱材	図示	図示	・断熱材現場発泡工法			断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 ・()			施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所 ・図示																																																																																																																																												
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																					
○ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	図示	図示																																																																																																																																																																					
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチ層なし)																																																																																																																																																																							
○硬質ウレタンフォーム断熱材	図示	図示																																																																																																																																																																					
・フェノールフォーム断熱材																																																																																																																																																																							
○グラスウール断熱材	図示	図示																																																																																																																																																																					
・断熱材現場発泡工法																																																																																																																																																																							
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 ・()																																																																																																																																																																							
施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所 ・図示																																																																																																																																																																							

ユニ
ニッ
ト及
びそ
他の
工事

・フリーアクセス707	(20.2.2)
・可動間仕切	(20.2.3)
・移動間仕切	(20.2.4)
・トイレブス	(20.2.5)
・手すり	(20.2.6)
・階段滑止め	(20.2.7)
・黒板及び ホワイトボード[G]	(20.2.9)
・鏡	(20.2.10)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考															
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルヘット																
<p>帯電防止性能 ・評価値(U) ≥ 0.6 ・評価値(U) ≥ 1.2 感電防止性能 漏えい抵抗(R) ≥ 1×10⁸Ω 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(オ)による ・() 耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能 ※標準仕様書20.2.2(2)(イ)による ・() 表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。 スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※100パーセント ・() 配線取り出し開口 ※パネル1枚につき 40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上 ・図示 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ※なし ・あり(形式、施工箇所:図示)</p>																						
構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面材		遮音性	防火性能																
			材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ																	
・スタッ式			※鋼板	※0.6	※メラミン樹脂焼付	・0 ・12	・不燃															
・スタッパ複式			・	・0.8	又はアクリル樹脂焼付	・20 ・28																
・パ複式					・壁紙張り	・36																
<p>パネル内に取り付ける建具 ・あり(・図示 ・) ・なし 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。</p>																						
構造形式	操作方法	パネル圧接装 置の操作方法	厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性																
				材質	仕上げ																	
・平行方向移動式	・手動式	・アッシュ式		※鋼板	・焼付塗装	・36未満																
・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式		・	・壁紙張り	・36以上																
	・部分電動式	・		・	・																	
<p>表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による ハンガーレールの取付け下地の補強 ※パネル重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強 する。 ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して耐力及び 変形量が使用上支障のないものとする。 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えるもの</p>																						
パネル表面材の種類	脚部		ドアエッジ																			
	形状	材質	形状	材質																		
・メラミン樹脂化粧板	※幅木	・アルミニウム製	・標準	・アルミニウム製																		
・ポリエステル樹脂化粧板	・	※ステンレス製	・R	・ステンレス製																		
				・表面材と同材																		
<p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。</p>																						
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																			
※集成材	※クリアラッカー	・60 ・45																				
・ステンレスパイプ	・HL																					
・鋼製パイプ	・EP-G																					
・ビニル製ハンドレール																						
<p>(20.2.7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ステンレス製(SUS304)</td> <td>・約35</td> <td>※接着工法</td> <td>※有り(※ビニル製 ・ステンレス製)</td> </tr> <tr> <td>・ビニルタイヤ入り</td> <td>・</td> <td>・埋込み工法</td> <td>・無し</td> </tr> </tbody> </table>								材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ステンレス製(SUS304)	・約35	※接着工法	※有り(※ビニル製 ・ステンレス製)	・ビニルタイヤ入り	・	・埋込み工法	・無し			
材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド																			
・ステンレス製(SUS304)	・約35	※接着工法	※有り(※ビニル製 ・ステンレス製)																			
・ビニルタイヤ入り	・	・埋込み工法	・無し																			
<p>(20.2.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色彩</th> <th>形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・黒板</td> <td>※焼付け</td> <td></td> <td>※緑 ・黒</td> <td>※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け</td> </tr> <tr> <td>・ホワイトボード</td> <td>・ほうろう</td> <td></td> <td>白</td> <td>※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け</td> </tr> </tbody> </table>								区分	種類	寸法(mm)	色彩	形式	・黒板	※焼付け		※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け	・ホワイトボード	・ほうろう		白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け
区分	種類	寸法(mm)	色彩	形式																		
・黒板	※焼付け		※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け																		
・ホワイトボード	・ほうろう		白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付き引分け																		
<p>(20.2.10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取付箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>()</td> <td>・()</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※5</td> <td>・()</td> </tr> </tbody> </table>								取付箇所	寸法(mm)	厚さ(mm)	()	・()	・図示		※5	・()						
取付箇所	寸法(mm)	厚さ(mm)																				
()	・()	・図示																				
	※5	・()																				

・表示	(20.2.11)
・タラップ	(20.2.12)
・煙突ライニング	(20.2.13)
・ブラインド	(20.2.14)
・ロールスクリーン	(20.2.15)
○カーテン	(20.2.16)
○カーテンレール	(20.2.16)
・フラインドボックス 及びカーテンボックス	
○天井点検口	

区分	材質	寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考	
・衝突防止表示 (・両面 ・片面)	・ステンレス製 ・図示	※30φ	※市販品	※図示		
・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号	※アクリル板 ・	※図示	※5	※図示		
・庁舎案内板 ・各階案内板	※アクリル板 ・	※図示	※5	※図示		
・誘導標識 ・非常用進入口表示	※消防法に適合する市販品			※図示		
案内用図記号は JIS Z 8210 による。						
材質及び仕上げ	(20.2.12)					
・SUS304(スリッ止め加工 ※あり ・なし)						
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(※標準仕様書表14.2.2による種別(※C種 ・))						
適用安全使用温度 上限温度 ・400℃ ・650℃ 下限温度 ・()℃	(20.2.13)					
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材質	取付箇所
※横形	・電動 ・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7075アルミニウム合金製 [G]	※25	※鋼製	※図示
・縦形	・電動 ・手動	・1本操作コード式 ※2本操作コード式	・アルミスラット ・カラスラット	・80 ・100	※7075アルミニウム合金製	※図示
(20.2.15)						
材種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考	
※ポリエステル [G]	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	※図示		
・綿 ・						
(20.2.16)						
形式	ひだの種類		開閉操作	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考
○シングル ○ダブル	○片引き ○引分け	・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・アレンひだ・片ひだ	・電動 ・ひも引き ○手引き		※図示	
						(暗幕)
(20.2.16)						
材種	※7075アルミニウム又は7075アルミニウム合金の押出し成型材		・ステンレス製	(20.2.16)		
形式	○片引き ○引分け (暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする)					
形状	・角形 ・()					
溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示						
材質 ・集成材(仕上げ:) ・鋼製(仕上げ:) ・アルミニウム製 表面処理 ※BC-1 ・BC-2(色合い ・標準色 ・特注色)						
材種	寸法	形式	外枠	内枠	枠の 許容差	外枠と内枠の クリアランス
※アルミニウム製 ・	○450×450 ・600×600	○一般形 ○屋内外用 ○屋内用 ○密閉形	○顔縁タイプ ○屋内用 ・目地タイプ	○顔縁タイプ ・目地タイプ	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内
アルミニウム合金押出型材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601(AA6)(外部についてはB種又は同等品以上)をおこなったものとする。 内枠、外枠のコーナーピース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理 をおこなったものとする。 内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板の類とする。						
特記仕様書(建築工事編)(9)			令和4年度版			
工事名称			令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築		工事設計図	
 株式会社 プラス1設計室			高知県四万十市古津賀 2939-8		A-09	
			TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247			
			事務所登録 第 1324 号		No.	
			1級建築士 第 196860 号 永富 達也			

22 舗装工事	・路床	路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)
		種別 材料 厚さ(mm)
	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]
	・凍上抑制層	※再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂
	・フィルター層	・砂 ・
		凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※3以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 ・ () 厚さ (mm) ・0.5~1.0 ・ () 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm)以上 ・ () 透水係数 ・1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上 ・ () 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ※行う ・行わない 路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場CBR試験 ※行う ・行わない
	・路盤	路盤の厚さ ※図示 ・ () (22.3.2、3) (表22.3.1) 路盤材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生粒度調整砕石 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]
	・アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ () (22.4.2~6) (表22.4.4) 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト [G] (・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト 骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G] 加熱アスファルト混合物等の種類
		区分 種類 表層 ※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)
	・コンクリート舗装	アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ () コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2~4) (表22.5.1、3)
	部位 構成 厚さ(mm) 車路及び駐車場 ・(9-21-2) ・図示 ・ () ・図示 ・150 ・ () 歩行者用通路 ・(9-22-2) ・図示 ・ () ・図示 ・70 ・ () 材料 普通コンクリート ・標準仕様書 表22.5.1による 早強ポルトランドセメント ※使用しない ・使用する 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による ・図示 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ()	
・カラー舗装	カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2~4)	
	舗装の種類 部位 構成 厚さ(mm) ※加熱系 ※アスファルト混合物 車路及び駐車場 ・図示 ・ () ・図示 ・50 ・石油樹脂系混合物 歩行者用通路 ・図示 ・ () ・図示 ・30 ※常温系 ・アスファルト舗装 ・ニート工法 ・コンクリート舗装 ・塗布工法	
	加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石 配合 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 () ニート工法及び塗布工法の配合等 () 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ () 加熱系アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない	
・透水性 アスファルト舗装	透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ ・図示 ・ () (22.7.2、3、6) 材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G] 試験 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・ ()	

23 植栽及び屋上緑化工事	・ブロック系舗装	(22.8.2、3)			
		舗装 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考			
	・コンクリート 平板舗装	※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・保水性平板 (M)	※300角 ・	※60 ・	目地材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
	・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック (N) ・透水ブロック (P) ・保水性ブロック (M)		車道部 ※80 歩道部 ※60	曲げ強度 (N/mm ²) 車道部 ※5.0 歩道部 ※3.0 着色及び表面加工 ※標準品
	・舗石舗装	※小舗石 (花崗岩) ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石			施工方法 ※うるこ張り クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ ・コンクリート版 ※70mm ・アスファルト混合物 ※50mm
		コンクリート平板舗装の普通平板は、再生材料を用いた舗装用ブロック [G] とし、 透水平板は透水性コンクリート [G] とする。 インターロッキングブロック舗装の普通ブロックは、再生材料を用いた舗装用ブロック [G] とし、 透水性ブロックは透水性コンクリート [G] とする。 ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障のある段差がないものとし、舗装材の段差は3mm以内とする。			
	・砂利敷き	種別 (22.9.2) ・A種 (施工範囲： ・図示 ・通路 ・) ・B種 (施工範囲： ・図示 ・建物周囲その他 ・)			
	・路面標示用塗料	JAS K 5665 (路面標示用塗料) による	種類 施工 適用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm)		
		・1種 [G] 常温 液状 ※白 ・ 150 ※1.0 ・2種 [G] 加熱 ・ 100 ・ ※3種1号 熔融 粉体状			
		低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 [G]			
・植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない (23.1.3) 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない				
・植栽基盤の整備	(23.2.2、4)	植栽 工法 有効土層の厚さ (cm) 整備範囲 土壌改良材			
	・樹木 ※A種 樹高12m以上 (※100・120・150) ・葉張り部分 ・適用する ・B種 樹高7m以上12m未満 (※80・100) ・植栽部分 ・C種 樹高3m以上7m未満 (※60・80) ・図示 ・D種 樹高3m未満 (※50・60)				
	※芝、地被類 ※B種 ※20 ・ 植栽部分 ・適用する ・図示				
・植込み用土	植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・) ・設けない ※現場発生土の良質土 ・客土 (23.2.3)				
・土壌改良材	種別及び指定量等 (23.2.3) ・パーク堆肥 [G] 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L ・) ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) [G] 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する 原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする				
・樹木	樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・ () (23.3.2)				
・支柱	支柱材 ※丸太 (間伐材) [G] ・真竹 (23.3.2、3) 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ・ () 形式 ・図示 ・ ()				
・幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)				
・芝	種類 ※コウライシバ ・ノシバ ・ () (23.4.2、3) 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り (23.4.2)				
・吹付けは種	種子の種類 発芽率 種子の量 (g/㎡) 備考 ※洋芝類 (採取後2年以内) 80%以上 ・				
・地被類	(23.4.2)	樹種 コンテナ径 単位面積あたりのコンテナ数 芽立数 ・ ・			
・新植樹木、芝等の 枯補償、移植樹木 の枯損処置	新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 (23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5) ※引渡しの日から1年 ・無し ・ () 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し ・ ()				

・屋上緑化 [G]	植栽基盤及び材料 (23.5.2~4) ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 ・ () 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ：) ・板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示 ・ () 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 ・ () 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 支柱 ・設置する (形式 ・図示 ・) かん水装置 ・設置する (種類、工事区分 ・図示 ・)
特記仕様書 (建築工事編) (11) 令和4年度版	
工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事 設計図
高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第 196860 号 永富 達也	株式会社 プラス1設計室 A-11 No.

1. 工事名称

工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事	建築主	
地名地番	高知県四万十市西土佐用井 地内	住所氏名	四万十市
主要用途	住宅		四万十市長 山下 元一郎
工事種別	新築 増築 別棟増築 改築 改修 大規模の修繕 室内装飾	〒	787- TEL 0880-34-0000
	用途変更 大規模の模様替 仮設建築 解体 移設 移転	工期	着工 俊工

2. 敷地状況

敷地面積	m ² (坪)	建ぺい率	基準建ぺい率	%
用途地域	指定なし	容積率	基準容積率	%
防火地域	指定なし			
その他の 地区・地域	都市計画区域内 都市計画区域外 市街化区域 市街化調整区域	日影制限	平均地盤面からの高さ	m
	美観地区 災害危険地区 緑地地区	敷地境界線より	mを越え m以内の範囲	時間内
	土地区画整理事業地区 宅地造成工事規制区域			
	国立公園 国定公園 公園 河川敷 その他	敷地境界線より	mを越える範囲	時間内

3. 構造・規模

構造	木造	階数	1階
構造形式	在来軸組工法	最高高さ	5.00 m
基礎	地盤支持 ○ベタ ・布 ・独立 ・その他	最高軒高	3.45 m
	・地盤改良 ・地盤改良(柱状改良)	その他	
増築予定	○無し ・有り		

4. 面積

	申請部分				合計	
建築面積	86.47 m ²				86.47 m ²	
1階床面積	80.15 m ²				80.15 m ²	24.24 坪
延床面積	80.15 m ²				80.15 m ²	24.24 坪

5. 外構

舗装工事	
側溝工事	
フェンス工事	

6. 外部仕上表

屋根	SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板t=0.35 段葺 断熱材裏打ち品		
	ゴムアスルーフing 野地板 構造用合板 t=15		
外壁	※屋根下天井には高性能GW20K t=155敷込 防湿シート下地		
		腰部	上部
	東	室素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り 同質コーナ	高性能GW t=105 24K
		透湿防水シート	
		通気工法	
	西	室素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り 同質コーナ	高性能GW t=105 24K
		透湿防水シート	
		通気工法	
	南	室素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り 同質コーナ	高性能GW t=105 24K
		透湿防水シート	
		通気工法	
	北	室素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り 同質コーナ	高性能GW t=105 24K
透湿防水シート			
通気工法			
ポーチ	床: 150角707-タイル、段バタタイル 天井: ケイカル板 900*900底目地 t=6.0 AEP SUS行スリ(2段)		
	柱型: 室素系サイディングボード t=16 (塗装品) コーナ役物四隅 透湿防水シート		
	目隠しアルミ格子: アルミ格子 外付タイプ(木目調) 30×55 @71 アルミ受材共(参考 リクシル プラックコートフェンス1型同等)		
軒裏	ケイカル板 t=6.0 AEP 軒天換気材 GLカラー鋼板t=0.35 (既製品)		
破風・鼻隠し	防火破風板 H=240 EPG		
庇	GLカラー鋼板t=0.4 アスファルトルーフィング 940 野地板: 構造用合板t=12下地		
雨樋	軒樋	塩ビカラー 角120 SUS吊金具	
	縦樋	塩ビカラー Φ75 SUS掴み金物	
犬走り	コンクリート 直押E 目地切		
建具	住宅用アルミサッシ		
その他	既存 合併処理浄化槽へ接続		
	床下(外気に接する部分)にはEPS(ヒートフォーム)断熱材 t=90 を敷き込む。		

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG



SCALE

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

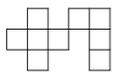
図面名称 仕上表 -1

A-12
No. **

7. 内 部 仕 上 表

階	室 名	床	幅 木	壁		天 井	廻 縁	CH=	24H 換気	カーテン レール	備 考
				腰 壁	上 部 壁						
1	玄 関	150角フローア-ノンスリップタイル	同 左	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2420			造り付下足入
	ホール・廊下	桧フローリング t=15 塗装品 構造用合板t=28下地	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2300			
	キッチン	桧フローリング t=15 塗装品 構造用合板t=28下地	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス 1部 PB t=12.5下地 キッチンパネル t=3.0		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2400			システムキッチン L=2500 IHコンロ カウンター
	L D	桧フローリング t=15 塗装品 構造用合板t=28下地	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス 1部 PB t=12.5及びt=9.5下地 キッチンパネル t=3.0		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2450		SUS W	
	和室6帖	スライタ敷 構造用合板t=28下地	タタミ寄せ	PB t=12.5下地 ビニールクロス 洋室界壁：PB t=12.5+9.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2400		SUS W	
	洋 室	桧フローリング t=15 塗装品 構造用合板t=28下地	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス 和室界壁：PB t=12.5+9.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2400		SUS W	
	物干室	ビニ床シート t=2.5 構造用合板t=28 + 耐水(ラ)合板 t=12下地	ソフト幅木	防水PB t=12.5下地 ビニールクロス 1部 防水PB t=12.5下地 サニタリーパネル t=3.0		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2300		SUS S	吊下型 調整式 物干金物 W=820 SUS竿 L=1500 ビニールカーテン
	洗面・脱衣室	ビニ床シート t=2.5 構造用合板t=28 + 耐水(ラ)合板 t=12下地	ソフト幅木	防水PB t=12.5下地 ビニールクロス 1部 防水PB t=12.5下地 サニタリーパネル t=3.0		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2300			洗面化粧台、造り付棚、床下点検口450口 洗濯パン (機械設備工事)
	浴 室	間口1650×奥行1618 片引戸：樹脂ガラス 浴槽：FRP シェア-フックスライドバー：手摺りタイプ 浴室暖房乾燥機 収納棚：スチールタイプ3段 風呂フ									
	W C	ビニ床シート t=2.5 構造用合板t=28 + 耐水(ラ)合板 t=12下地	ソフト幅木	PB t=12.5下地 ビニールクロス			塩ビ製	2300			洋風便器、手洗器、L型トイレ (機械設備工事) 上部棚
	クローゼット	707-合板t=15 構造用合板t=28下地	雑巾摺	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2300			SUSハンガー-ハーフφ32 中1段 枕棚
	押 入	707-合板t=15 構造用合板t=28下地	雑巾摺	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2300			中1段 床下点検口 枕棚
	収 納 1. 2 (タナ)	707-合板t=15 構造用合板t=28下地	雑巾摺	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ製	2300			可動棚 床下点検口 (収納2) 枕棚

材 料		塗 料		認 定 番 号				特 記	
W 木	CB コンクリートブロック	SOP 合成樹脂調合ペイント	UC ウレタンクリヤ	無機質壁紙 (1級)	PB t=12.5下地	: 準不燃QM-9403	ロックウール化粧吸音板 t=9.0	: 不燃NM-8599	1) 木材は四万十市産材を使用すること。
S 鋼	PB 石膏ボード (GB-R)	OP 調合ペイント	UE ウレタンエナメル	石膏ボード	t=12.5	: 不燃NM-8619	シーリング石膏ボード t=9.5	: 準不燃QM-9826	
SUS ステンレス	防水PB シーリング石膏ボード(GB-S)	VEP ビニル系エマルジョンペイント	OS オイルステイン		t=9.5	: 準不燃QM-9828	(防水ボード) t=12.5	: 不燃NM-9639	
AL アルミ		AEP アクリル系エマルジョンペイント	CL クリヤラッカー	化粧石膏ボード	t=9.5	: 不燃NM-0879	キッチンパネル t=3.0	: 不燃NM-9447	
LGS 軽量鉄骨	GW グラスウール	EPG 艶有り合成樹脂エマルジョンペイント	OC オスモカラー	珪酸カルシウム板	t=6.0	: 法定不燃材料			

設計年月日	※ 室内・天井裏に使用する仕上材・塗料・合板類・接着剤等 (家具・備品にも適用)は全てホルムアルデヒド等級区分F☆☆☆☆とし、 クロルピリホス・トルエン・キシレンの配合無きものとする。	 株式会社 プラス1設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247 事務所登録 第1324号 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG	SCALE	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図 図面名称 仕上表 -2	A-13 No. **
-------	--	---	--	-------	---	----------------

仕様表

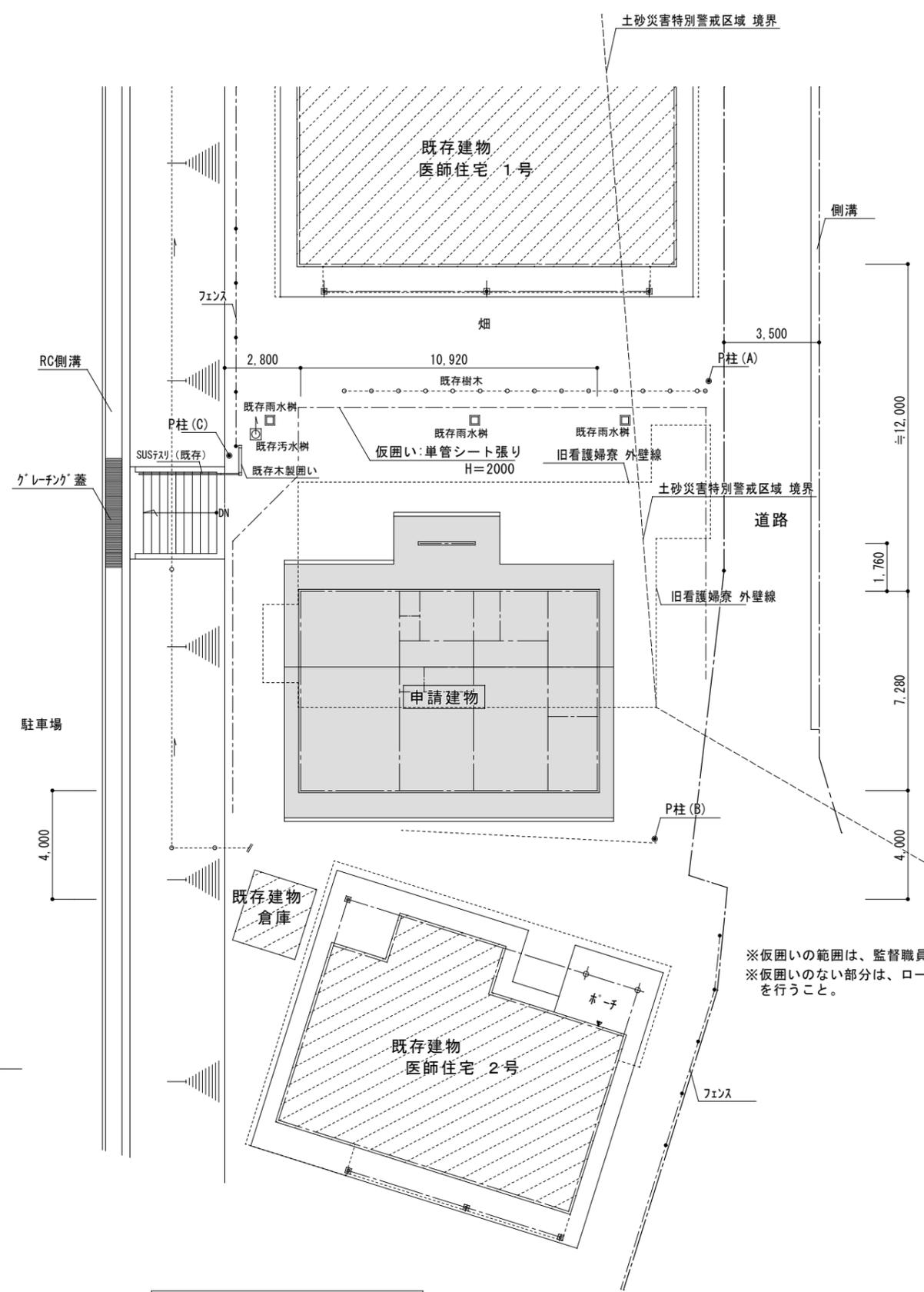
単位：特記なき限り (mm)

住宅の名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事 (高知県四万十市西土佐用井)
-------	--

仕様が複数ある場合、必要最小限の仕様のもの、又は仕様の範囲を以下に記載

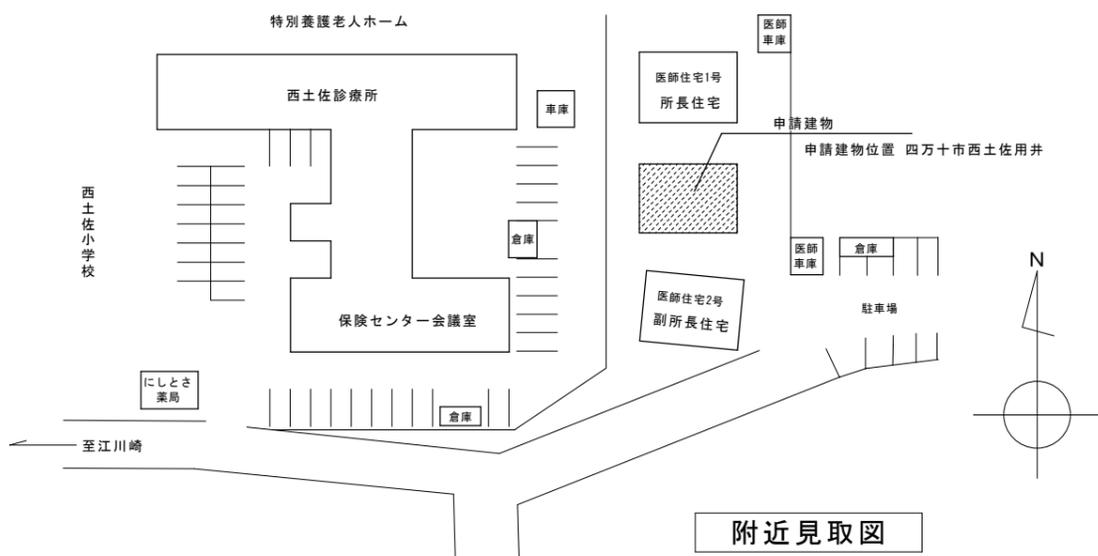
項目	小項目	仕様	備考	
建築材料 (法第37条)	基礎コンクリート	JIS 設計基準強度Fc: 21N/mm ² 以上 スラブ: 15cm以下		
	基礎鉄筋	JIS SD295A		
令第2章第2節 (居室の天井の高さ、 床の高さ及び防湿方法)	居室の床の高さ及び 防湿方法 (令第22条)	床の高さ	600 (設計GLから)	
		防湿方法	基礎パッキン (有効換気面積75cm ² /m以上)	
令第3章第2節 (構造部材等)	構造部材の耐久 (令第37条)	構造耐力上主要な部分	腐食、腐朽、摩損のおそれのあるものに腐食等防止の措置	
		基礎 (令第38条) (建告第1347号)	支持地盤の種類及び位置	砂質地盤 (GL-0.5m)
			基礎の種類	べた基礎
			基礎の底部の位置	地盤面からの深さ: GL-90、根入れ: GL-300
			基礎の底部に作用する荷重の数値・算出 方法	地盤の許容応力度 30 kN/m ²
			木ぐい及び常水面の位置	対象外 (木ぐい無し)
	鉄筋	主筋: D13、立上り・底盤・開口補強筋: D10	フック有	
	地盤調査 (令第38条)	地盤調査	SWS試験	SWS試験結果に基づく地盤調査報告書
		地盤改良	該当なし	
	屋根ふき材等 (令第39条) (建告第109号)	屋根ふき材の固定方法	SUS、鉄製くぎまたは、鉄製木ビス (L=50mm以上)	
屋外に面する部分のタイル等の緊結方法		該当なし		
太陽光システム等を設置した際の防錆 処理		該当なし		
令第3章第3節 (木構造)	木材 (令第41条)	木材の規格 (JAS) または等級	横架材、柱材、筋かい等、その他: 無等級材 耐力上の欠点のないこと	
		土台及び基礎 (令第42条)	柱脚の固定方法	土台120×120 (ヒノキ、無等級材) を設ける
	土台の固定方法		アンカーボルト (M12) + 座金 (厚) 4.5×40角により緊結、柱から200以内 に設置 (設置間隔: 2700以内)	Zマーク表示金物又は同等認定品
	柱の小径 (令第43条)	横架材間距離	1階 小径105、横架材相互間の垂直距離の最大: 2893 柱の小径と横架材間内法寸法の比率: 1/27.6	
		柱断面の欠き取り (1/3以上) の有無	1/3以上欠き取る場合は適切に補強	
		2階建てのすみ柱	該当なし	
	はり等の横架材 (令第44条)	中央部付近の下側に耐力上支障のある 欠き込み	欠込み: 無し	
		筋かい (令第45条)	筋かいの断面	45×105
	筋かいの欠き込み		原則欠き込み無し (必要な場合) たすき部補強: 両面から短冊金物 (S) 当て六角ボルト (M12) 締め、スクリューくぎ (Z550) 打ち	Zマーク表示金物又は同等認定品
	構造耐力上必要な軸 組 (令第46条)	第1項	主要な梁せい: スギ (105×120~300)	
第3項 床組・小屋ばり組の火打、構造用 合板等、振れ止め		床組: 構造用合板 (厚) 28 小屋ばり組: 鋼製火打ち、振れ止め: 設置		
第4項 壁量基準 (耐震・耐風)		筋かい (45×105シングル、ダブル)、配置は壁量平面図による		
継手・仕口 (令第47条)	筋かい端部	緊結方法: 筋かいプレート (BP2等)	Zマーク表示金物又は同等認定品	
	耐力壁両側柱頭・柱脚	N値計算による	N値計算書	
	その他の柱頭・柱脚	かど金物 (CP-L) 等	Zマーク表示金物又は同等認定品	
	小屋組の接合方法	耐風性向上のための接合部仕様 たるき-軒桁接合: ひねり金物ST-15 たるき-もや接合: 鉄丸くぎ2-N75 2本斜め打ち 小屋束-小屋ばり・小屋束-もや接合: かすがいG120両面打ち	平12建告第1460号 基準風速: 36m/s、 樹種: J3 (スギ) Zマーク表示金物又は同等認定品	

項目	小項目	仕様	備考	
令第3章第3節 (木構造)	防虫措置等 (令第49条)	鉄網モルタル下地等の防水措置	該当なし	
		構造耐力上主要な部分の柱、筋かい、 土台	地面から1mの範囲で防虫・防蟻処理	
令第3章第4節の2 (補強コンクリート ブロック造)	塙 (令第62条の8)	構造方法	該当なし	
		材料の種類	該当なし	
		壁の厚さ	該当なし	
		補強筋	該当なし	
		補強筋端部	該当なし	
防火構造 延焼のおそれのある 部分	屋根 (法第22条)	仕上	該当なし	
		野地板	該当なし	
		防水紙	該当なし	
	外壁 (法第23条)	仕上	該当なし	
軒裏 (令第108条)	仕上	該当なし		
居室の内装	内装材 (令第20条の7)	内装材 (ドア合板、ビニル床シート、集成材、 ビニルクロス、石膏ボード、キッチン・床、サニタ リ・パネ、ソケット、内装・収納ドア、洗面 化粧台、キッチン、接着剤)	全てF☆☆☆☆	
		換気設備 (令第20条の8)	機械換気設備の構造 天井裏等 (合板、構造用合板、収納内部 、石膏ボード)	換気計算書による 全てF☆☆☆☆
居室の換気	換気設備 (令第20条の8)	機械換気設備の構造	換気計算書による	
		天井裏等 (合板、構造用合板、収納内部 、石膏ボード)	全てF☆☆☆☆	
		昇降機以外の建築設備の構造方法	該当なし	
		給水・給湯管材料	引込: ステンレス管 敷地内: 耐衝撃硬質塩化ビニル管 住戸内: 架橋ポリエチレン管	
給排水衛生設備	給水、排水その他の 配管設備 (令第129条の2の4)	排水管材料	排水樹: コンクリート製樹、硬質塩化ビニル製樹 排水管: 硬質塩化ビニル製排水管 地中埋設管: 防食テープにて処理 排水勾配: 1/100以上 管径は、上下水道局の基準による	
		水栓	吐水口空間を有効に確保する	
		法第40条	がけの安全性	-
		法第41条		-

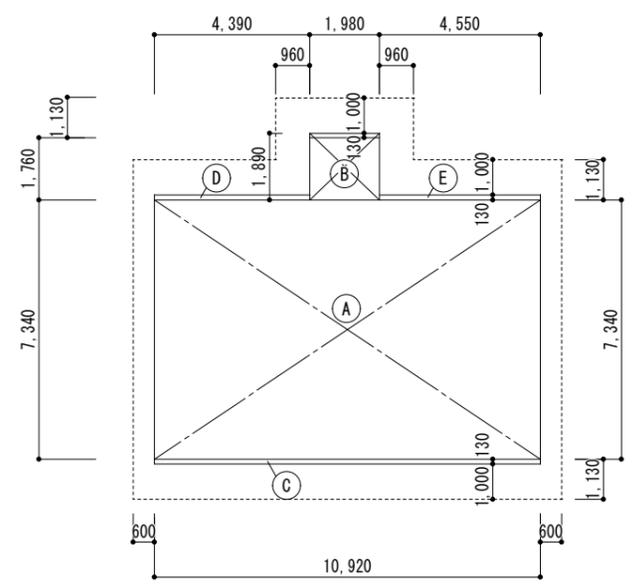


配置図 S=1:200

※仮囲いの範囲は、監督職員と協議の上決定する。
 ※仮囲いのない部分は、ロープ張りを行うなど安全対策を行うこと。



附近見取図



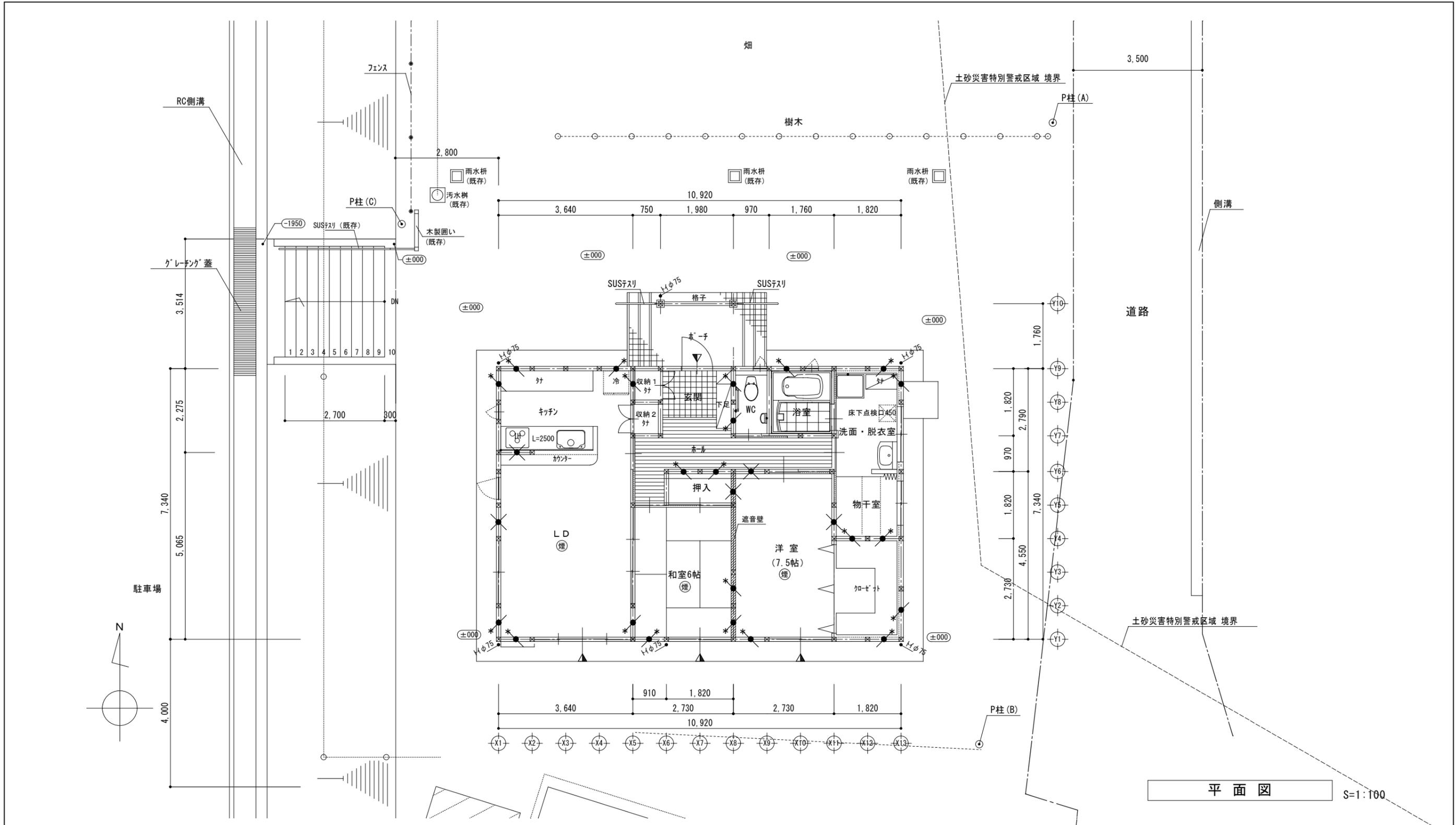
建物面積計算 S=1:200

記号	計算式	計 (㎡)
Ⓐ	10.92 × 7.34	80.1528
Ⓑ	1.98 × 1.90	3.7422
Ⓒ	10.92 × 0.13	1.4196
Ⓓ	4.39 × 0.13	0.5707
Ⓔ	4.55 × 0.13	0.5915
建築面積	Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ	86.47 ㎡
1階床面積	Ⓐ	80.15 ㎡
延床面積		80.15 ㎡

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室
 高知県四万十市古津賀 2939-8
 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
 事務所登録 第1324号
 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE S=1:200
 工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
 図面名称 配置図 附近見取図 建物面積計算
 No. A-15 **



平面図 S=1:100

凡例

	管柱	桧 105 x 105		出入口、掃出し窓
	筋違い	桧 45x105 (BP-2取付) *印の付いた方が上側とする		住宅用防災機器 (煙式感知器) (電気設備工事)

設計年月日	
R07	

株式会社
プラス1設計室

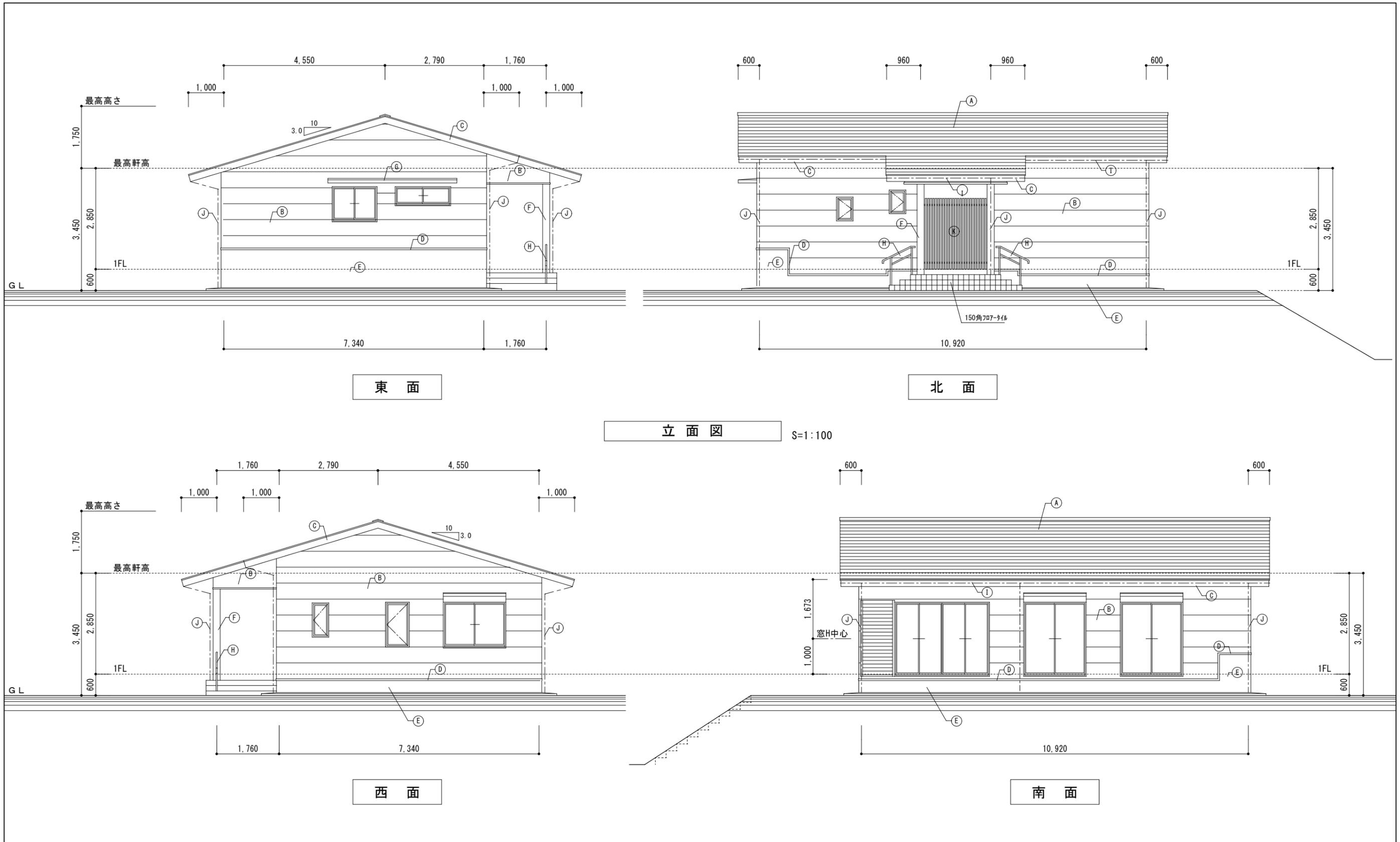
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也



SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称 平面図

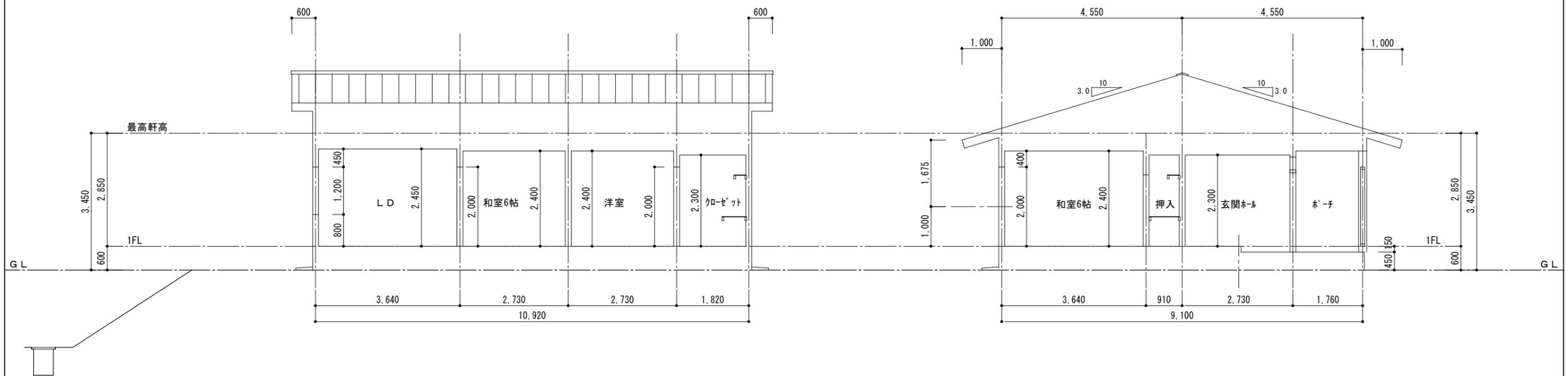
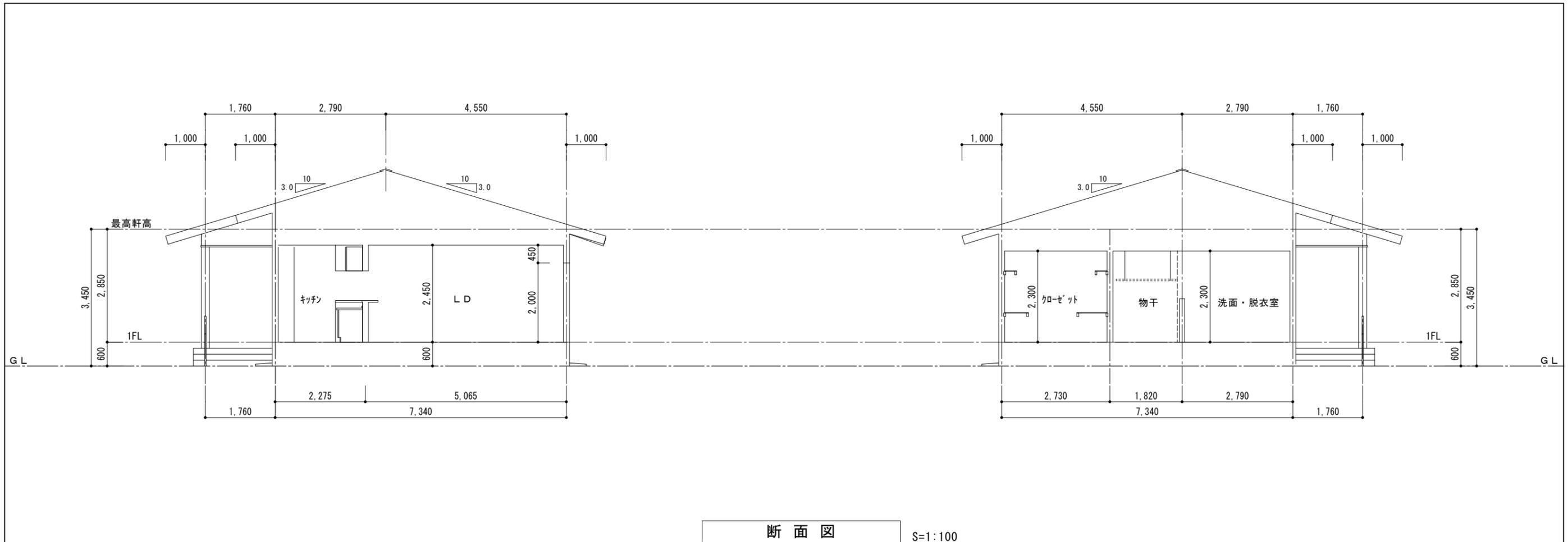
A-16
No. **



立面図 S=1:100

記号		記号		記号		記号		
(A)	屋根	SGL遮熱ちぢみ塗装銅板t=0.35 段葺 断熱材裏打ち品	(C)	破風・ケラバ	防火破風板 H=240	(G)	庇	GLカー-銅板t=0.4 アスファルト-フィンク 940 構造用合板t=12下地
		ゴムアール-フィンク 野地板 構造用合板 t=15	(D)	土台水切	GLカー-銅板 t=0.4	(H)	手摺	SUSアクリ 2段
(B)	外壁	窒素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り	(E)	幅木	RC打放シ	(I)	軒樋	塩ビカー-角120 吊金具
		透湿防水シート 同質コーナ	(F)	柱型	窒素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り コーナ	(J)	竖樋	塩ビカー-φ75 SUS金具
(K)						(K)	目隠し格子	アルミ 外付タイプ (木目調) 30×55 H=2000

設計年月日		株式会社 プラス1設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8	THINKING KONG	SCALE	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図 図面名称 立面図	A-17
			TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247		S=1:100		
			事務所登録 第1324号				
			1級建築士 第196860号 永富 達也				



設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

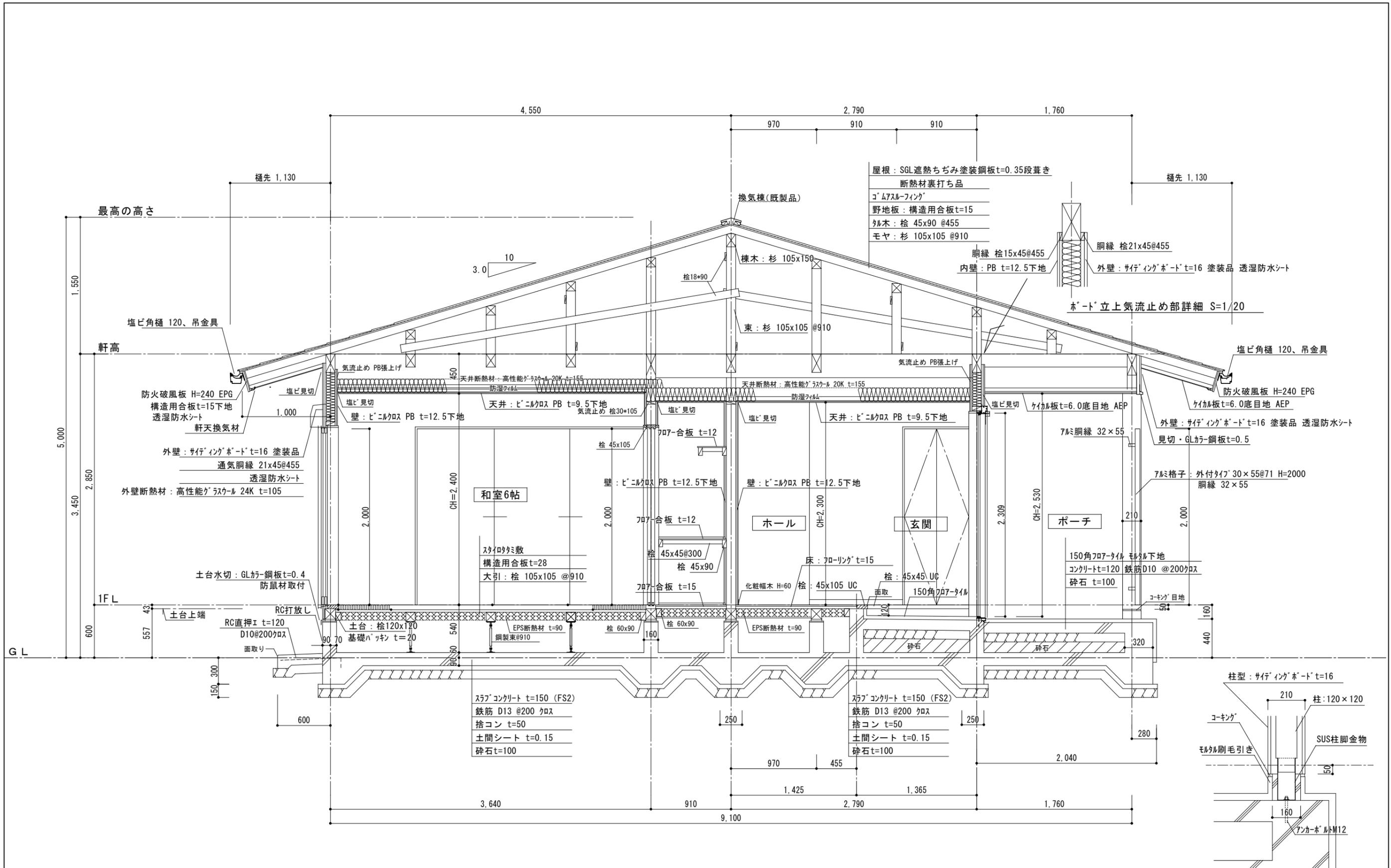


SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

図面名称 断面図

A-18
No. **



矩計図 - 1

S=1:40

ポーチ柱周り詳細図 S=1:20

設計年月日	

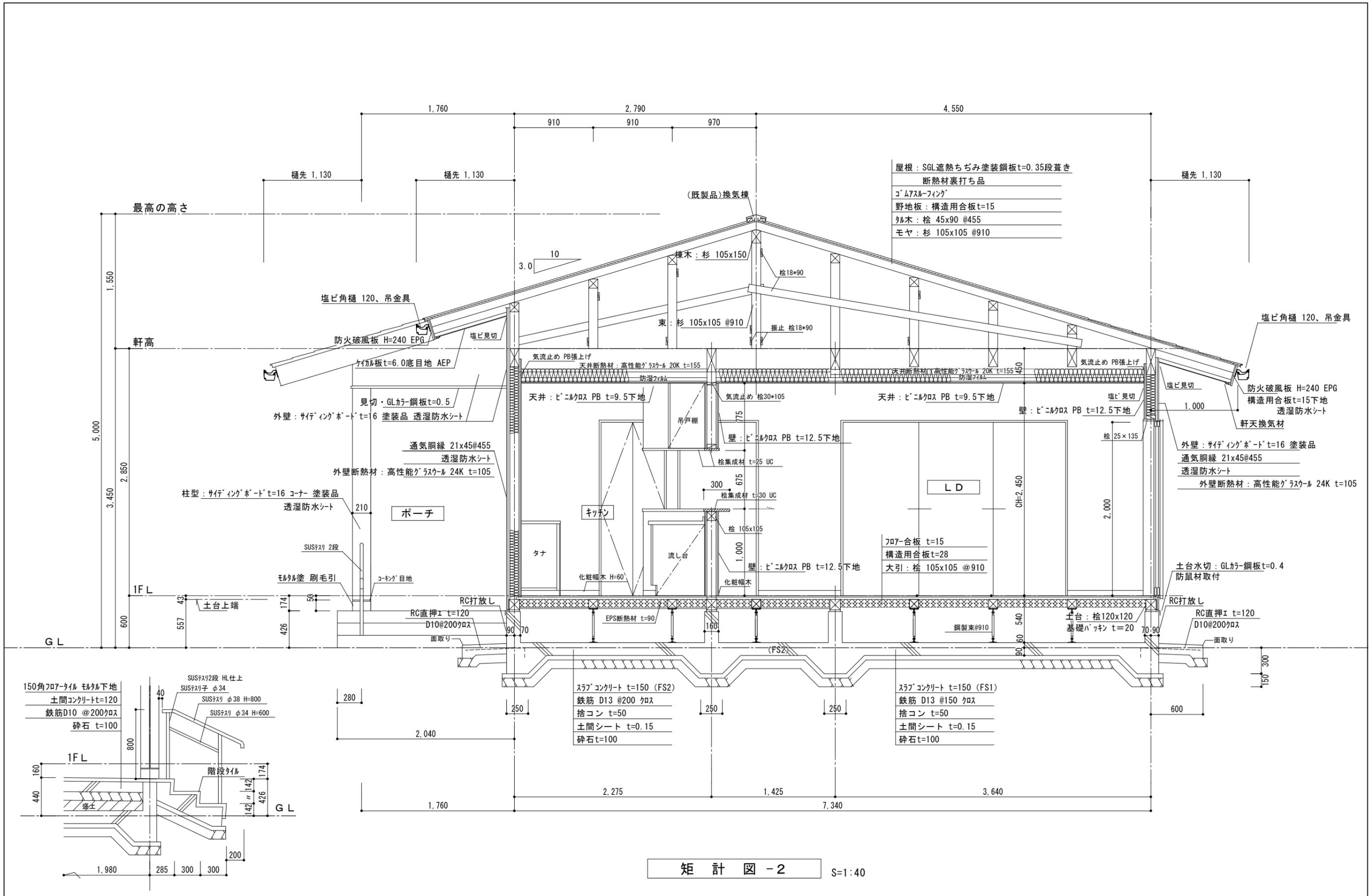
株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
 事務所登録 第 1324 号
 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE
 S=1:40

工事名称
 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
 図面名称
 矩計図 - 1

A-19
 No. **



矩計図 - 2 S=1:40

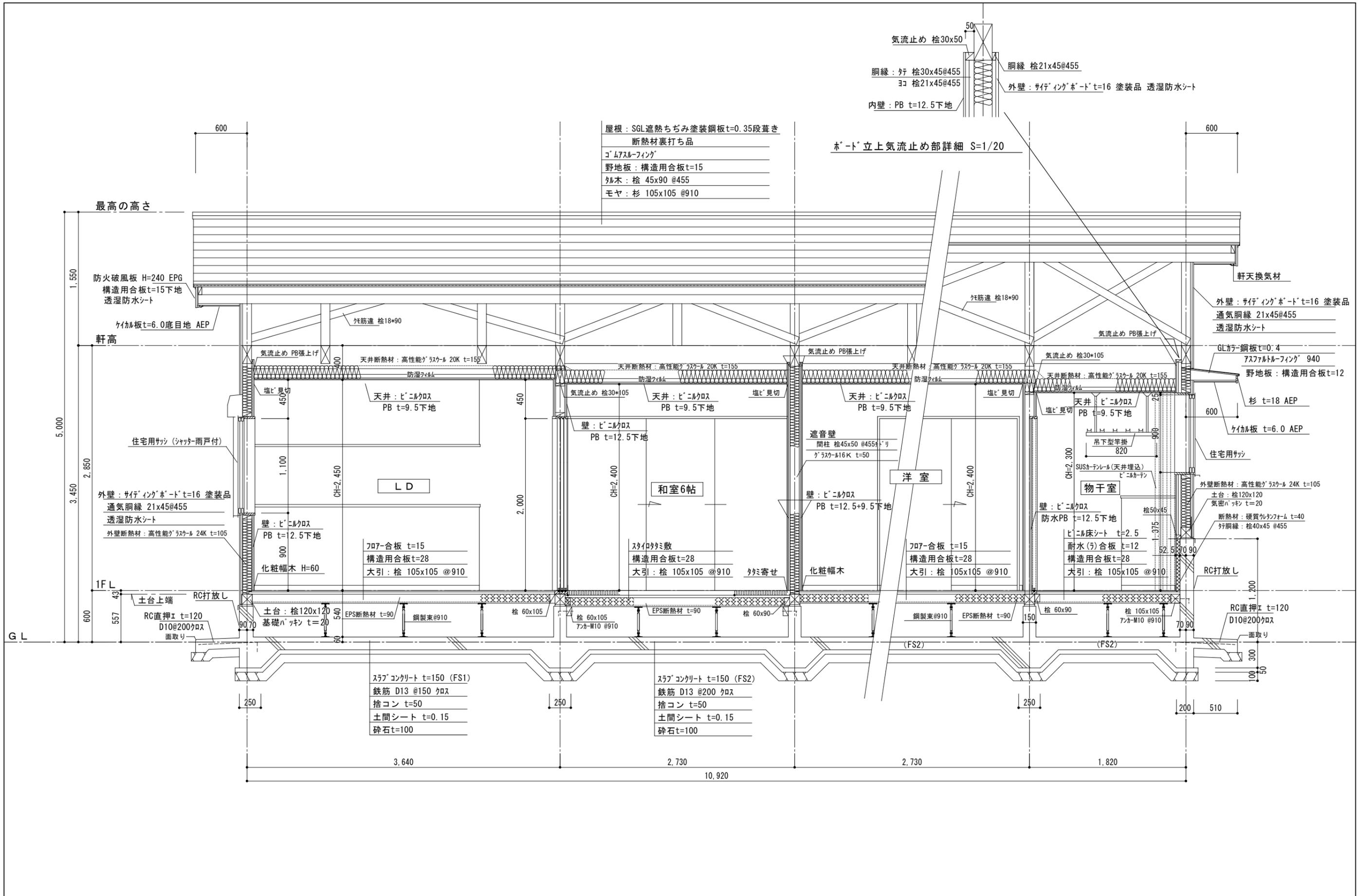
設計年月日	

株式会社
プラス1設計室
 高知県四万十市古津賀 2939-8
 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
 事務所登録 第 1324 号
 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE
 S=1:40

工事名称
 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
 図面名称
 矩計図 - 2

A-20
 No. **



設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

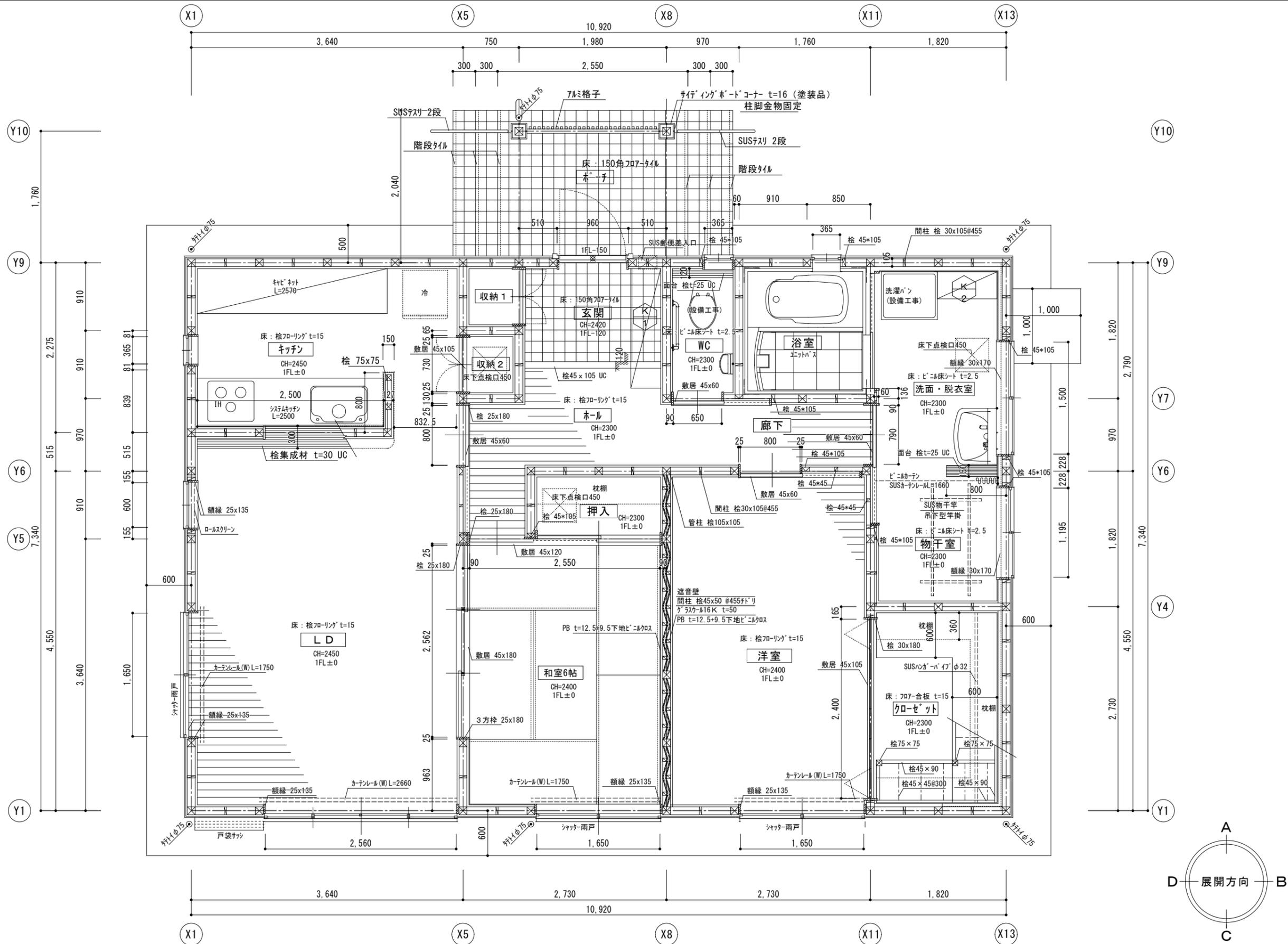
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

図面名称
概計図 -3

A-21
No. **



平面詳細図 S=1:50

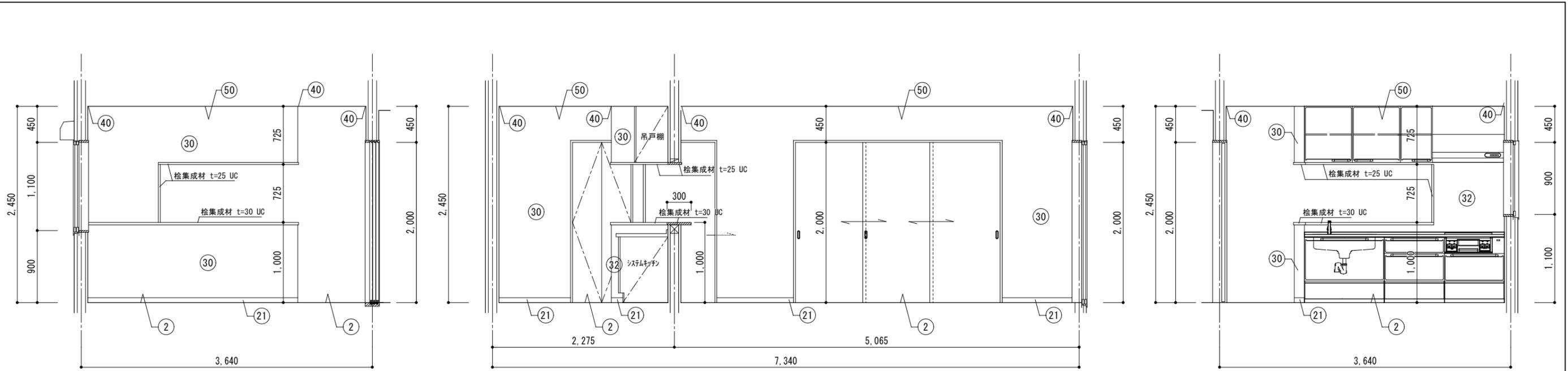
設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

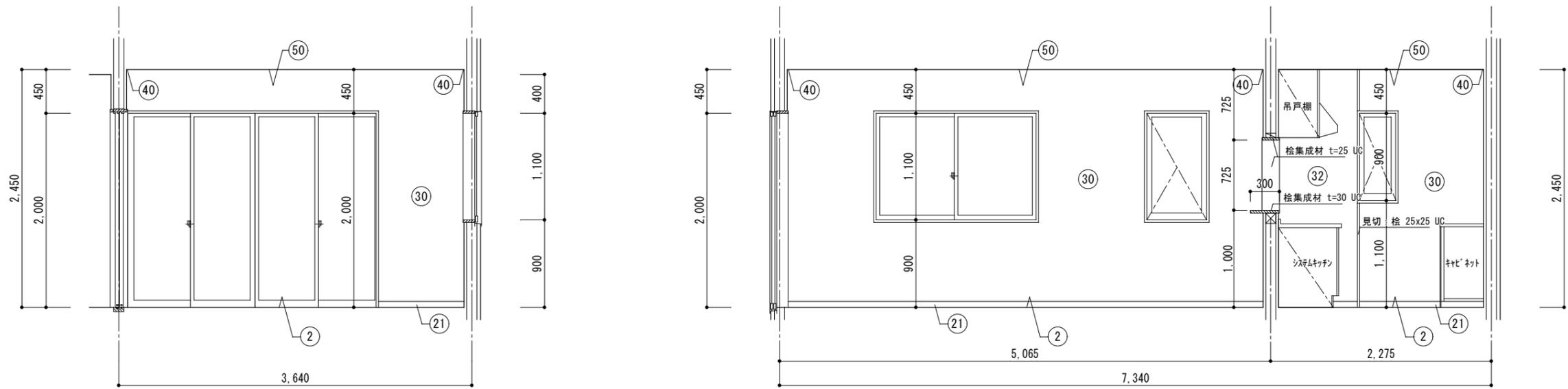
高知県四万十市古津賀 2939-8
 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
 事務所登録 第 1324 号
 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE
 S=1:50

工事名称
 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
 図面名称
 平面詳細図



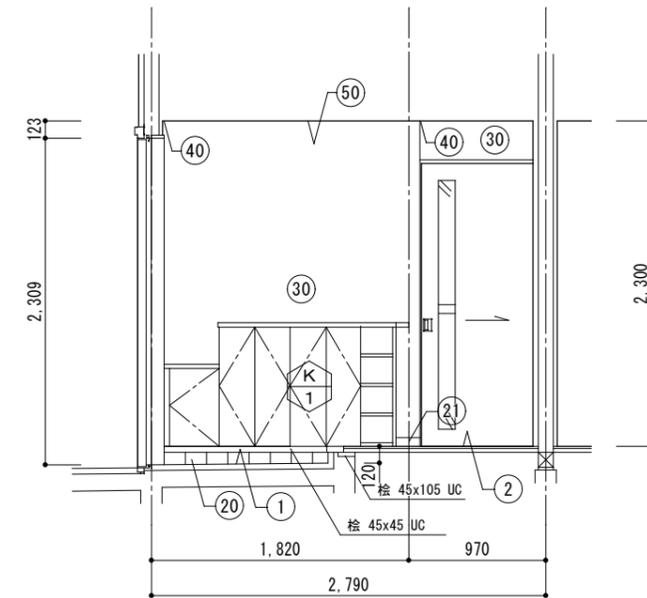
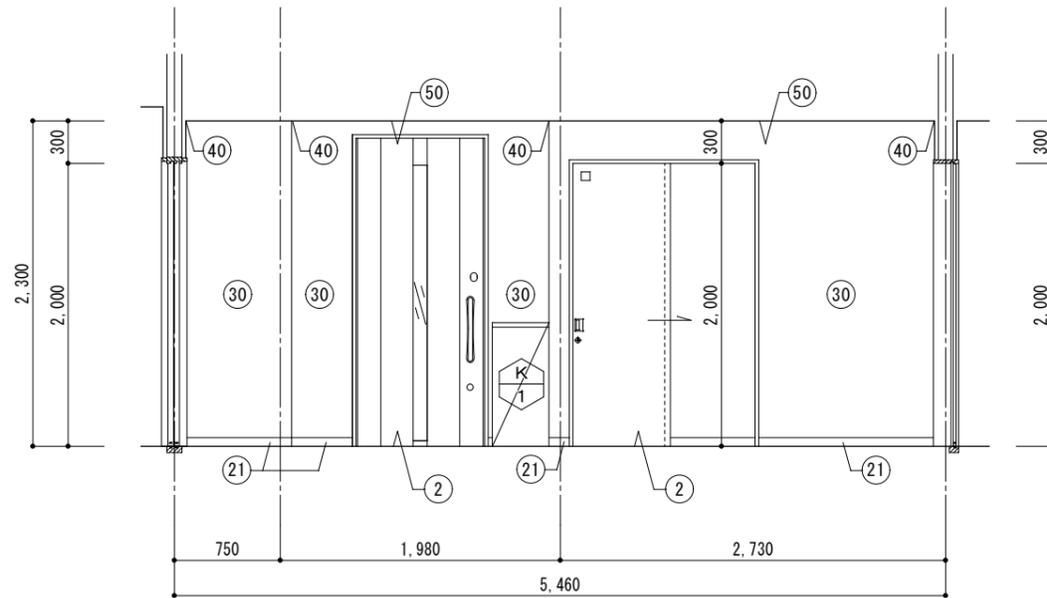
LD・キッチン A キッチン B LD C キッチン S=1:50



LD・キッチン C LD D キッチン S=1:50

0. 床		20. 幅木		30. 壁		40. 廻り縁		50. 天井		その他		
①	150角フロア-ノンスリップ*タイル	②①	150角フロア-ノンスリップ*タイル	③①	PBt=12.5下地 ビニールクロス	③⑤	防水PBt=12.5下地 サニタリーパ*紙 t=3.0	④①	塩ビ製	⑤①	PB t=9.5下地 ビニールクロス	①A
②	構造用合板 t=28下地 桧フローリング* t=15(塗装品)	②①	化粧幅木 H=60	③①					⑤①			
③	構造用合板 t=28下地 スタイロタミ	②②	タミ寄せ	③②	PBt=12.5下地 キッチンパ*紙				⑤②			
④	構造用合板 t=28+耐水(ラ)合板 t=12下地 ビニールシート t=2.5	②③	ソフト幅木	③③	PBt=12.5+9.5下地 ビニールクロス				⑤③			
⑤	構造用合板 t=28下地 フォア-合板 t=15	②④	雑巾摺	③④	防水PBt=12.5下地 ビニールクロス				⑤④			

設計年月日		株式会社 プラス1設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247 事務所登録 第1324号 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG	SCALE S=1:50	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図 図面名称 展開図-1	A-23 No. **
-------	--	------------------------	--	-----------------	--	----------------

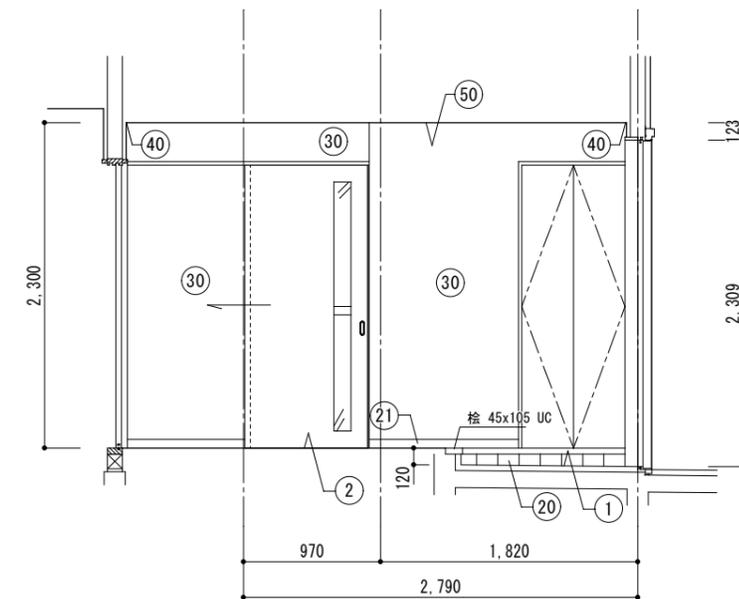
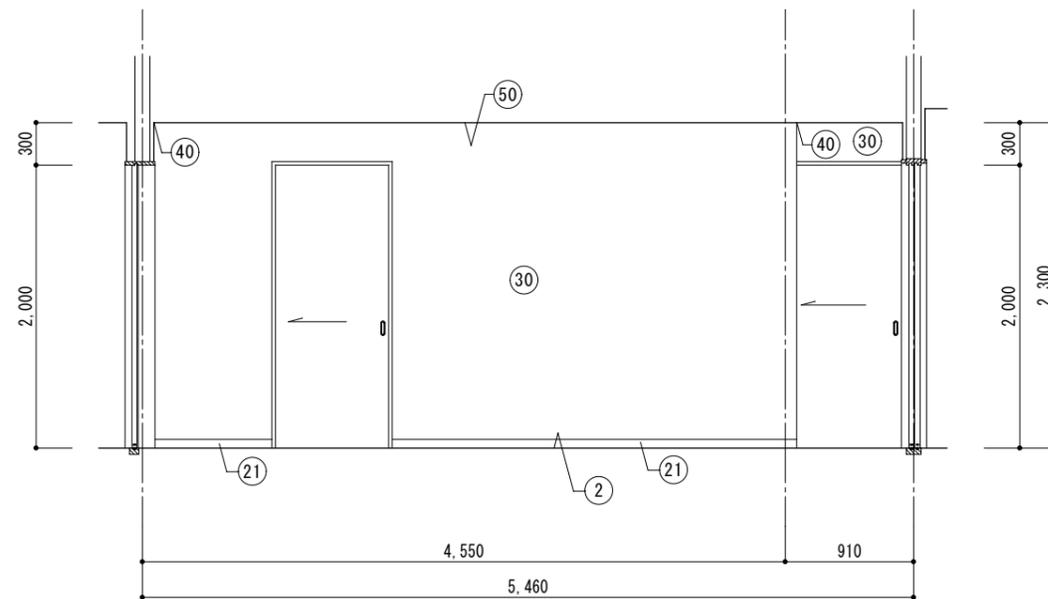


玄関・ホール・廊下

A

B

S=1:50



玄関・ホール・廊下

C

D

S=1:50

0. 床		20. 幅木		30. 壁		40. 廻り縁		50. 天井		その他		
①	150角フロア-ノンスリップ*タイル	②①	150角フロア-ノンスリップ*タイル	③①	PBt=12.5下地 ビニールクロス	③⑤	防水PBt=12.5下地 サニタリ-パ*紙 t=3.0	④①	塩ビ製	⑤①	PB t=9.5下地 ビニールクロス	Ⓐ
②	構造用合板 t=28下地 桧フローリング* t=15(塗装品)	②①	化粧幅木 H=60	③①						⑤①		
③	構造用合板 t=28下地 スタイロタミ	②②	タミ寄せ	③②	PBt=12.5下地 キッチンパ*紙					⑤②		
④	構造用合板 t=28+耐水(ラ)合板 t=12下地 ビニールシート t=2.5	②③	ソフト幅木	③③	PBt=12.5+9.5下地 ビニールクロス					⑤③		
⑤	構造用合板 t=28下地 フロア-合板 t=15	②④	雑巾摺	③④	防水PBt=12.5下地 ビニールクロス					⑤④		

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

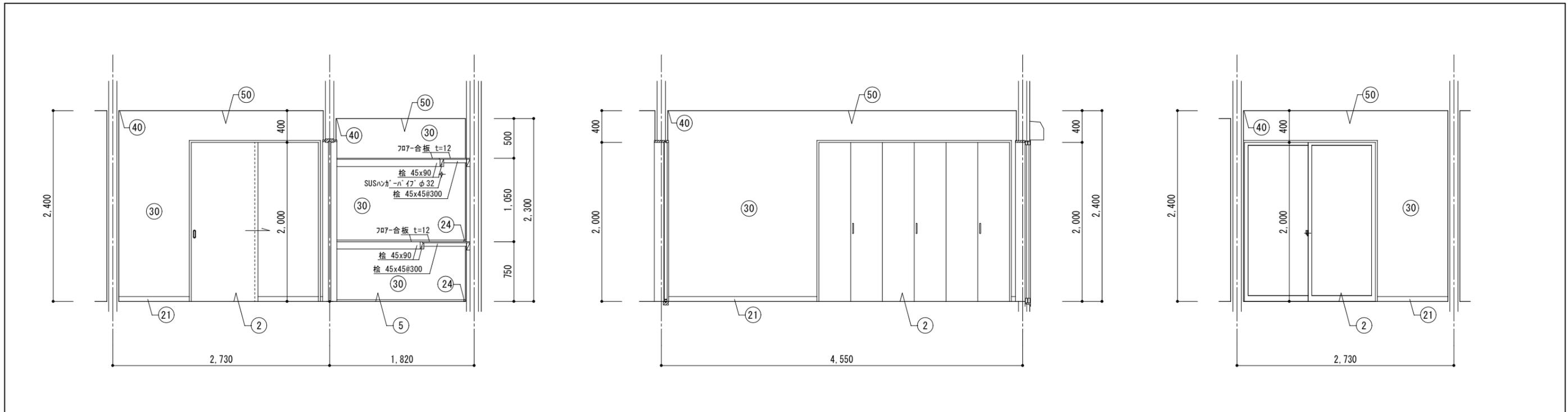
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也



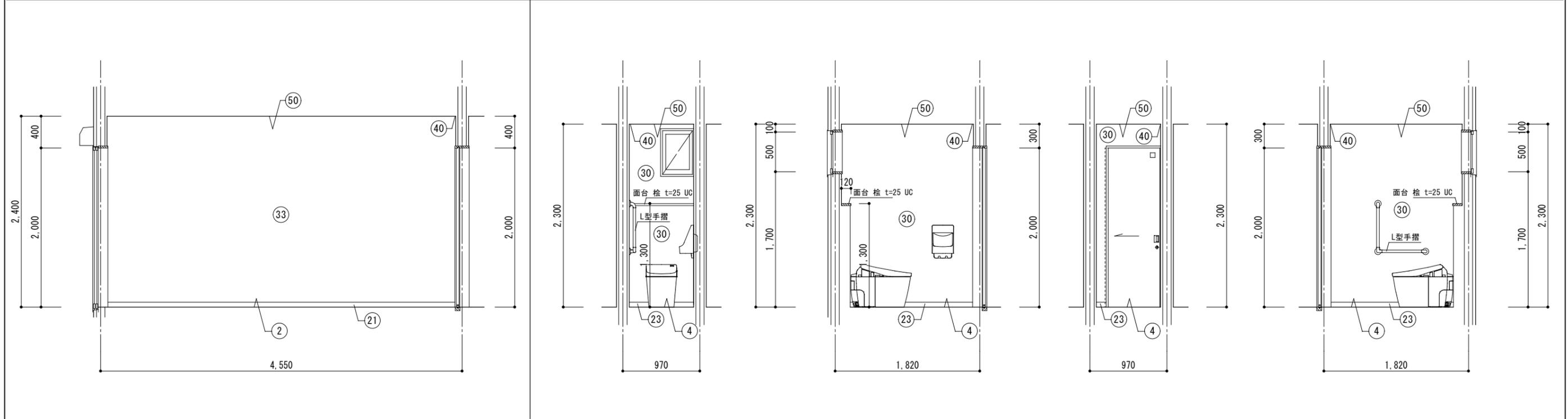
SCALE
S=1:50

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称 展開図-2

A-24
No. **

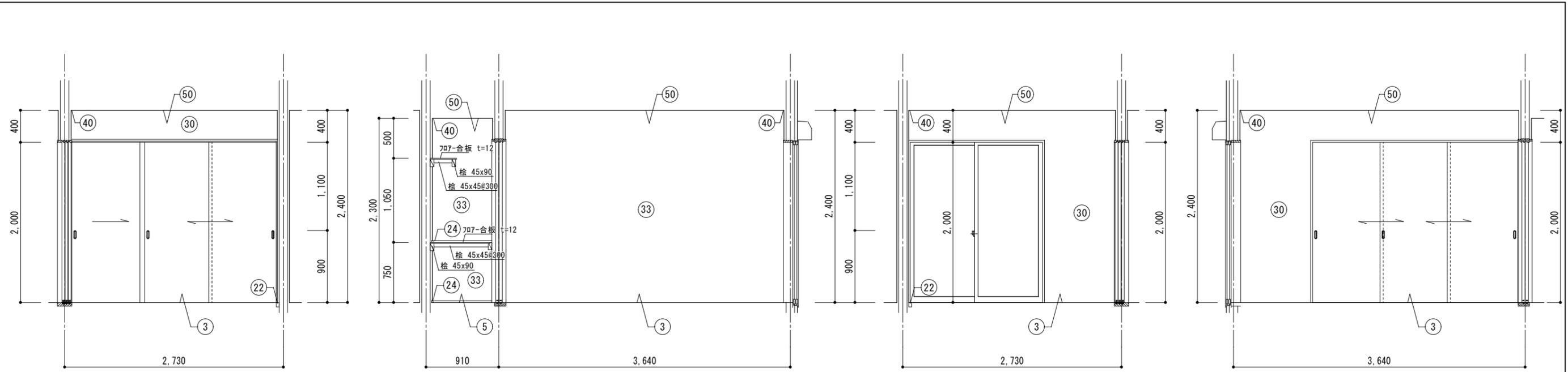


洋室 洋室 A クロゼット B C S=1:50

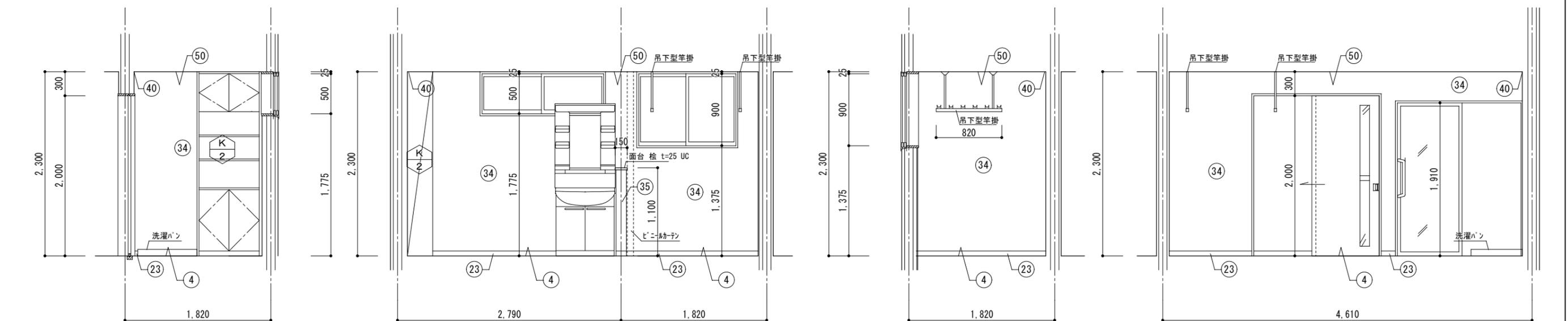


洋室 D W C A B C D S=1:50

0. 床		20. 幅木		30. 壁		40. 廻り縁		50. 天井		その他		
①	150角707-ノンスリップ*タイル	②①	150角707-ノンスリップ*タイル	③①	PBt=12.5下地 ビニールクロス	③⑤	防水PBt=12.5下地 サニタリー*襦 t=3.0	④①	塩ビ製	⑤①	PB t=9.5下地 ビニールクロス	①A
②	構造用合板 t=28下地 桧フローリング* t=15(塗装品)	②①	化粧幅木 H=60	③①						⑤①		
③	構造用合板 t=28下地 スライダミ	②②	タミ寄せ	③②	PBt=12.5下地 キッチン*襦					⑤②		
④	構造用合板 t=28+耐水(ラ)合板 t=12下地 ビニール床シート t=2.5	②③	ソフト幅木	③③	PBt=12.5+9.5下地 ビニールクロス					⑤③		
⑤	構造用合板 t=28下地 707-合板 t=15	②④	雑巾摺	③④	防水PBt=12.5下地 ビニールクロス					⑤④		

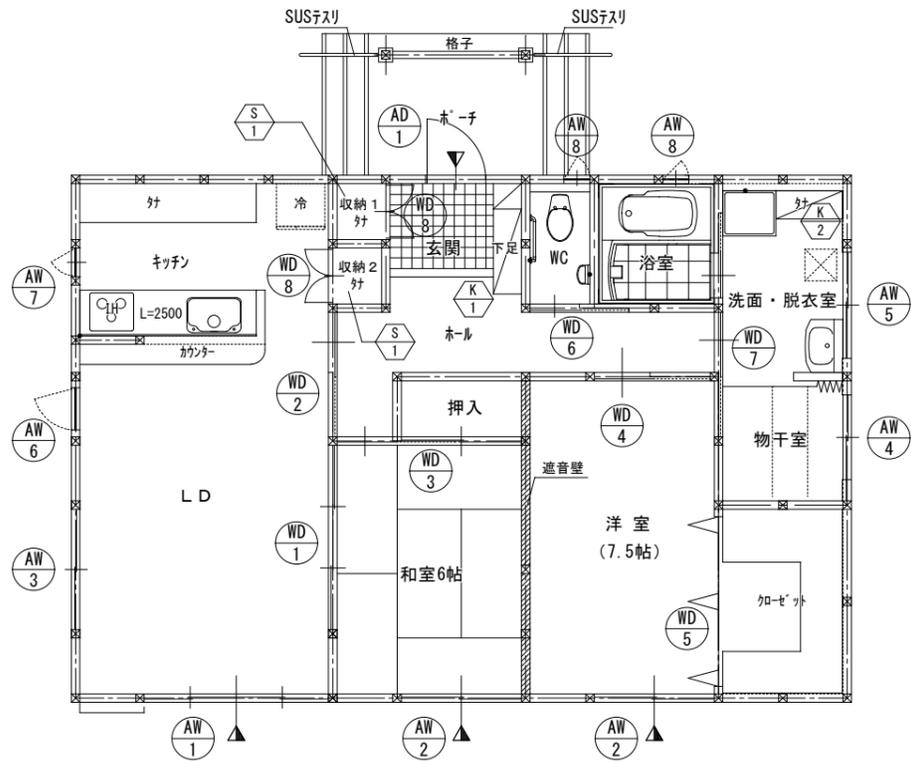


和室6帖 A 押入 B 和室6帖 C D S=1:50



洗面・脱衣室・物干室 A 洗面・脱衣室 B 物干室 C D S=1:50

0. 床		20. 幅木		30. 壁		40. 廻り縁		50. 天井		その他	
①	150角フロア-ノンスリップ タイル	②⑩	150角フロア-ノンスリップ タイル	③⑩	PBt=12.5下地 ビニルクロス	④⑤	塩ビ製	⑤⑩	PB t=9.5下地 ビニルクロス	①	A
②	構造用合板 t=28下地 桧フローリング t=15(塗装品)	②①	化粧幅木 H=60	③①				⑤①			
③	構造用合板 t=28下地 スタイロタミ	②②	タミ寄せ	③②	PBt=12.5下地 キッチンパネ			⑤②			
④	構造用合板 t=28+耐水(ラ)合板 t=12下地 ビニル床シート t=2.5	②③	ソフト幅木	③③	PBt=12.5+9.5下地 ビニルクロス			⑤③			
⑤	構造用合板 t=28下地 フロア-合板 t=15	②④	雑巾摺	③④	防水PBt=12.5下地 ビニルクロス			⑤④			



キープラン S=1:100

記号・数量	AD 1 × 1	AW 1 × 1	AW 2 × 2
形状	S=1:100 熱貫流率: 1.59W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 2.03W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 2.03W/(㎡・K)
場所	玄関	LD	和室6帖、洋室
形式	住宅用玄関片開き戸	4枚引き違い窓	引き違い窓
見込		70mm	70mm
材質・仕上	アルミ	7層樹脂複合サッシ	7層樹脂複合サッシ
硝子	型板複層ガラス LowE4+Ar16+型板6	(断熱) 複層ガラス	(断熱) 複層ガラス
金物	付属金物一式、SUSハートハンドル、シリコン錠	遮熱グリーン3+Ar16+透明3G	遮熱グリーン3+Ar15+透明4G
備考	住宅用	付属金物一式 雨戸、SUS網戸付	付属金物一式 住宅用 半外付型 シャッター雨戸、SUS網戸付
記号・数量	AW 3 × 1	AW 4 × 1	AW 5 × 1
形状	S=1:100 熱貫流率: 1.22W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.27W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.27W/(㎡・K)
場所	LD	物干室	洗面・脱衣室
形式	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓
見込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7層樹脂複合サッシ	7層樹脂複合サッシ	7層樹脂複合サッシ
硝子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar13+透明1.3+Ar13+グリーン3G アルゴン	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G アルゴン	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G アルゴン
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	シャッター雨戸、SUS網戸付	SUS網戸付	SUS網戸付
記号・数量	AW 6 × 1	AW 7 × 1	AW 8 × 2
形状	S=1:100 熱貫流率: 1.12W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.26W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.26W/(㎡・K)
場所	LD	キッチン	浴室、WC
形式	縦入り出し窓	縦入り出し窓	入り出し窓
見込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7層樹脂複合サッシ	7層樹脂複合サッシ	7層樹脂複合サッシ
硝子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar14+透明1.3+Ar14+グリーン3 アルゴン	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3 アルゴン	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3 アルゴン
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	SUS網戸付	SUS網戸付	SUS網戸付

設計年月日	R07 05 15
-------	---------------

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也



SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

図面名称 キープラン 建具表-1

A-27

No. **

記号・数量	WD1 × 1	WD2 × 1	WD3 × 1	WD4 × 1	WD5 × 1	WD6 × 1
形状 S=1:100						
場所	L D	L D	押入(和室6帖)	洋室	クローゼット(洋室)	WC
形式	3枚引き違い戸	片引き戸	引き違い戸+片引き戸	片引き戸	折れ戸	片引き戸
見込	36mm	36mm	36mm	36mm	36mm	36mm
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材
硝子	----	4mm強化型板	----	----	----	4mm強化型
金物	Vレール、戸車、SUS掘込引手L=100	ハンガーレール、上吊車、SUS掘込引手L=100	Vレール、戸車、SUS掘込引手L=100	ハンガーレール、上吊車、SUS掘込引手L=100	付属金物一式	ハンガーレール、上吊車、SUS掘込引手L=100
備考		ストップ、ガイド 付属金物一式		ストップ、ガイド 付属金物一式		ストップ、ガイド 付属金物一式
記号・数量	WD7 × 1	WD8 × 2				
形状 S=1:100						
場所	洗面・脱衣室	収納1、2(玄関、キッチン)				
形式	片引き戸	両開き戸				
見込	36mm	36mm				
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材	ポリ合板フラッシュ 小口 検面材				
硝子	4mm強化型板	----				
金物	ハンガーレール、上吊車、SUS掘込引手L=100	スライド丁番、SUS掘込取手				
備考	ストップ、ガイド 付属金物一式					
記号・数量						
形状 S=1:100						
場所						
形式						
見込						
材質・仕上						
硝子						
金物						
備考						

設計年月日	R07 05 15
-------	---------------

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

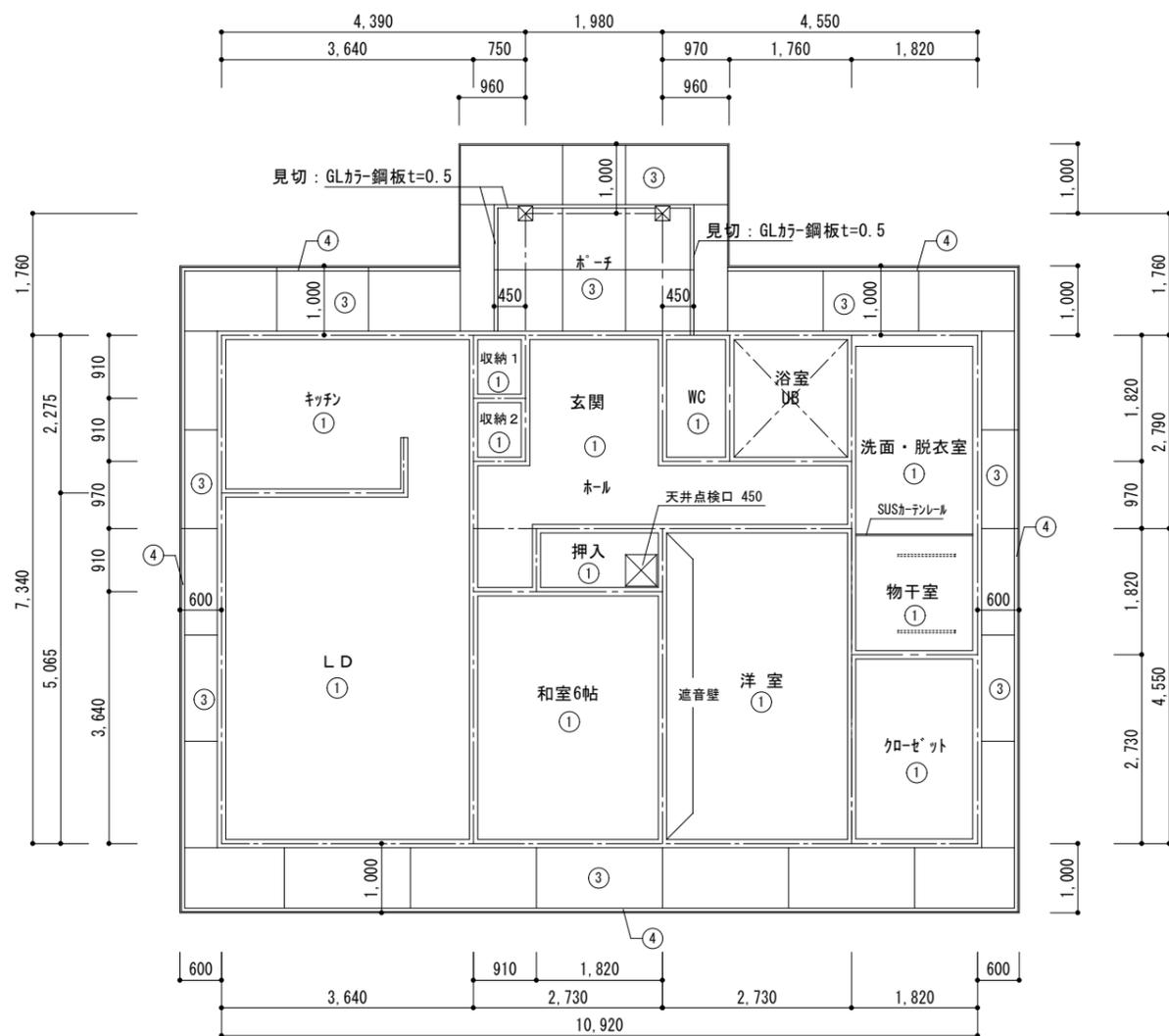
SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称 建具表-2

A-28
No. **

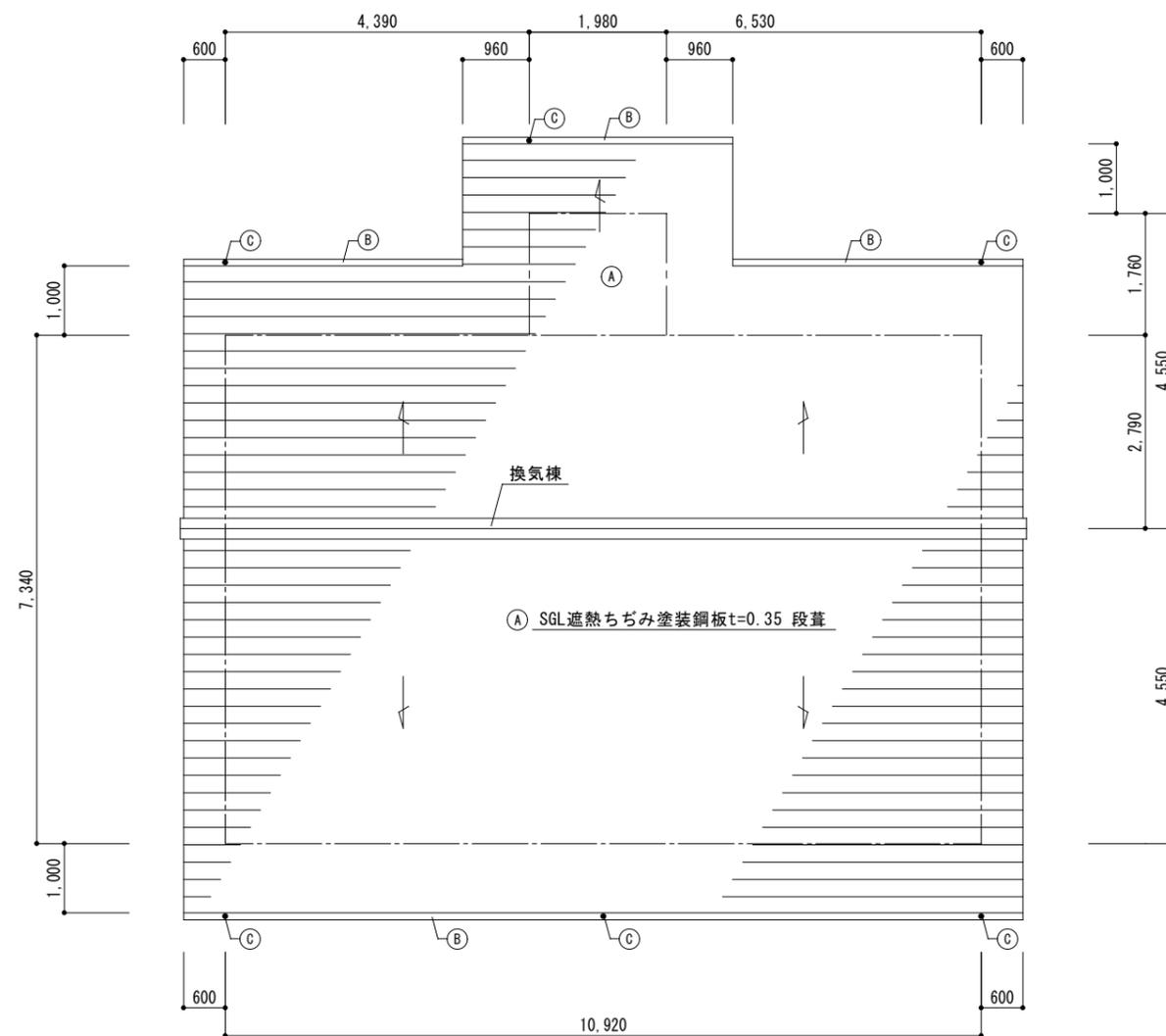
<p>記号・数量 $\frac{K}{1}$ × 1</p> <p>形状 S=1:40</p>		<p>記号・数量 $\frac{K}{2}$ × 1</p>
場所	玄関	洗面・脱衣室
形式	ゲタ箱	収納棚
材質・仕上	天板: 桧集成材 t=30 UC、見付枠・側板: ポリ合板フラッシュ、背面: ポリ合板張、その他: ポリ合板フラッシュとする。	見付枠・側板: ポリ合板フラッシュ、背面: ポリ合板張、その他: ポリ合板フラッシュ
硝子		
金物	SUS丁番、マグネットキャッチ、アルミダボレール ゲタ箱内部底板: ホリ合板フラッシュ GLカー鋼板 t=0.4貼	SUS丁番、マグネットキャッチ、アルミダボレール
備考	ハンドレス	ハンドレス

<p>記号・数量 $\frac{S}{1}$ × 2</p> <p>形状 S=1:40</p>	<p>システムキッチン</p>	<p>キャビネット</p>	
場所	キッチン、玄関	キッチン	キッチン
形式	可動棚	キッチン	キッチン
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ t=30	天板: ステンレス、ステンレスシンク 下台: 木製、底板: ホーロー 吊戸棚: 化粧ホード	本体: 木製 底板: 木製 カウンター: マラミン エントパネル: マラミン
硝子			
金物	SUS丁番、マグネットキャッチ、アルミダボレール	耐震ラッチ 3口IHヒーター シングルレバー混合栓 レンジフード レール引手	レール引手
備考	キッチン、玄関 同様とする	(参考品番: タラスタンダードリフト)	(参考品番: タラスタンダードリフト)



天井伏図 S=1:100

記号	天井	廻り縁
①	PBt=9.5 下地 ビニルクロス	塩ビ見切
②		
③	軒裏 ケイカル板 t=6.0 AEP	塩ビ見切
④	軒天換気材 軒先・壁際タイプ GLカー-鋼板t=0.35 (既製品)	



屋根伏図 S=1:100

記号	屋根	断熱材裏打ち品
Ⓐ	SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板t=0.35 段葺	断熱材裏打ち品
	アスファルト-フィング 940 野地板 構造用合板 t=15	
Ⓑ	軒樋	塩ビカラー角120 吊金具
Ⓒ	縦樋	塩ビカラー φ75 SUS金具

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

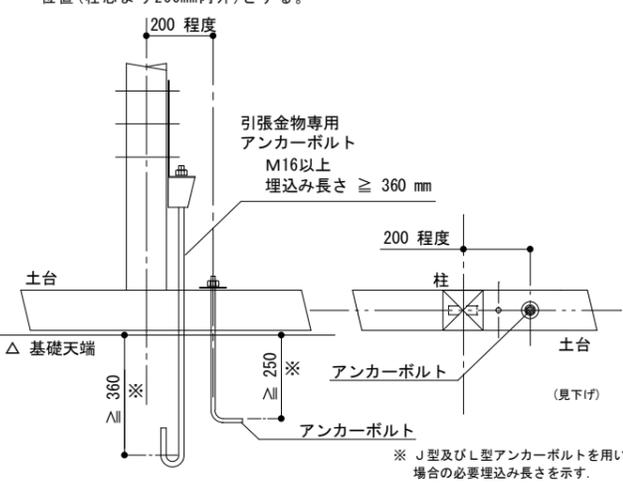
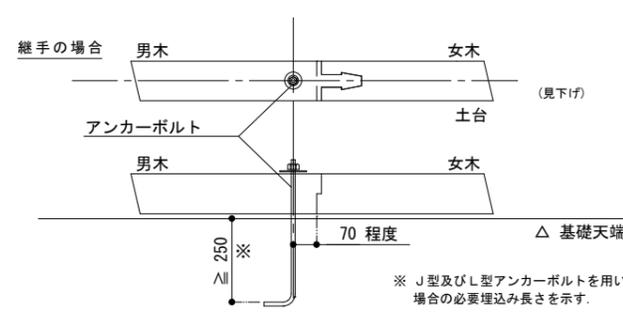
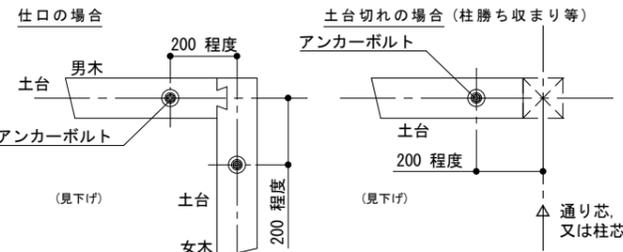
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称 天井伏図 屋根伏図

A-30
No. E

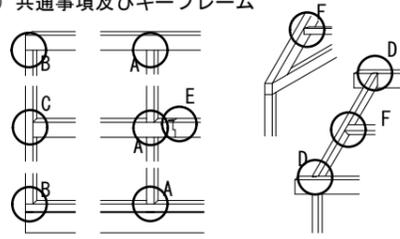
木造軸組接合部標準図(1)

1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
<p>(1) 適用範囲 ※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。</p> <p>(2) 設計図書 設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。</p> <p>(3) 準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。） 「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修） 「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修） 「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修） 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版）」（日本住宅・木材技術センター） 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）</p> <p>上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>(4) 設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 本標準図</p> <p>(5) 疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(7) 施工図及びプレカット図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>(8) 製作工場の選定、承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける</p> <p>(9) 各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p> <p>(10) 接合法 本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合法は、下記による。 ・継手仕口による在来工法 ・梁受け金物、及びホソパイプ等による金物工法</p> <p>なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。 また、本標準図は在来接合法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。 本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。</p> <p>(11) 加工部材に関する留意事項 本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。 ・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同寸～450mm、及び材長6m以下 ・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下</p> <p>これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。</p>	<p>(1) 木材及び木質材料 主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。</p> <p>(2) 接合具 a) くぎ 主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。</p> <p>b) 木質構造用ビス 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>c) ボルト・ナット・座金 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。 ・ボルトはJIS B 1051、ナットはJIS B 1052に規定される機械的性質を満たす炭素鋼 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット 【 Zマーク表示金物 】 【 Dマーク表示金物 】 【 Sマーク表示金物 】 ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。</p> <p>※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。</p> <p>d) ドリフトピン・ラグスクリュー 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>e) 木栓・木ダボ 主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。樹種・径等については、特記仕様書で指定する。節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。</p> <p>(3) 接合金物 a) 規格金物 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。 ・JIS A 5531: 木構造用金物 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物; Zマーク表示金物、又は Cマーク表示金物 ・同等認定金物; Dマーク表示金物 ・性能認定金物; Sマーク表示金物</p> <p>上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。 使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。</p> <p>b) 製作金物 製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。</p> <p>(4) 接着剤 原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。 建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。</p> <p>(5) 防腐防蟻処理及び耐候処理 防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。</p>	<p>※共通事項 ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。</p> <p>(1) 土台固定用アンカーボルト a) アンカーボルトの埋設位置: アンカーボルトの埋設位置は以下による。</p> <p>-1. 耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部; 耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。</p>  <p>※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>-2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口; 土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。</p>  <p>仕口の場合 土台切れの場合(柱勝ち取り等)</p>  <p>-3. その他: 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。</p> <p>(2) 引張金物専用アンカーボルト a) 引張金物専用アンカーボルトの径 引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。 b) 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ 引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360mm以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。</p>	<p>(1) 釘接合 ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。 ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んでうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。 ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>(2) 木質構造用ビス接合 ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。</p> <p>(3) ボルト接合 ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。 ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。 ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。</p> <p>(4) ラグスクリュー接合 ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。 ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 % 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 % ※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。 ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。 ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。 ・呼び径 M12以下: +1.0mm ・呼び径 M16以上: +1.5mm</p> <p>(5) ドリフトピン接合 ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>(6) 木栓接合 ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。</p> <p>(7) グルードインロッド接合 ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。 ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。</p>

木造軸組接合部標準図(2)

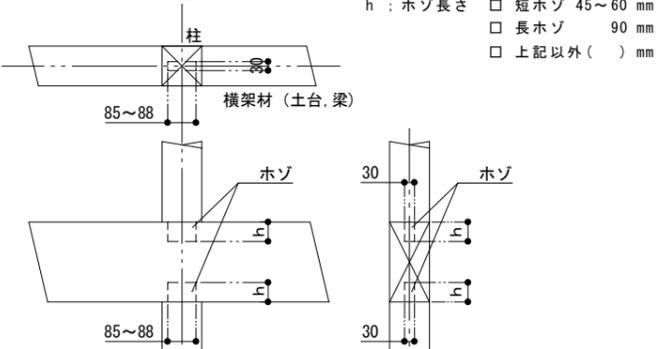
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

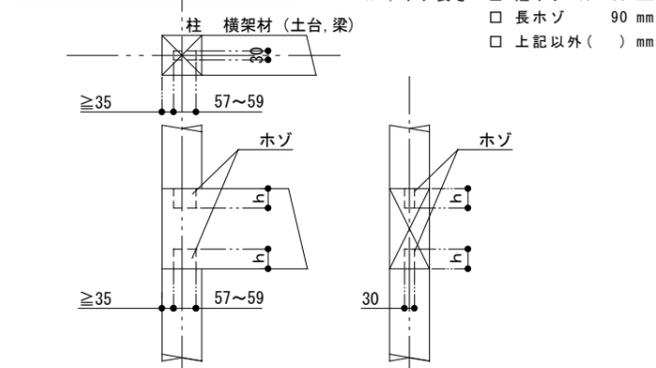


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

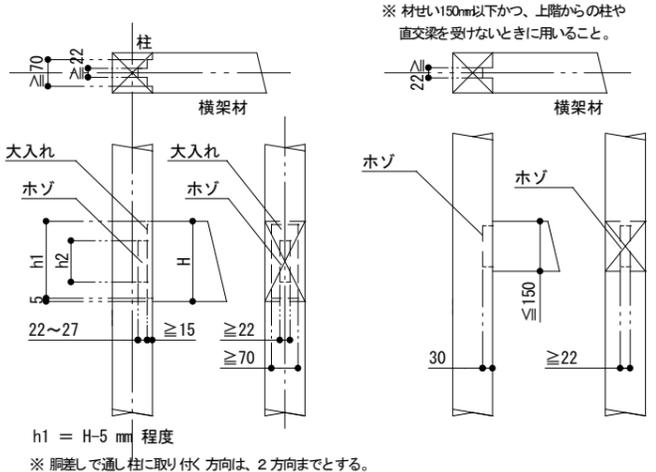
A 柱-横架材仕口：一般部 (土台共通)



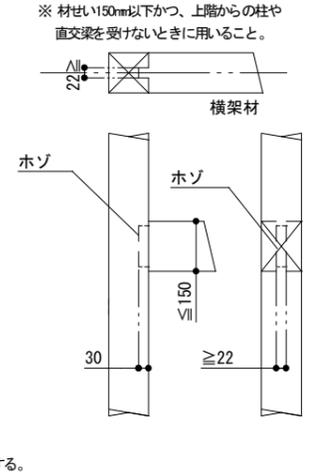
B 柱-横架材仕口：出隅部 (土台共通)



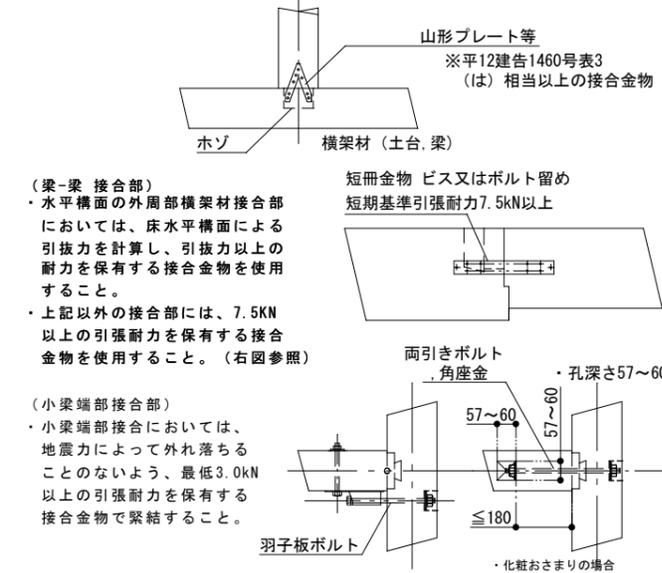
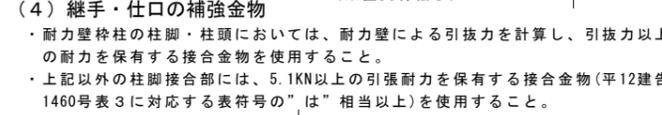
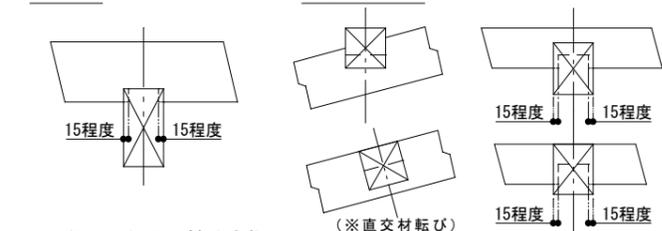
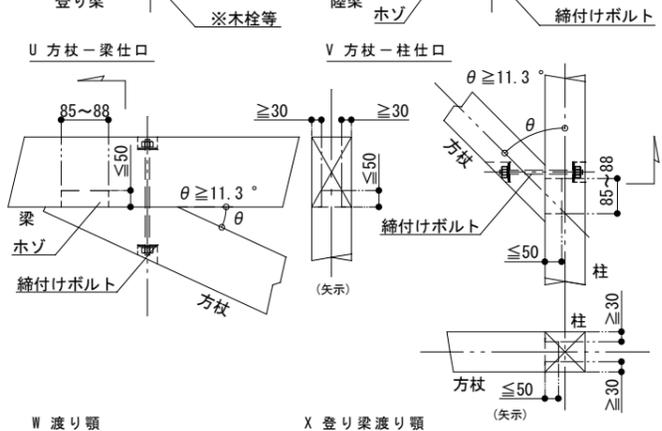
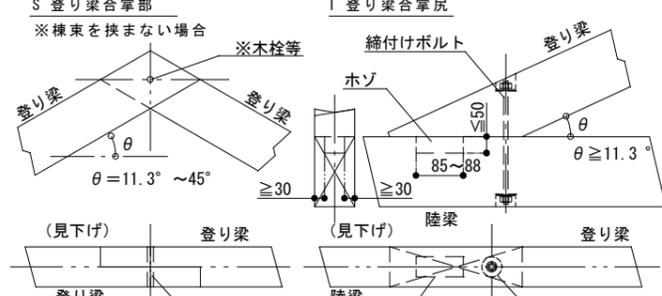
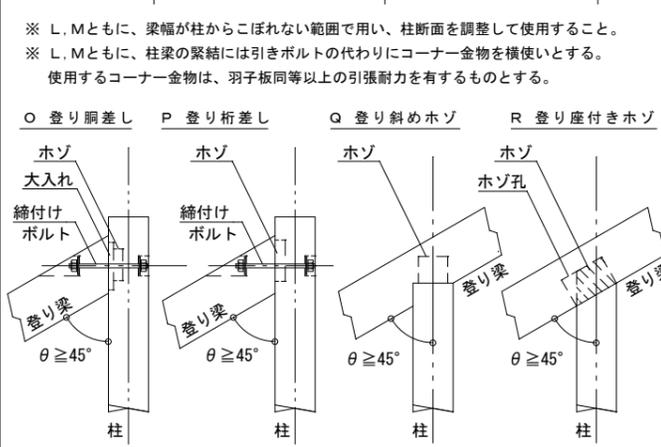
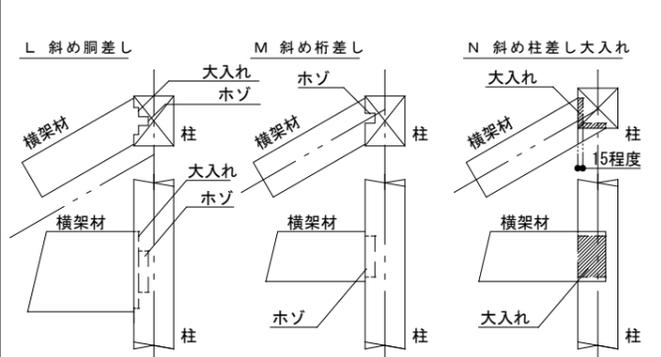
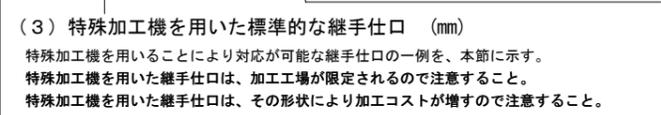
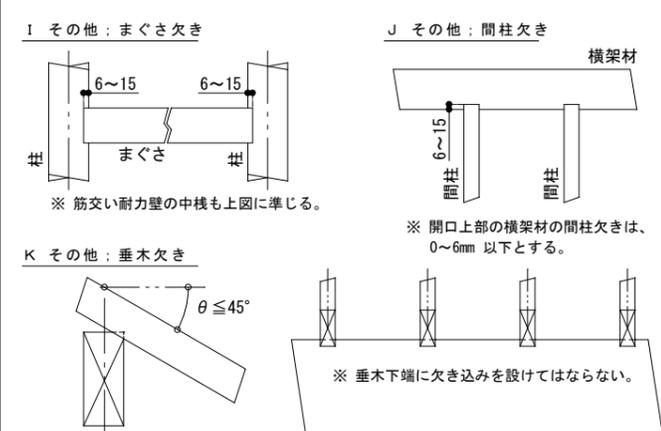
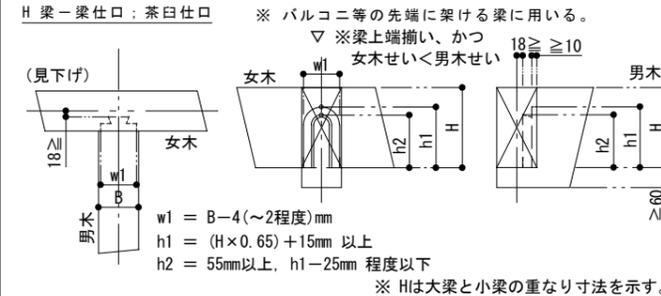
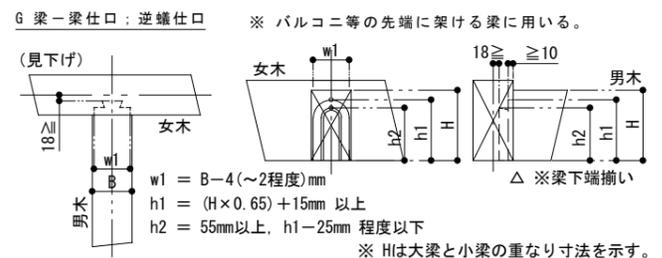
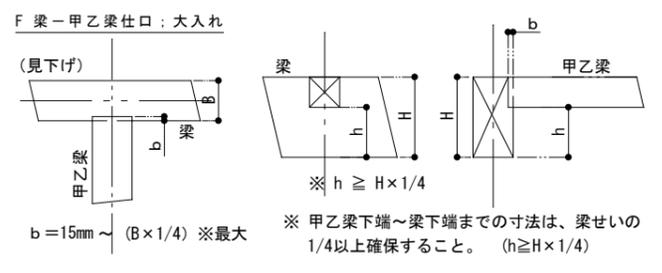
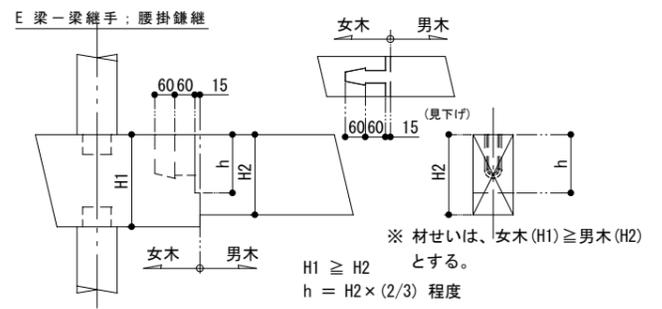
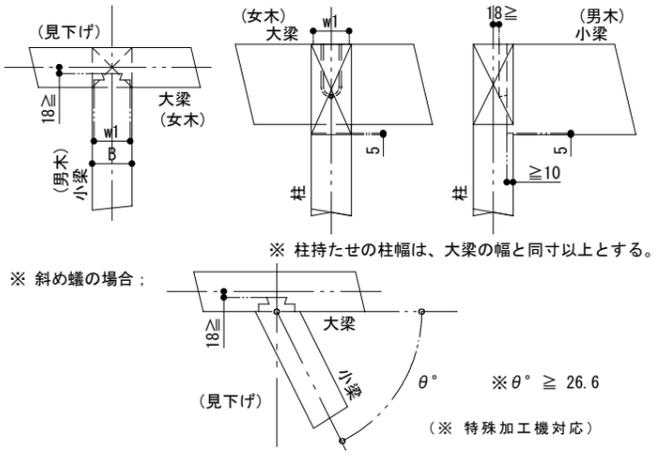
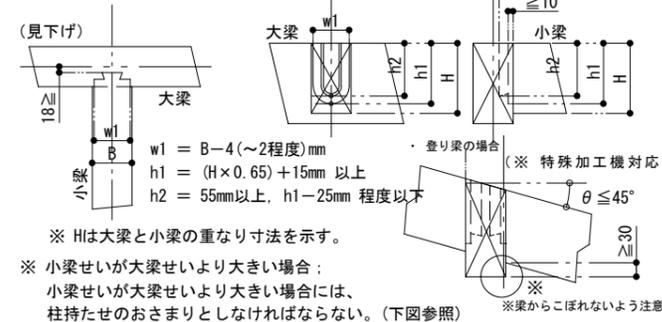
C 通柱-横架材仕口：胴差し



C 通柱-横架材仕口：桁差し



D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



設計年月日	特記

DRAW
CHECKED

PLUS1 Architectural Direction Room
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 971 号
1級建築士 第 196860 号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

図面名称
木造軸組 接合部 標準図(2)

B-02
No. **

木造軸組接合部標準図(4)

7. 水平構面

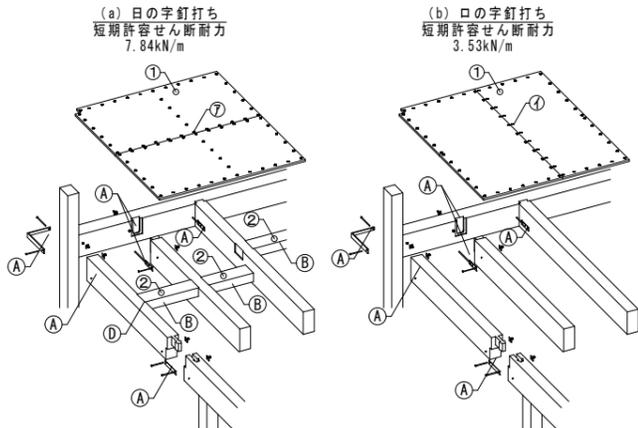
(注) (単位)mm

7.1 共通事項

- 各部仕口形状は、(3) 高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2) 5. 軸組標準接合部に準ずる。
- 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- 指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に基づき準拠することとする。

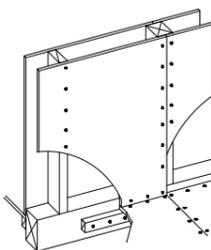
7.2 水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

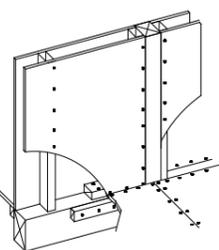


- 1) 各部材料および寸法
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
 - ② 甲乙梁: 幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上・梁及び甲乙梁の間隔 1000mm 以下
- 2) 各部仕口形状及び性能
- 各仕口部分: 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
 - 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
 - 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- 注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする
 2mm を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
 ロの字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、機み等に注意する事

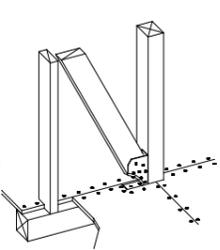
告示耐力壁-床納まり
大壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



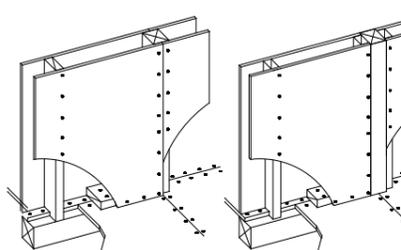
真壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



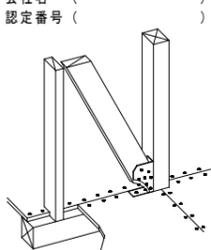
筋違耐力壁-床構面
(筋通勝)



認定仕様例示) 日合連 (JPMA) 仕様耐力壁-床勝納まり
大壁合板耐力壁-床勝
認定番号: FRW-0296

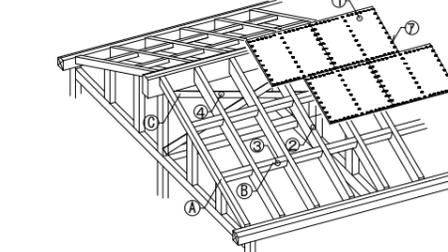


筋違金物による床勝納まり
筋違耐力壁-床構面
(床勝・大臣認定仕様)
会社名 ()
認定番号 ()

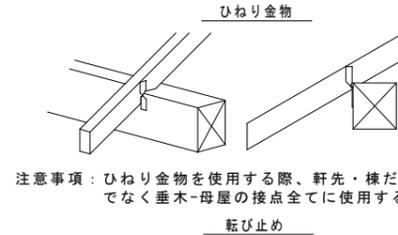
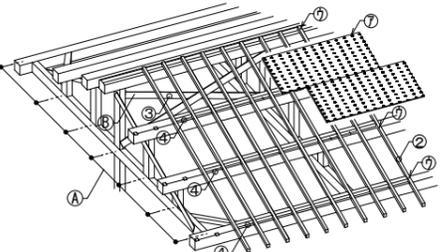


(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

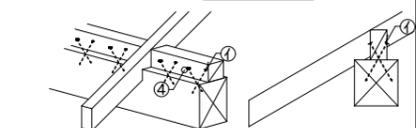
(a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
 7.84kN/m (勾配面に対して)



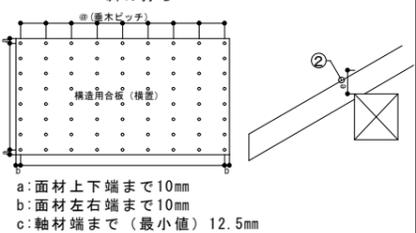
(b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
 1.96kN/m (勾配面に対して)



注意事項: ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する



注意事項: 転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する
 N75釘4本(表2本と裏2本を千鳥配置)斜め打ち



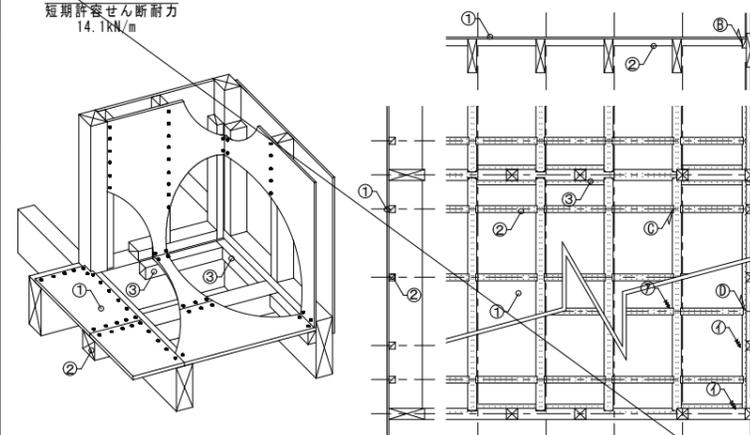
a: 面材上下端まで 10mm
 b: 面材左右端まで 10mm
 c: 軸材端まで (最小値) 12.5mm

- 1) 各部材料および寸法
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
 - ② 登梁: 幅 105mm 以上 \times せい 105mm 以上 間隔 1000mm 以下
 - ③ 甲乙梁: 幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上 間隔 1000mm 以下
 - ④ 小屋耐力壁: 15mm 以上 \times 90mm 以上 (端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- 2) 各部仕口形状及び性能
- 各仕口部分: 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
 - 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ で日の字に垂木に留め付ける
- 注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする

- 1) 各部材料および寸法
- ① 面材: 構造用合板 $t=9\text{mm} \sim 15\text{mm}$ (横置)
 - ② 垂木: 幅 45mm 以上 \times せい $45\text{mm} \sim 90\text{mm}$ @ 500mm 以下
 - ③ 小屋耐力壁: 15mm 以上 \times 90mm 以上 (端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
 - ④ 転び止め: $45\text{mm} \times 60\text{mm}$ 程度
- 2) 各部仕口形状及び性能
- 母屋ピッチ: 1000mm 以下
 - 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- 構造用合板は $N50@150\text{mm}$ で川の字に垂木に留め付ける
 - 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
 - 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

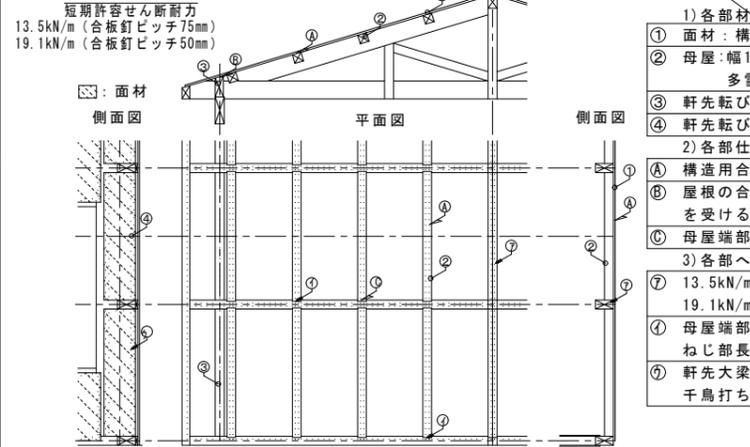
7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1) 2階床水平構面の条件及び仕様
 短期許容せん断耐力
 14.1kN/m



- 1) 各部材料
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は 28mm 横架材に直張り
 - ② 甲乙梁: $90\text{mm} \times 90\text{mm}$ の正角材又は幅 $75\text{mm} \times$ 成 120mm 製材を平使い
 - ③ 大梁側面に取り付け床受け材: 幅 $55\text{mm} \sim 75\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
- 2) 各部仕口形状及び性能
- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
 - 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ $15\text{mm} \times$ 成 60mm 切り欠き甲乙梁は成 60mm 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
 - 各部への釘打及びビス止め
 - 構造用合板は $N75@75\text{mm}$ の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
 - 大梁側面へ取り付け床受け材は木質構造用ビス $\phi 6, L130 \sim 150$ を 150mm ピッチの二列打ちとして留め付ける

(2) 屋根水平構面の条件及び仕様
 短期許容せん断耐力
 13.5kN/m (合板釘ピッチ 75mm)
 19.1kN/m (合板釘ピッチ 50mm)

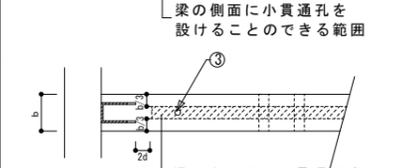
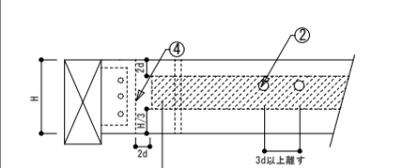
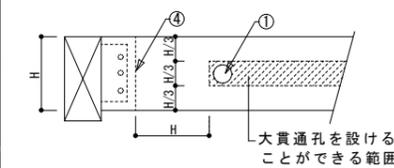


- 1) 各部材料
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
 - ② 母屋: 幅 $120\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
 多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 $120\text{mm} \times$ 成 150mm の製材
 - ③ 軒先転び止め: 幅 $105\text{mm} \times$ 成 300mm の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
 - ④ 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板: $t=12\text{mm}$
- 2) 各部仕口形状及び性能
- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
 - 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
 - 母屋端部は登梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- 13.5kN/m 仕様: 構造用合板は $N75@75\text{mm}$ 4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 - 19.1kN/m 仕様: 構造用合板は $N75@50\text{mm}$ 4周(ロの字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 - 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5, L150$ (頭部径 $\phi 12.5$ 以上ねじ部長さ 50 以上) 1本を斜め打ちとする
 - 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、 $N50$ ぐきを 50mm ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8. 貫通孔

8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- ① 大貫通孔: $d \leq H/4$ かつ 150mm
- ② 小貫通孔: $d \leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- ③ 縦小貫通孔: $d \leq b/6$ かつ 30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



梁の上下面に小貫通孔を設けることのできる範囲 (大貫通孔は不可)

8.2 耐力壁貫通孔

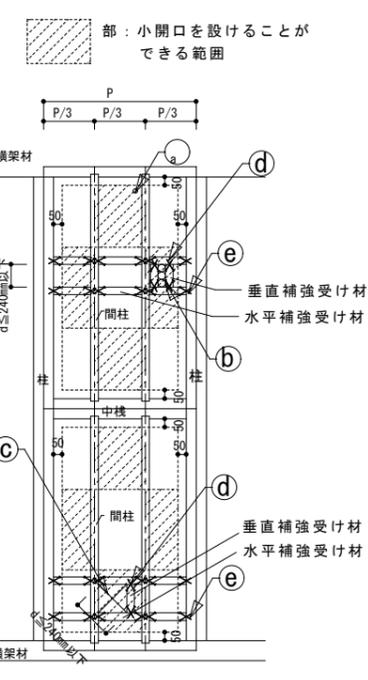
(1) 小開口付耐力壁: 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
 ※壁倍率7倍までの孔開けルール

剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)
 ※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

- a) 貫通孔基準
- 小貫通孔 ($d \leq 30\text{mm}$)
 1区画につき1か所までなら補強不要
 - 小貫通孔 $\times 3$ (外接円の径 $d \leq 240\text{mm}$)
 四周を補強受材で補強
 面材1枚につき1か所のみ可
 - 大貫通孔 ($d \leq 240\text{mm}$)
 四周を補強受材で補強
 面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- 合板から補強受材へ $N50@90\text{mm}$ で釘打ち
 補強受材は間柱と同寸以上の断面
 - 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め



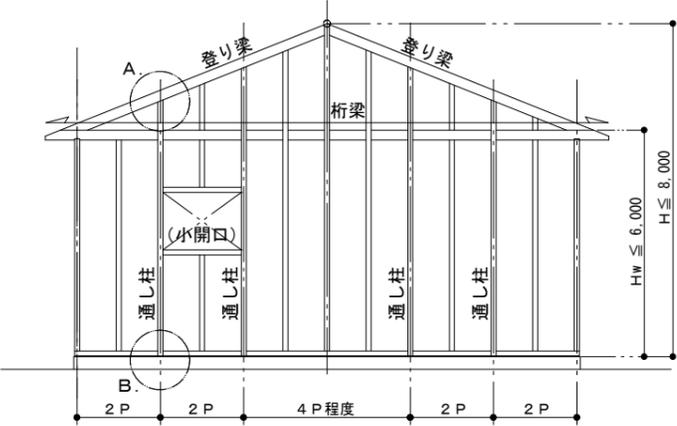
木造軸組接合部標準図(5)

10. 妻構面

平屋建物の妻構面の標準架構(耐風仕様)

(1) 共通事項及びキーフレーム

・無開口または小開口(開口幅 $\leq 2P$)有の場合

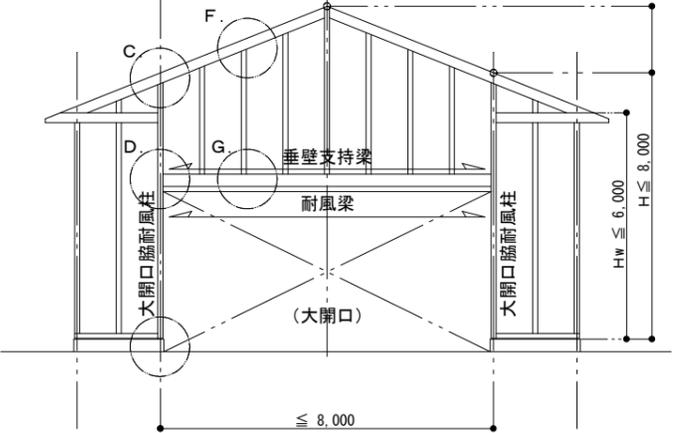


※1Pは柱-柱間の1モジュール寸法を示し、面材耐力壁に用いる構造用合板の1枚分の短辺幅を標準とする。

但し、面材耐力壁のとき、 $P \geq Hw/5.0$ (m)

防交耐力壁のとき、 $P \geq Hw/3.5$ (m)
 $Hw \leq 6.0$ (m)

・大開口(開口幅 $> 2P$)有の場合



・妻構面の耐風柱の最高高さは、基礎立上り天端から、8m以下を標準とする。
・妻構面の柱幅は120以上、柱成は以下の寸法以上とし、構造計算により安全であることを確認する。

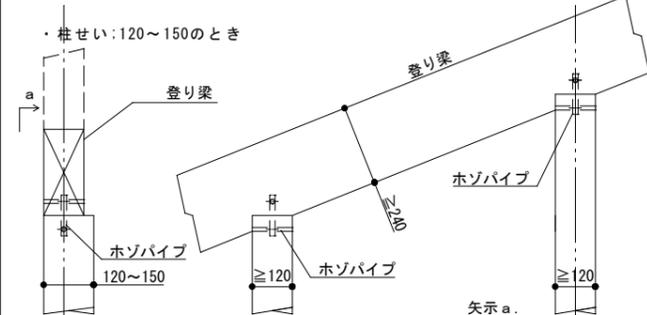
柱長さ $L_c \leq 8,000$ (mm)	柱せい $D_c \geq 210$ (mm)
$\leq 7,000$ (mm)	≥ 180 (mm)
$\leq 6,000$ (mm)	≥ 150 (mm)
$\leq 5,000$ (mm)	≥ 120 (mm)

・妻構面の柱は2Pごとに、基礎から登り梁までの通し柱とする。但し、棟を挟んで4P程度の範囲は、1Pごとに通し柱とする。
・妻構面に設けた小開口(幅2P以内)の両脇の柱は、登り梁下端まで通し柱とする。
・妻構面に設ける大開口(幅2P超)の長さは、8m以下を標準とする。
・妻構面に設けた大開口の両脇には大開口耐風柱を、上部には耐風梁を設ける。また、垂壁支持梁を耐風梁の上部に設け、耐風梁と構造用ビスにて緊結する。
・大開口耐風柱は平角柱として、風圧力による面外方向の曲げ応力に対して、安全であるものとし、構造計算によって求めた断面寸法、樹種、強度等級とする。
・耐風梁は平角材を平使いで用い、風圧力による面外方向の曲げ応力に対して安全であるものとし、構造計算によって求めた断面寸法、樹種、強度等級とする。但し、計算上、垂壁支持梁の断面性能のみでも長期鉛直荷重と風荷重の両方を負担できる場合は、耐風梁を設けなくてもよい。
・垂壁支持梁および耐風梁は、両大開口耐風柱の間に1本の通し材を用いなければならない。途中で継手を設けることは、絶対に行ってはならない。
・母屋は登り梁を欠き込み、勝たせたうえで、ければ側に片持ち梁としてはね出すことが出来る。

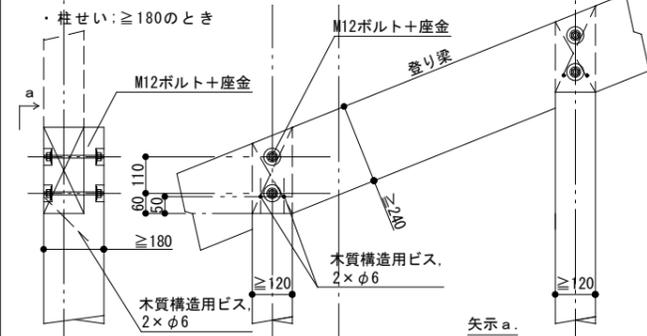
(2) 継手仕口

・一般部

A. 登り梁-柱頭_接合部



・柱せい: 120~150のとき



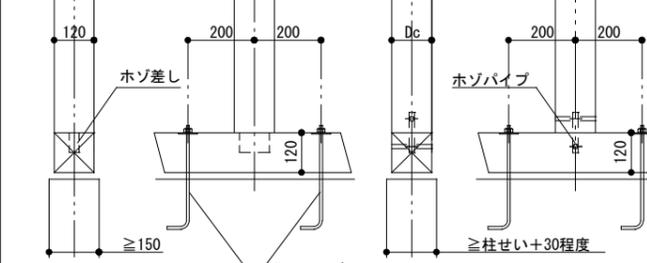
B. 土台-柱脚_接合部

※土台の幅は、柱幅以上とすること。
※アンカーボルトを柱の両脇200mmの位置に設けること。
※柱間隔が1Pを超える場合、面外風圧力による負担せん断力を計算の上、決定すること。

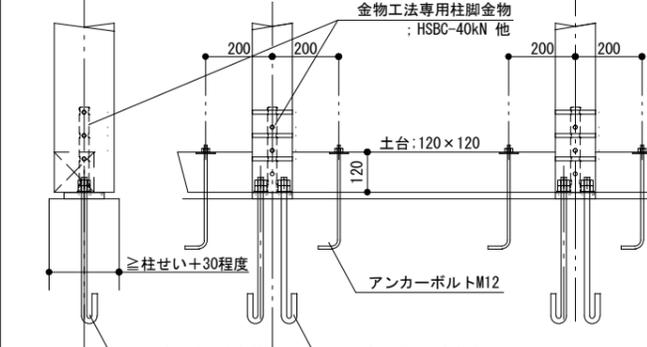
・土台勝ち: ホソ差しの場合

・土台勝ち: ホソパイプの場合

※ホソの種類: □ 短ホソ □ 長ホソ □ 左記以外()

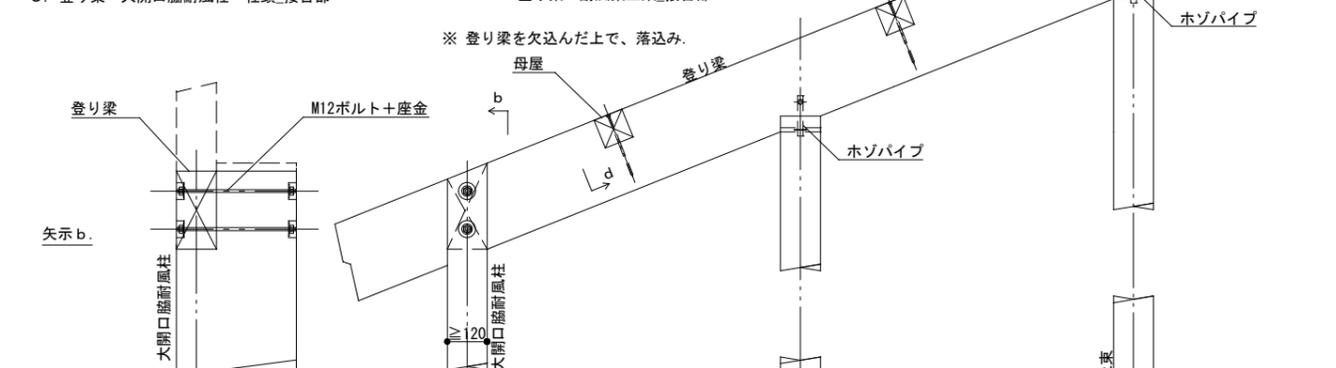


・柱勝ちの場合

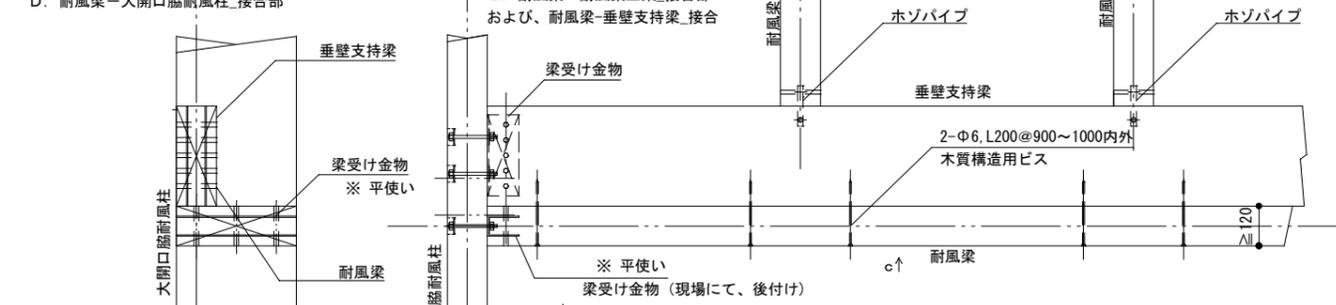


・大開口周辺部

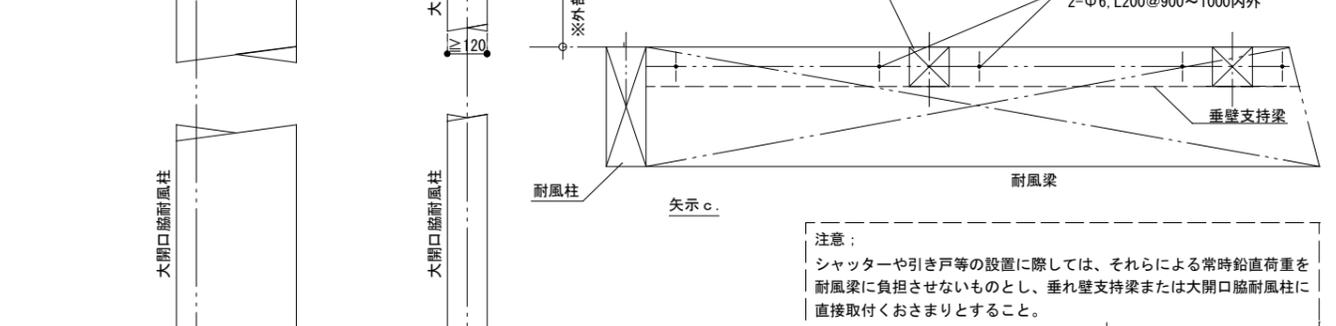
C. 登り梁-大開口耐風柱・柱頭_接合部



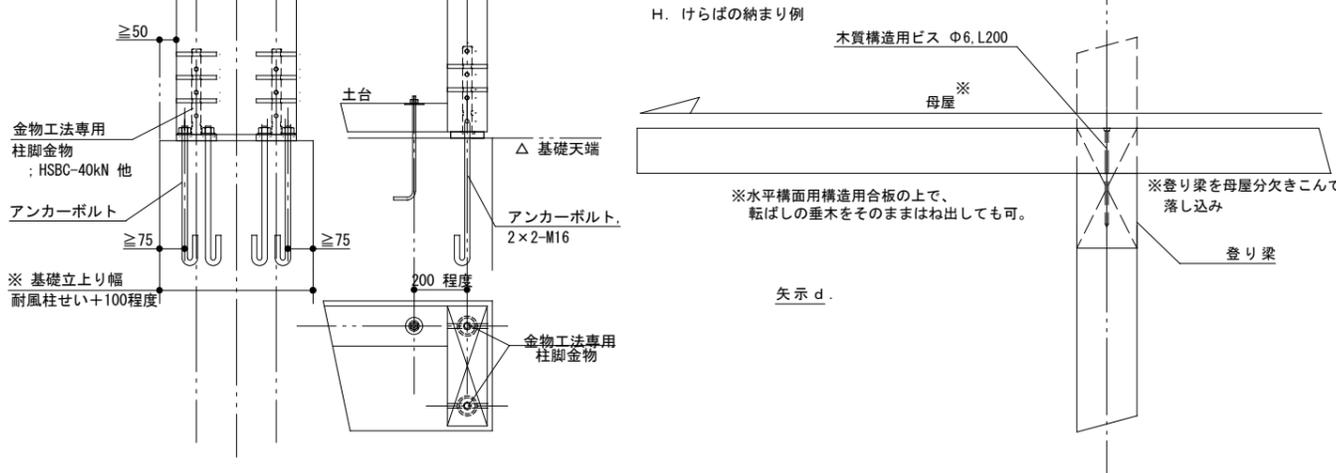
D. 耐風梁-大開口耐風柱_接合部



E. 耐風梁-耐風梁上東_接合部



F. 登り梁-耐風梁上東_接合部



※登り梁を欠き込んだ上で、落とし込み

※平使い

※平使い

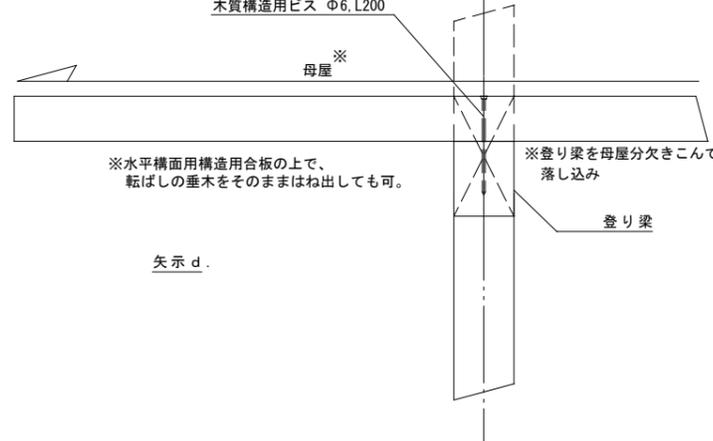
※現場にて、後付け

※外側面

※現場にて、後付け

注意:
シャッターや引き戸等の設置に際しては、それらによる常時鉛直荷重を耐風梁に負担させないものとし、垂壁支持梁または大開口耐風柱に直接取付くおさまりとすること。

H. ければの納まり例



※水平構面用構造用合板の上で、

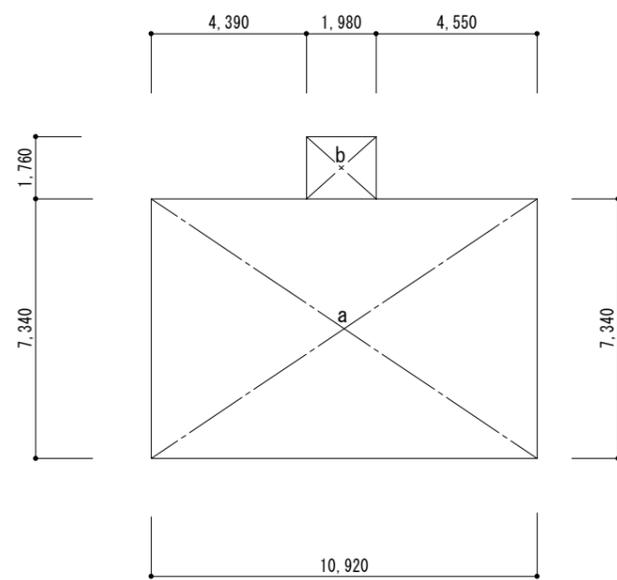
転ばしの垂木をそのままはね出しても可。

※登り梁を母屋分欠きこんで、

落とし込み

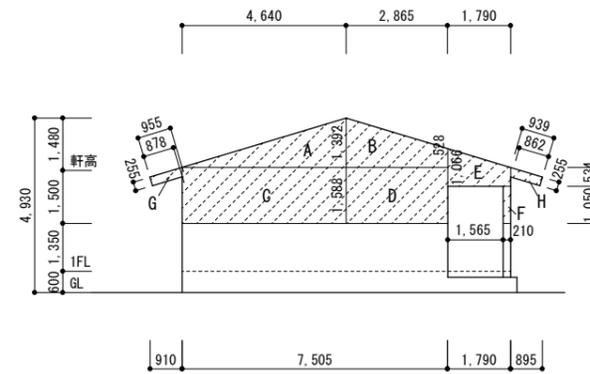
登り梁

矢示 d.



◆ 床面積 計算表
[1階]

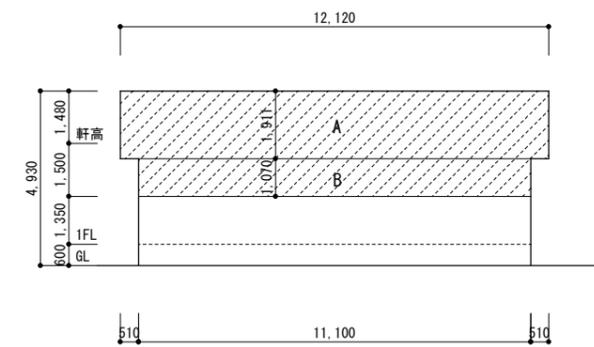
区画	横 (m)	縦 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	10.92	7.34	80.152800	
b	1.98	1.76	3.484800	
		計	83.637600	



× 軸方向見付面積図

◆ [X方向 見付面積 計算]

区画	計算式	面積 (㎡)
A	$4.640 \times 1.392 \times 0.500$	3.229440
B	$(1.392 + 0.528) \times 2.865 \times 0.500$	2.750400
C	4.640×1.588	7.368320
D	2.865×1.588	4.549620
E	$(1.066 + 0.534) \times 1.790 \times 0.500$	1.432000
F	0.210×1.050	0.220500
G	$(0.955 + 0.878) \times 0.255 \times 0.500$	0.233708
H	$(0.939 + 0.862) \times 0.255 \times 0.500$	0.229628
	計	20.013616



Y 軸方向見付面積図

◆ [Y方向 見付面積 計算]

区画	計算式	面積 (㎡)
A	12.120×1.911	23.161320
B	11.100×1.070	11.877000
	計	35.038320

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

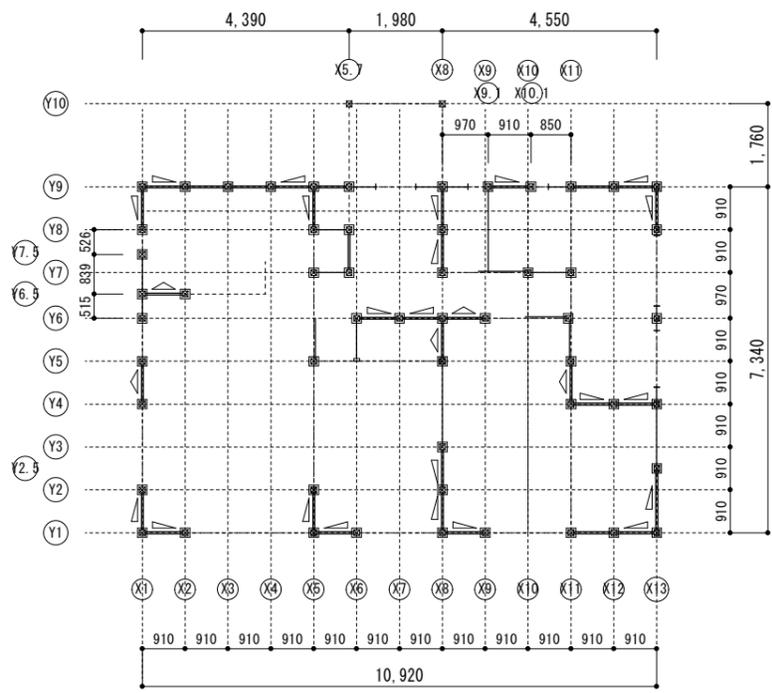
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG



SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称 壁量判定 床面積・見付面積計算表

B-06
No. **



1階 耐力壁 平面図

◆ 存在壁量の算定

階	方向	記号	有効壁量 倍率	壁長 (cm)					存在壁量 耐力壁 (cm)	存在壁量 準耐力壁 (cm)	存在壁量 計 (cm)	存在壁量 合計 (cm)
				カ所	カ所	カ所	カ所	カ所				
1	X	S	2.00	91.00	12					1,092.00		2,184.00
		W	4.00	91.00	2					182.00		728.00
	Y	S	2.00	91.00	9		136.50	1		955.50		1,911.00
		W	4.00	91.00	3					273.00		1,092.00

S:筋かい (シングル) W:筋かい (ダブル)

◆ 壁量判定 (必要壁量検討方法 : 表計算ツール (平屋建て用) (在来軸組工法用))

階	方向	地震力に対する床面積当たりの必要壁量			風圧力に対する見付面積当たりの必要壁量			必要壁量の決定				存在壁量 (cm)	壁量判定 必要壁量 ≤ 存在壁量
		床面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	見付面積 (㎡)	係数 (cm/㎡)	必要壁量 (cm)	地震力 (cm)	記号	風圧力 (cm)	必要壁量 (cm)		
		A	B	C=A×B	D	E	F=D×E	C		F	G	H	G ≤ H
1	X	83.63	15	1,254.45	20.01	50	1,000.50	1,254.45	>	1,000.50	1,254.45	2,912.00	OK
	Y				35.04		1,752.00		<	1,752.00	1,752.00	3,003.00	OK

壁量等の基準 (令和7年施行) に対応した表計算ツール (平屋建て用) (在来軸組工法用)

項目	入力欄	入力の注意点等	
		1階階高h1 (m)	2.893
標準せん断力係数C0	0.2	軟弱地盤の指定がある場合は0.3 (不明な場合は特定行政庁に確認)	
1階床面積 (m2)	83.63	(ここでは小屋裏面積は含めなくともよい。)	
屋根の仕様	金属板ぶき	ブルダウン選択	
外壁の仕様	サイディング	ブルダウン選択	
太陽光発電設備等 (N/m2)	あり (260)	太陽光発電設備等の質量を任意入力したい場合は「あり (任意入力)」をブルダウン選択し、右欄(緑)にその質量を入力する。 下記への入力は不要です。 設備等の質量 (kg)	
天井断熱材 (N/m2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をブルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。 密度 (kg/m3) 厚さ (mm) 20 155	
外壁断熱材 (N/m2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をブルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。異なる断熱材を重ねて使用する場合には2段に分けて記載する。 密度 (kg/m3) 厚さ (mm) 20 105	

*1: 固定荷重・積載荷重の根拠は
*2: 屋根面積に対しての均し荷重として算定される。

出力結果	単位床面積当たりの必要壁量 (方法①)	1階 15
------	---------------------	----------

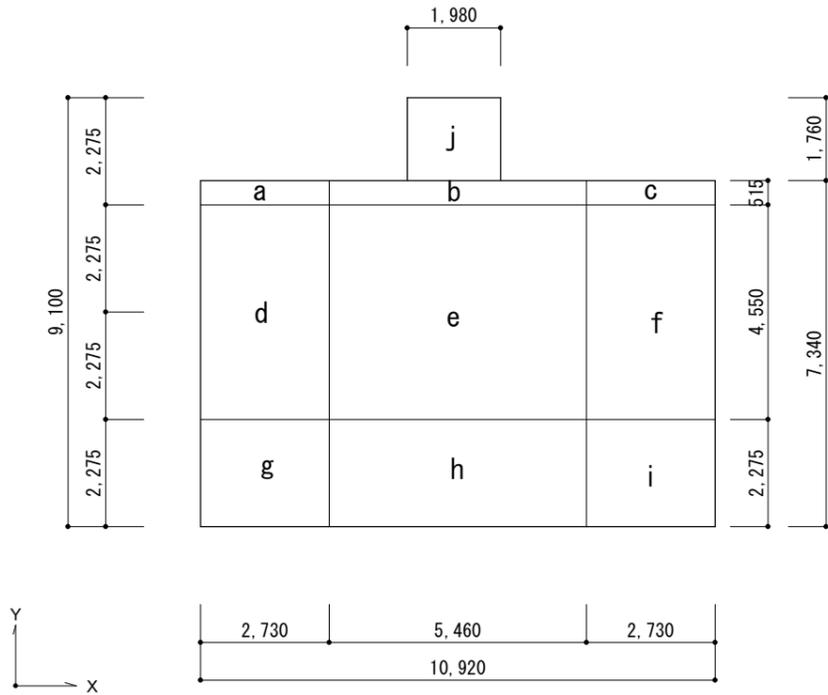
2-2 樹種等を選択し、算定式と有効細長比より柱の小径を求める場合
階ごとに①～④の4種類までの柱材が選択できます (調達可能な材料であることは要確認)。

柱材の種類	入力値			出力結果	
	JAS規格	樹種等	等級等 (積層数)	圧縮の基準強度 Fc (N/mm2)	柱の小径 (mm以上)
1階	① 無等級材	ひのき	—	20.7	74
	②			該当なし	
	③			該当なし	
	④	国土交通大臣が基準強度の数値を指定した木材等を使用する場合は基準強度を記入			

◆ 耐力壁・準耐力壁仕様一覧

種類	壁記号	種類名	基準倍率	係数	開口有無	開口高さ (cm)	取付高さ (cm)	下地貼材高さ (cm)	垂壁高さ (cm)	腰壁高さ (cm)	下地貼材実高さ (cm)	横架材間内法寸法 (cm)	有効壁倍率	
														耐力壁
	W	筋かい 45×105 (ダブル)	4.0											4.00

・有効壁倍率=基準倍率×係数×下地貼材実高さ÷横架材間内法寸法



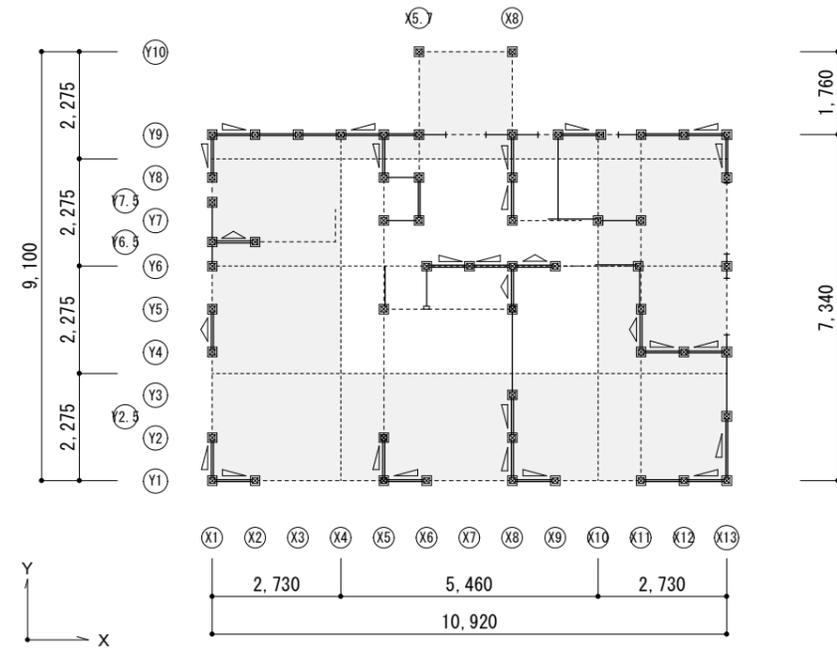
1階四分割法 面積図

◆ 区画別床面積 計算表
[1階]

区画	横 (m)	縦 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	2.730	0.515	1.405950	
b	5.460	0.515	2.811900	
c	2.730	0.515	1.405950	
d	2.730	4.550	12.421500	
e	5.460	4.550	24.843000	
f	2.730	4.550	12.421500	
g	2.730	2.275	6.210750	
h	5.460	2.275	12.421500	
i	2.730	2.275	6.210750	
j	1.980	1.760	3.484800	

◆ 四分割対象面積

階	方向	位置	計算式	面積 (㎡)
1	X	上	a + b + c + j	9.11
		下	g + h + i	24.84
	Y	左	a + d + g	20.04
		右	c + f + i	20.04



1階四分割法 平面図

凡例

—	一般壁	△	筋違 ダブル
- - -	開口部	柱頭 ≡ 柱脚	筋違 シングル
—	耐力壁	⊗	管柱
- - -	1/4範囲		

◆ X方向存在壁量 (cm)

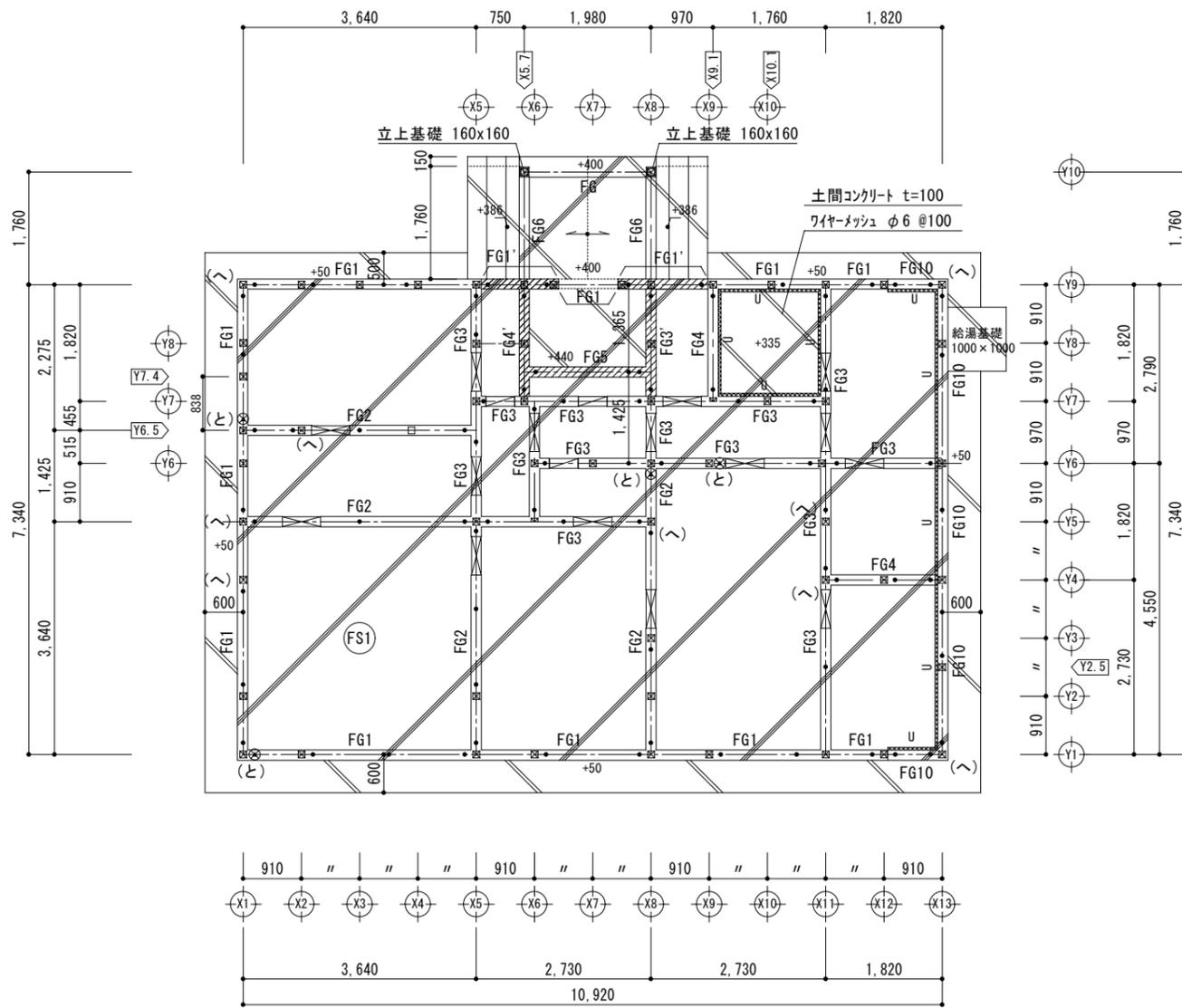
階	種類	通り	壁量 (cm)							合計	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
1	上	耐力壁	Y9	182.0	182.0	182.0	182.0				728.0
			存在壁量								728.0
階	下	耐力壁	Y1	182.0	182.0	182.0	182.0				728.0
			存在壁量								728.0

◆ Y方向存在壁量 (cm)

階	種類	通り	壁量 (cm)							合計	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
1	左	耐力壁	X1	182.0	364.0	182.0					728.0
			存在壁量								728.0
階	右	耐力壁	X13	273.0	182.0						455.0
			X11	364.0							364.0
		存在壁量								819.0	

◆ 四分割法判定

階	方向	位置	有効面積	壁量係数	地盤	必要壁量	存在壁量	壁量	壁量
			(㎡)	(cm/㎡)	割増	(cm)	(cm)	充足率	判定
			①	②	③	④=①*②*③	⑤	⑥=⑤/④	⑥ ≥ 1.00
1	X	上	9.11	15	1.0	136.65	728.00	5.32	OK
		下	24.84	15	1.0	372.60	728.00	1.95	OK
	Y	左	20.04	15	1.0	300.60	728.00	2.42	OK
		右	20.04	15	1.0	300.60	819.00	2.72	OK
四分割法判定									適合



基礎伏図 S=1:100

※ 特記なきスラブは (FS2) とする

凡例	
	人通口W=550
	人通口W=450
	基礎スラブを示す
	土間コンクリート 厚120 D10-200@S.C
	高基礎を示す
	高基礎 (FG10) を示す
	アンカーボルトM12を示す。
	ホールダウン金物を示す。
	+数字 GLからのスラブ天端を示す特記なきは+60
	ウレタンフォーム t=40

特記事項	
・ 特記なきスラブは FS2 とする。	
・ 基礎、床板、地中梁、 コンクリート Fc21 +3N/mm ² SL=15cm	
・ 土間コンクリート Fc21N/mm ² SL=15cm	
・ 捨てコンクリート Fc18N/mm ² SL=15cm	
・ 鉄筋 SD295A (D10、D13、D16)	
・ 内部スラブ下には土間シート t=0.15敷	

アンカーボルトの仕様	
・ 短期の引き抜力が10kNを超える1階接合金物は M16アンカーボルトと直結する接合とする	
・ アンカーボルトのコンクリート基礎への定着長さ 25.0kN以下 360mm以上 25.0kNを超え 35.5kN以下 510mm以上	
引張力を土台に定着させる座金の仕様	
6.4kN以下 厚さ4.5mm、40mm角	
14.4kN以下 厚さ6.0mm、60mm角	
25.6kN以下 厚さ9.0mm、80mm角	

ホールダウン金物	(告示1460号第2号表三による金物)	耐力	数量
(へ)	ホールダウン金物 (10KN) 又は、HDコーナー	9.0KN	10*2
(と)	ホールダウン金物 (15KN)	13.5KN	4*2
(ち)	ホールダウン金物 (20KN)	18.0KN	

- ・ 上記の金物はZマーク品又は同等品とする
- ・ HDコーナーを使用する場合は10kN用まで (10kN x 2=20kN不可)
- ・ 10kNの付近にはアンカーボルトを配置すること
付近の土台アンカーは座金厚6 x 60角を使用すること
丸座金を使用する場合は、
めり込み耐力10KN 以上の丸座金を使用すること
- ・ 10kNを超える柱脚金物にはD16のアンカーを使用すること。

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

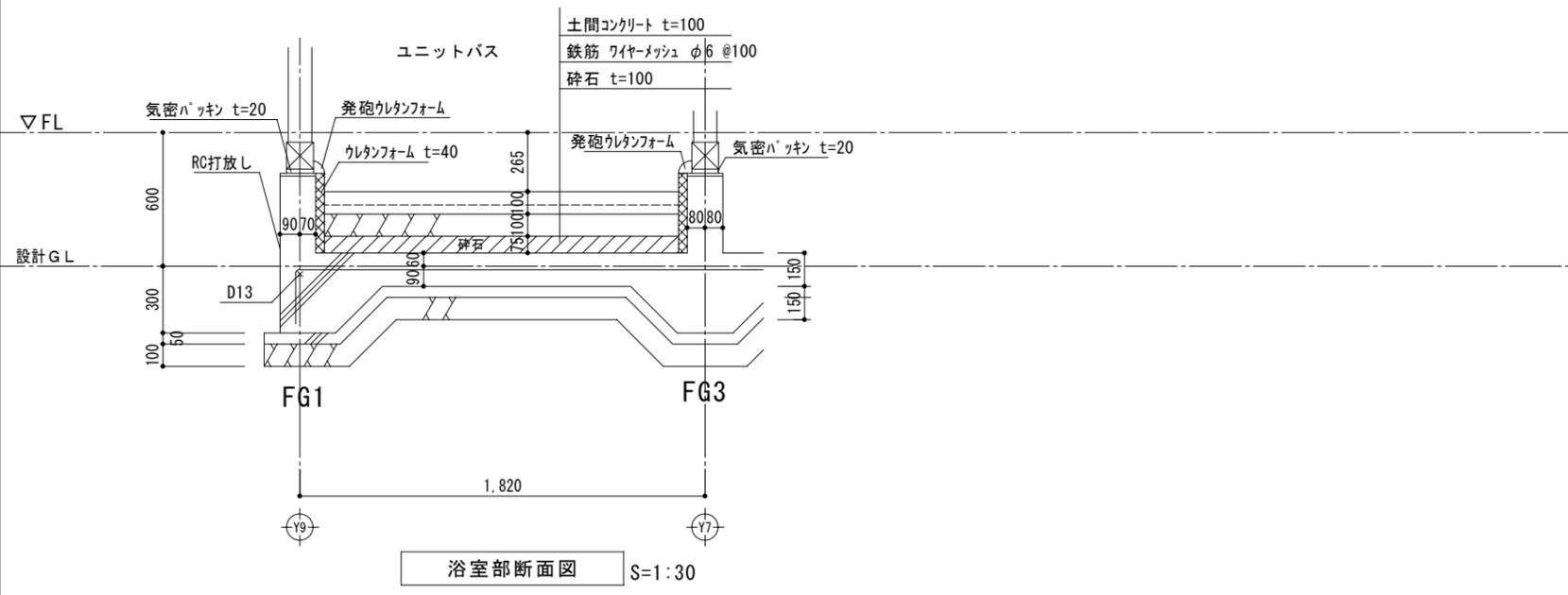
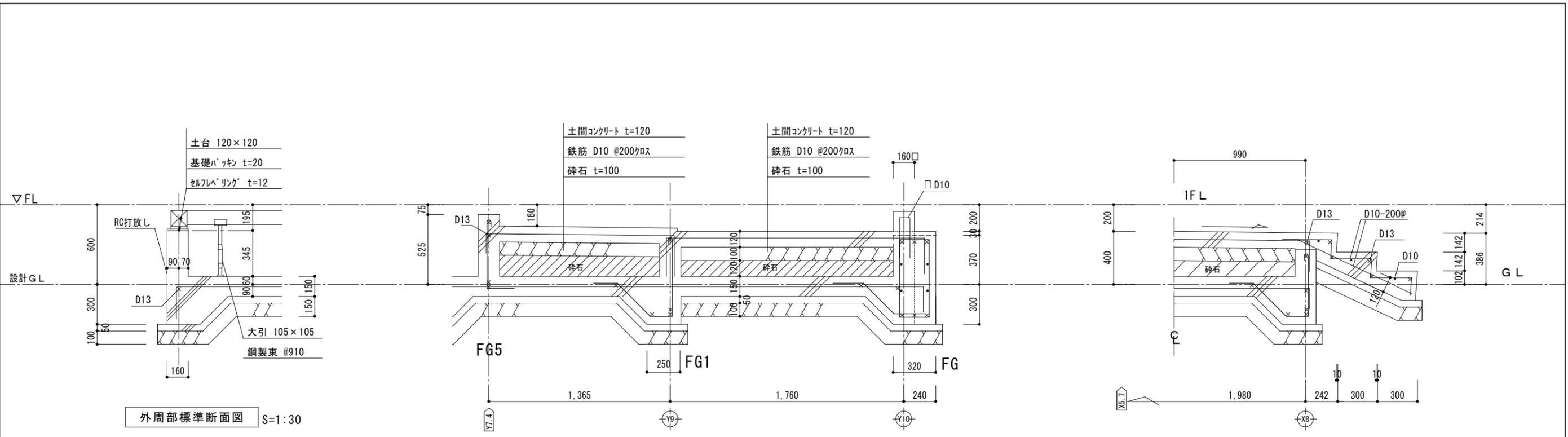
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG



SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称
基礎伏図

B-09
No. **

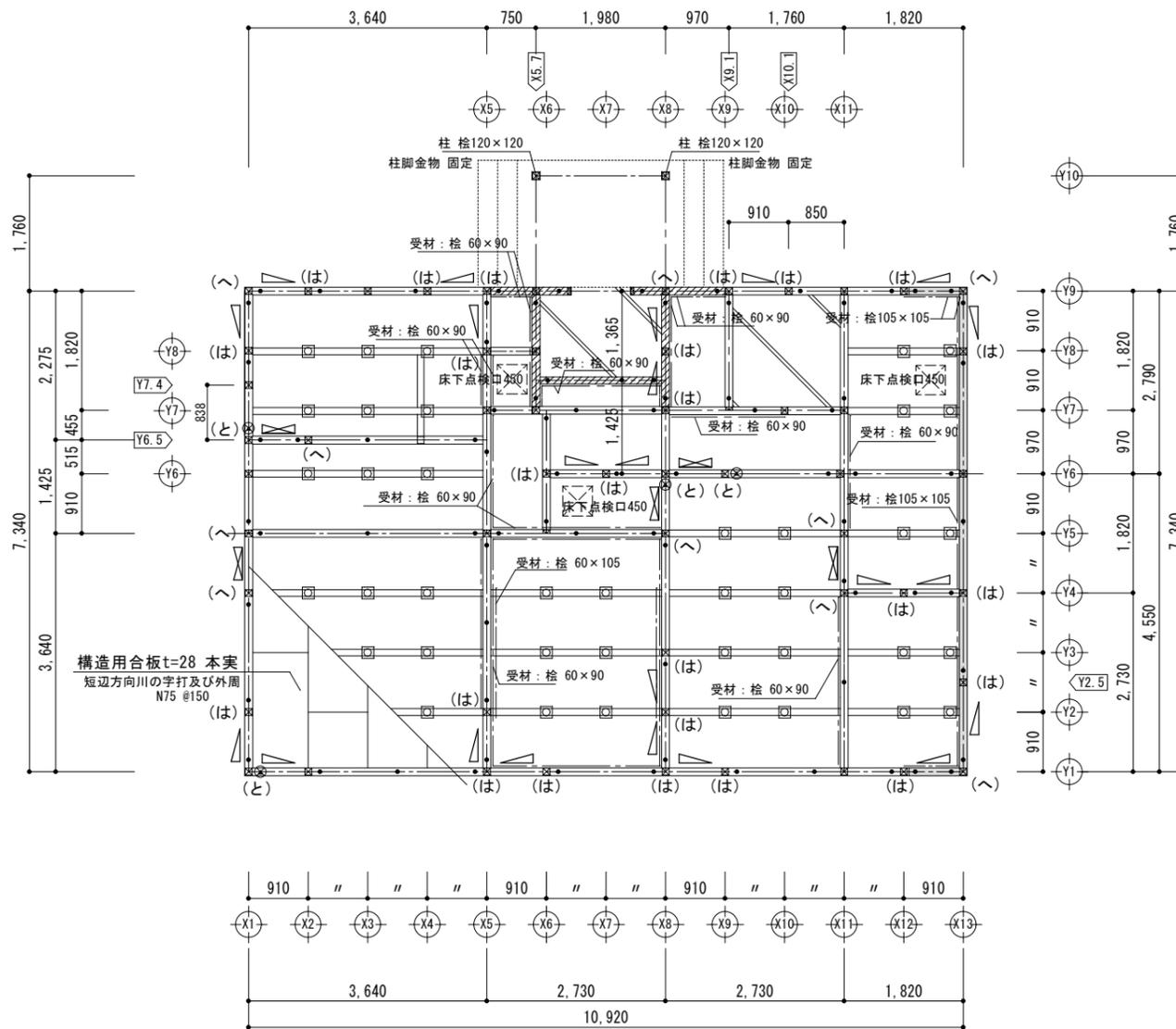


設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE S=1:100	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	B-11
	図面名称 基礎詳細図 -2	No. **



床伏図 S=1:100

凡例 (単位mm) ※倍率以外	
□	柱: 桧 105×105
□	柱: 桧 120×120 (玄関前・チ 2カ所)
▨	(5カ所) 耐力壁 筋かい (ダブル) 桧 45×105
▨	柱頭・柱脚 (22カ所) 耐力壁 筋かい (シングル) 桧 45×105
—	高基礎 (FG10) を示す
—	土台: 桧 120×120
—	アンカーボルトM12を示す
—	大引き: 杉 105×105 @910
⊗	ホールダウン金物
□	束 鋼製束 @910

土台アンカーボルト特記事項

アンカーボルトの埋め込み長さは250mm以上とする
 アンカーボルトの先端はオメガ丸座金同等品を使用する。
 アンカーボルト埋設位置は次による

- 1、耐力壁の両側の柱の近接部 (柱芯より200mm以内)
 ただし、ホールダウン専用アンカーボルトが取り付けられた場合は省略することができる
- 2、土台切れ箇所、土台継ぎ手及び土台仕口箇所の上木端部とし、出隅部分ではできるだけ柱に近接した位置とする
- 3、その他の部分は間隔2.7m以内とする。

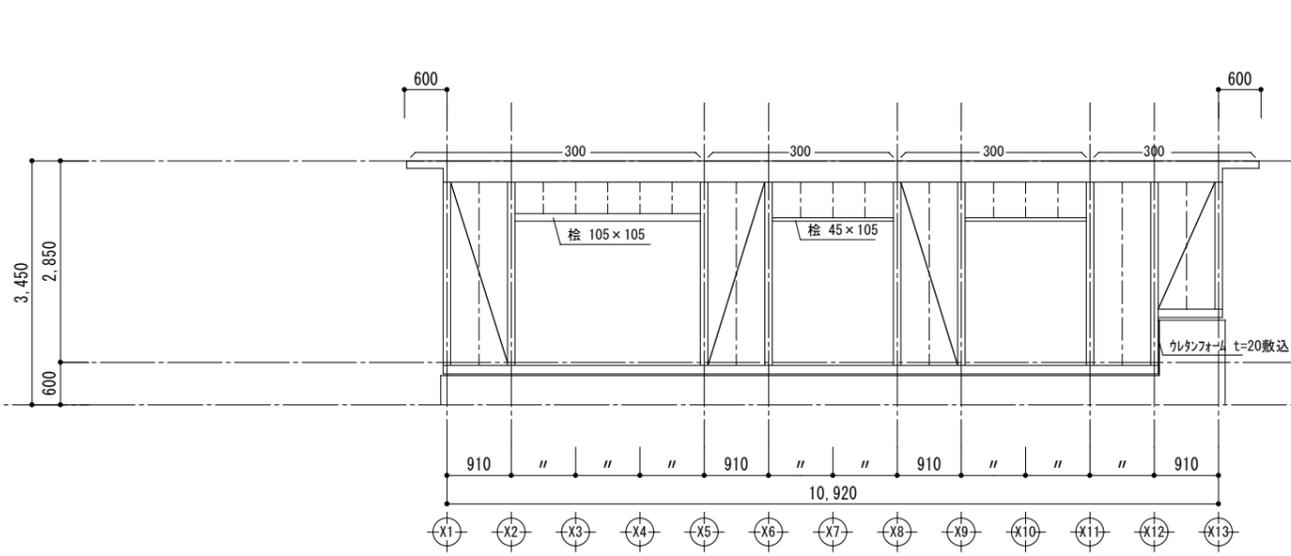
柱頭・柱脚 金物リスト (告示1460号第2号表三による金物)	耐力	数量
(は)	5.0KN	25*2 +15*2
(へ)	ホールダウン金物 (10KN) 又は、HDコーナー	9.0KN 10*2
(と)	ホールダウン金物 (15KN)	13.5KN 4*2
(ち)	ホールダウン金物 (20KN)	18.0KN

- ・上記の金物はZマーク品又は同等品とする
- ・柱脚、柱頭は全て短ほぞする、加えて上記の必要金物を配置する。
- ・特記なき柱脚、柱頭は短ほぞ込み栓打に加え、5kN以上 (上記 (は)) の金物により接合する。
- ・柱頭柱脚は同一金物を使用する。
- ・HDコーナーを使用する場合は10kN用まで (10kN×2=20kN不可)
- ・10kNの付近にはアンカーボルトを配置すること
 付近の土台アンカーは座金厚6×60角を使用すること
 丸座金を使用する場合は、
 めり込み耐力10KN 以上の丸座金を使用すること
- ・10kNを超える柱脚金物にはD16のアンカーを使用すること。

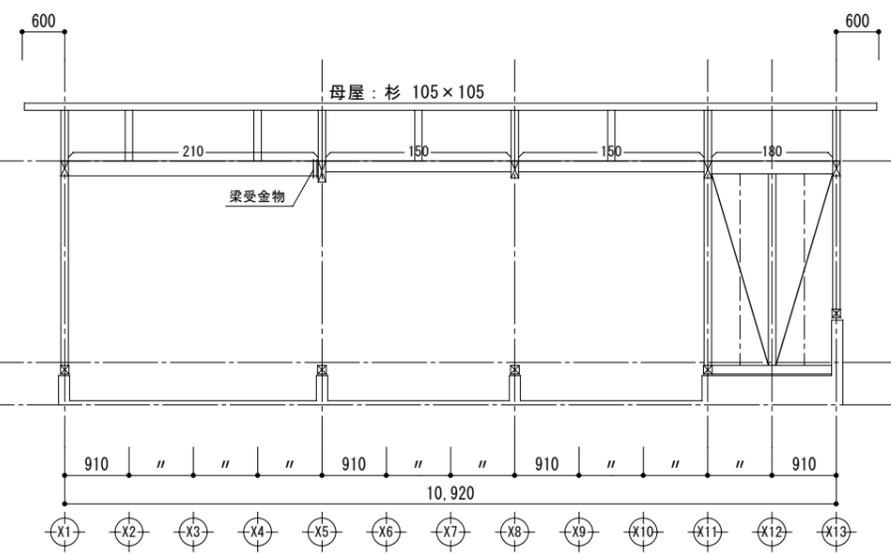
部材表		
部位	材種	構造等級
柱	桧	無等級材
梁	杉	無等級材
土台	桧	無等級材
大引	杉	無等級材

特記事項

構造耐力上主要な部分である柱、筋違い、構造用合板及び土台のうち地盤から1.0m以内の部分には有効な防腐防蟻処理をすること



Y1 通り

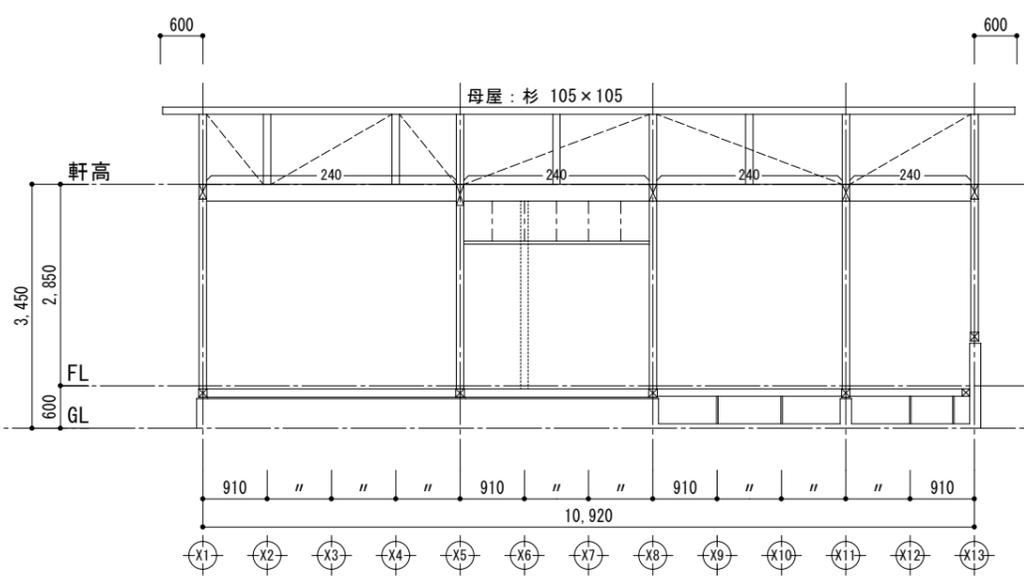


Y4 通り

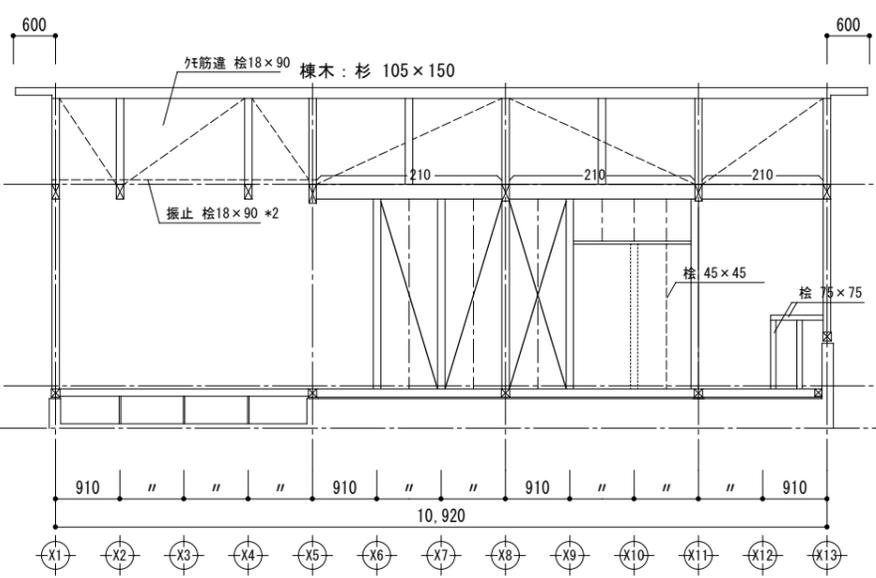
凡例	
	耐力壁: 筋違 桧 45x105 BP2金物使用
	間柱: 桧 30x105 @455
	小屋、ケ筋違、振止: 桧 18x90

軸組図 - 1 S=1:100

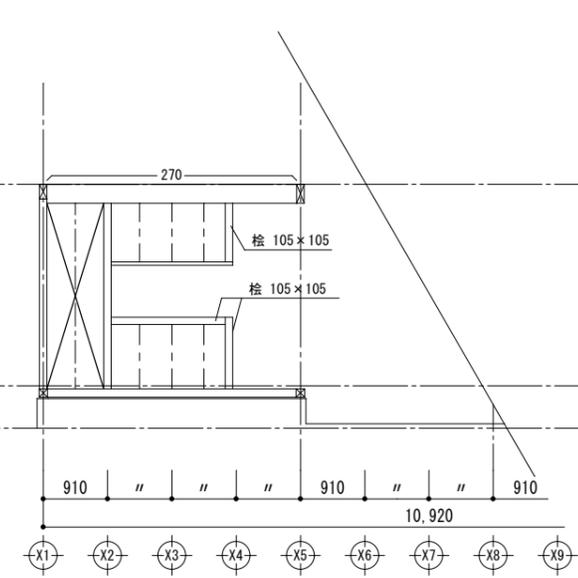
共通事項	
・	特記なき梁幅は105
・	特記なき梁は 杉 とする
・	特記なき柱は105x105 桧 とする
・	特記なきマグサ、鴨居は 桧 45x105とする。



Y5 通り



Y6 通り



Y6.5 通り

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

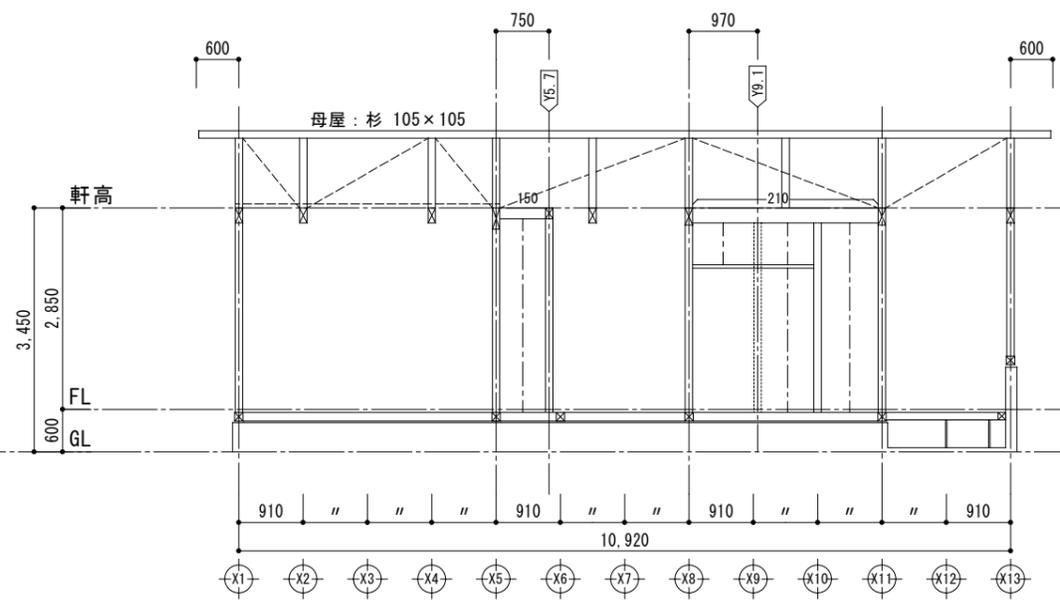
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG



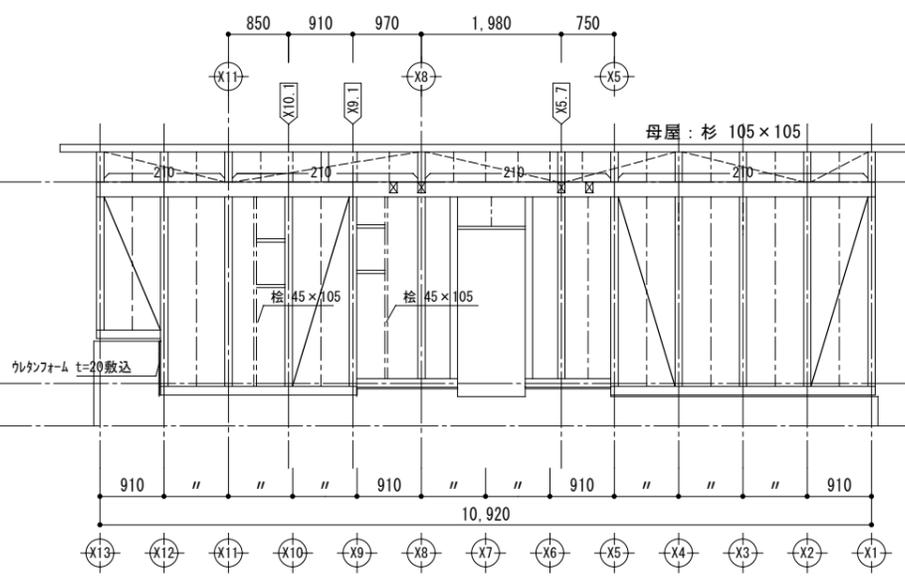
SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称
軸組図 - 1

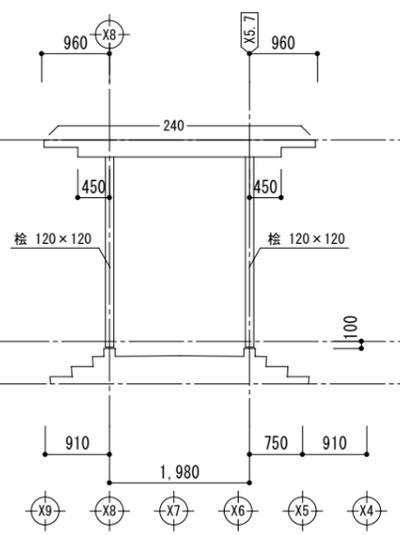
B-14
No. **



Y7 通り



Y9 通り

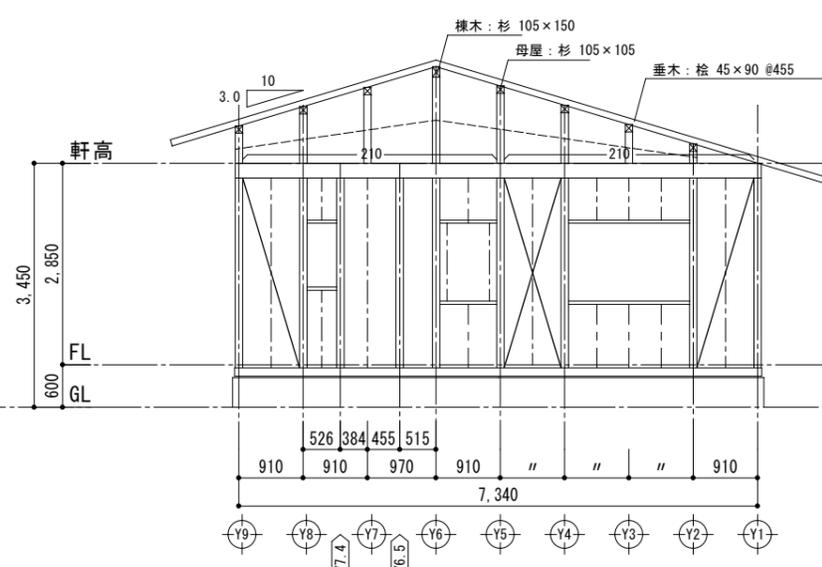


Y10 通り

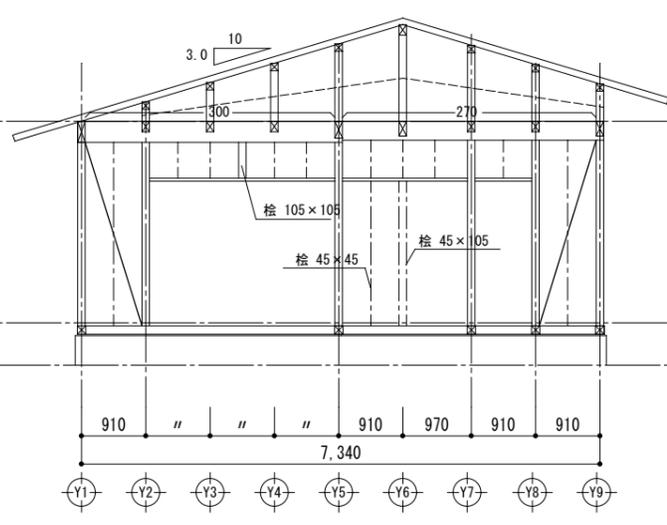
凡例	
	耐力壁：筋違 桧 45×105 BP2金物使用
	間柱：桧 30×105 @455
	小屋、付筋違、振止：桧 18×90

軸組図 - 2 S=1:100

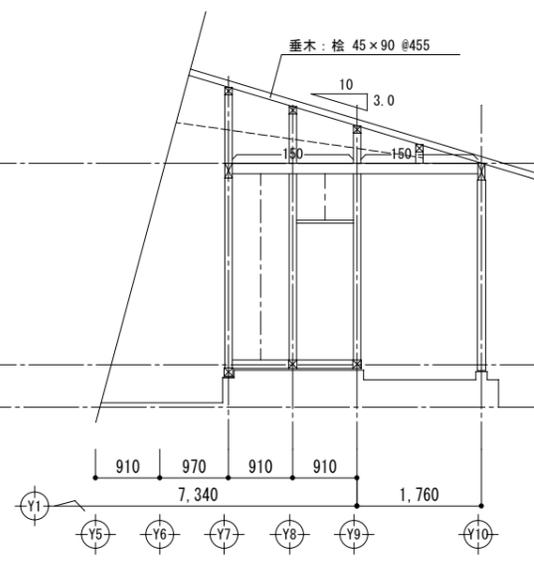
共通事項	
・	特記なき梁幅は105
・	特記なき梁は 杉 とする
・	特記なき柱は105×105 桧 とする
・	特記なきマゴサ、鴨居は 桧 45×105とする。



X1 通り



X5 通り



X5.7 通り

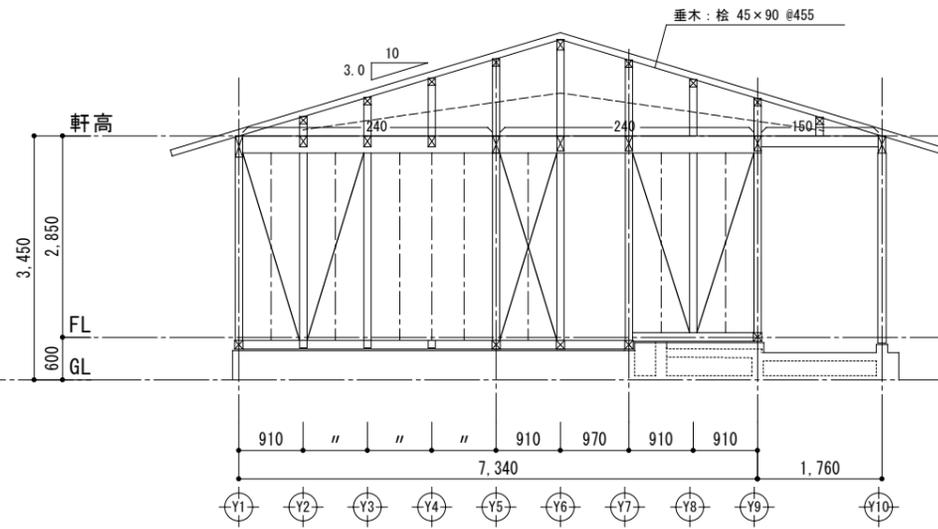
設計年月日	

株式会社
プラス1設計室
 高知県四万十市古津賀 2939-8
 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
 事務所登録 第 1324 号
 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

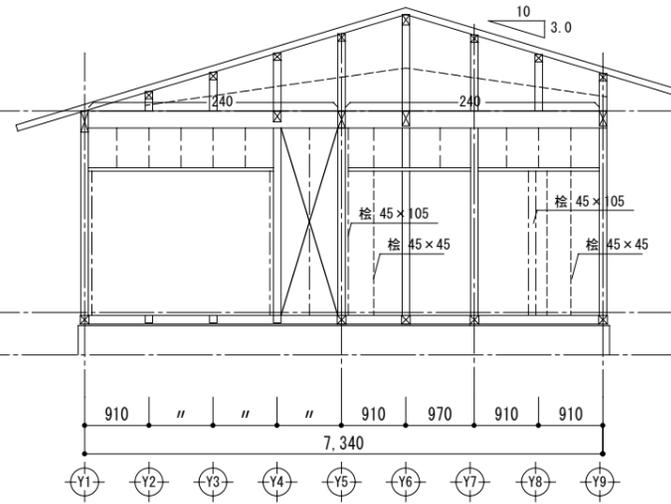
SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
 図面名称 軸組図 - 2

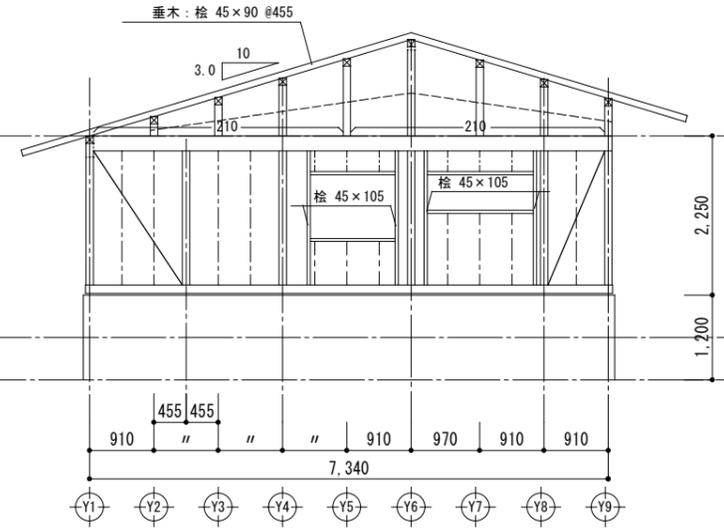
B-15
No. **



X8 通り



X11 通り



X13 通り

凡例	
	耐力壁: 筋違 桧 45×105 BP2金物使用
	間柱: 桧 30×105 @455
	小屋、桧筋違、振止: 桧 18×90

軸組図 - 3

S=1:100

共通事項
・特記なき梁幅は105
・特記なき梁は 杉 とする
・特記なき柱は105×105 桧 とする
・特記なきマグサ、鴨居は 桧 45×105とする。

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

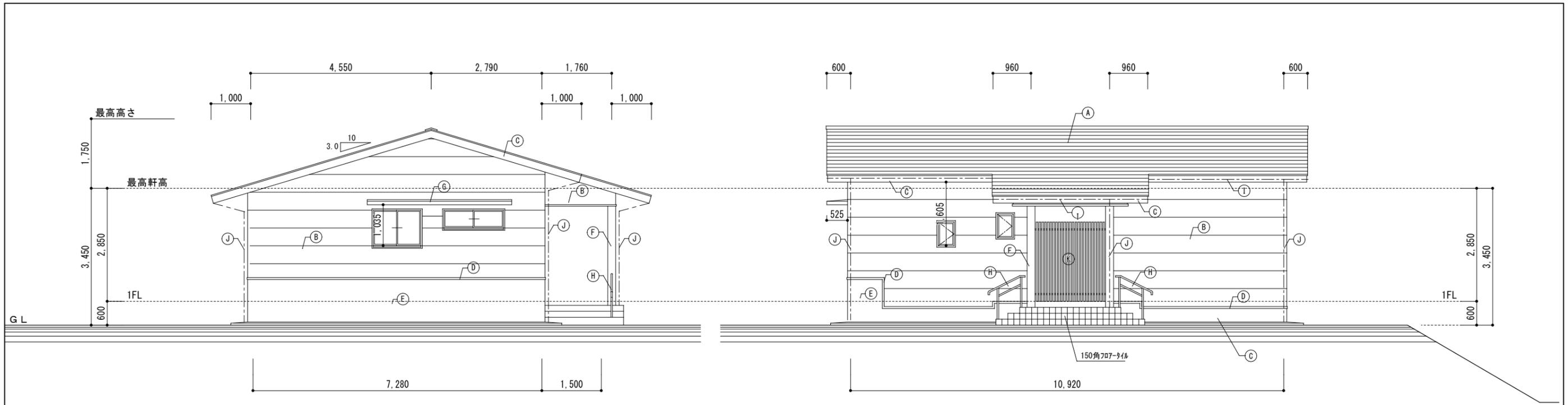
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也



SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称 軸組図 - 3

B-16
No. E



東面

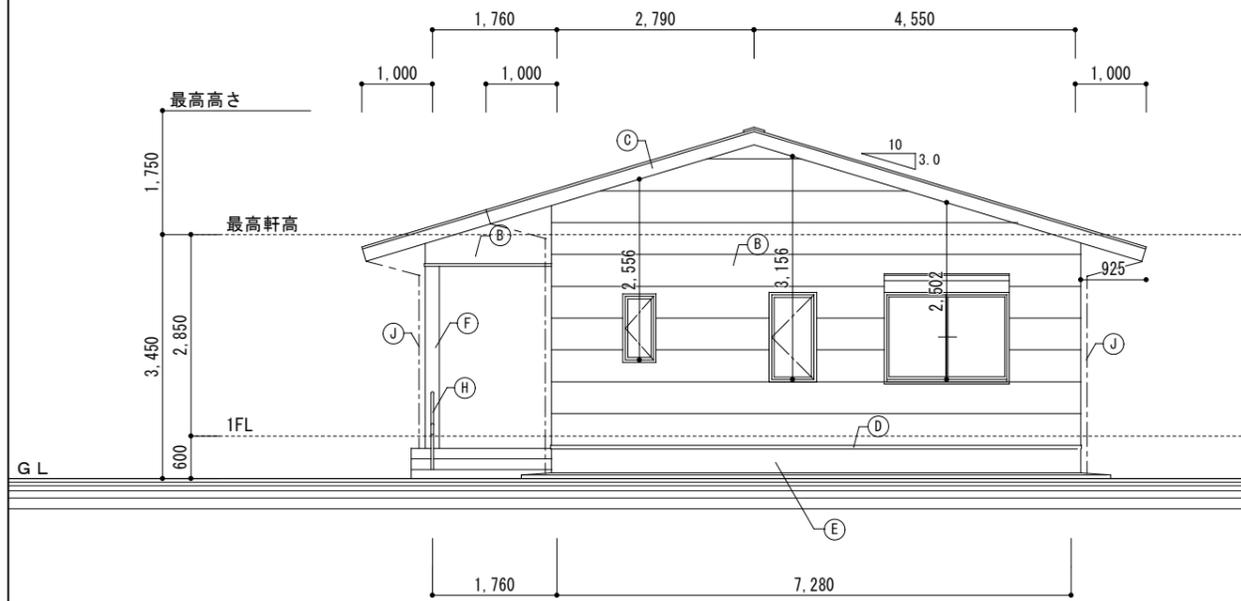
小庇 : 1035x0.3=310.5 ≤ D=525 有効

北面

軒 : 1605x0.3=481.5 ≤ D=925 有効

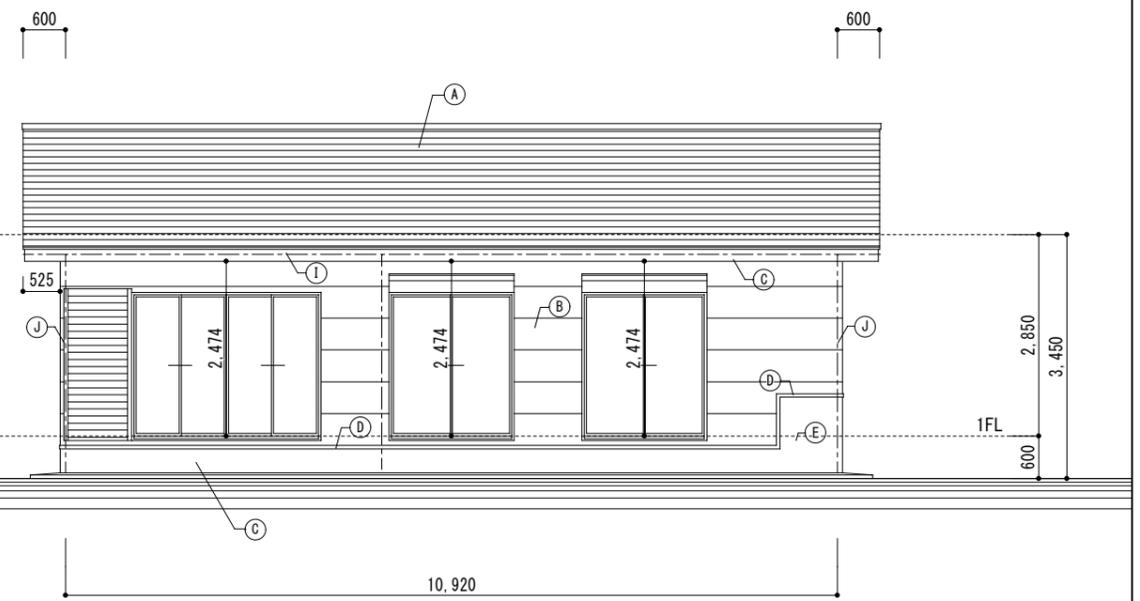
立面図

S=1:100



西面

軒 : 3156x0.3=946.8 ≥ D=525 無効

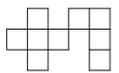


南面

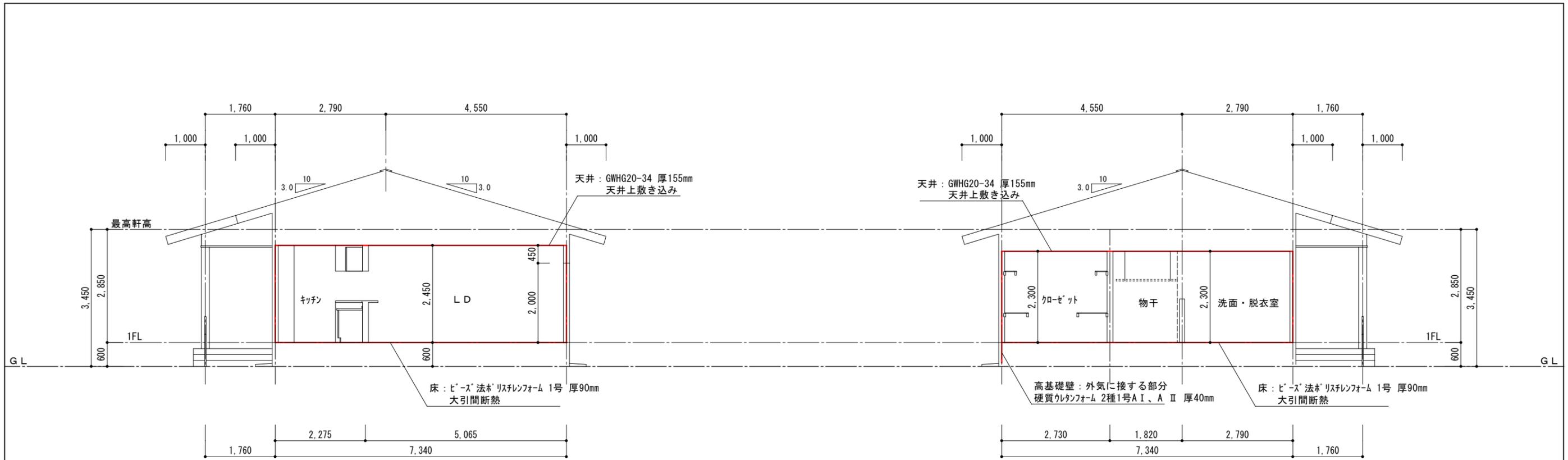
軒 : 2474x0.3=742.2 ≤ D=925 有効

記号	記号	記号	記号
(A) 屋根	(C) 破風・ケラバ	(G) 庇	(K) 目隠し格子
SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板t=0.35 段葺 断熱材裏打ち品	防火破風板 H=240	GLカー鋼板t=0.4 アスファルトフイグ 940 構造用合板t=12下地	7mm子 外付タイフ (木目調) 30×55 H=2000
ゴムアスルフイグ 野地板 構造用合板 t=15	(D) 土台水切	(H) 手摺	
(B) 外壁	(E) 幅木	(I) 軒樋	
窒素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り	RC打放シ	塩ビカー角120 吊金具	
透湿防水シート 同質コーナ	(F) 柱型	(J) 竖樋	
	窒素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り コーナ	塩ビカー φ75 SUS金具	

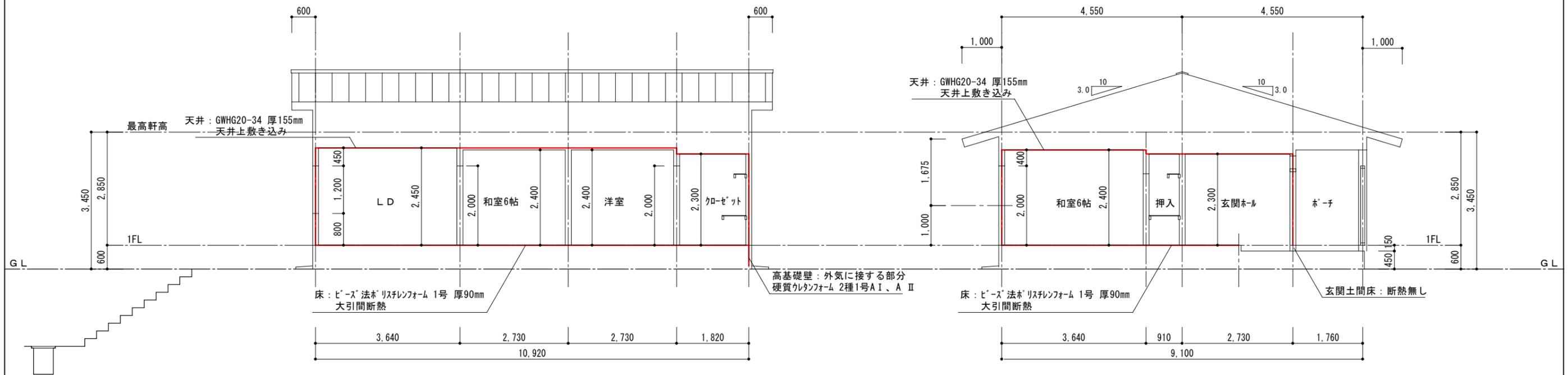
設計年月日	

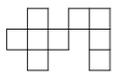

株式会社 プラス1設計室
 高知県四万十市古津賀 2939-8
 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
 事務所登録 第1324号
 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

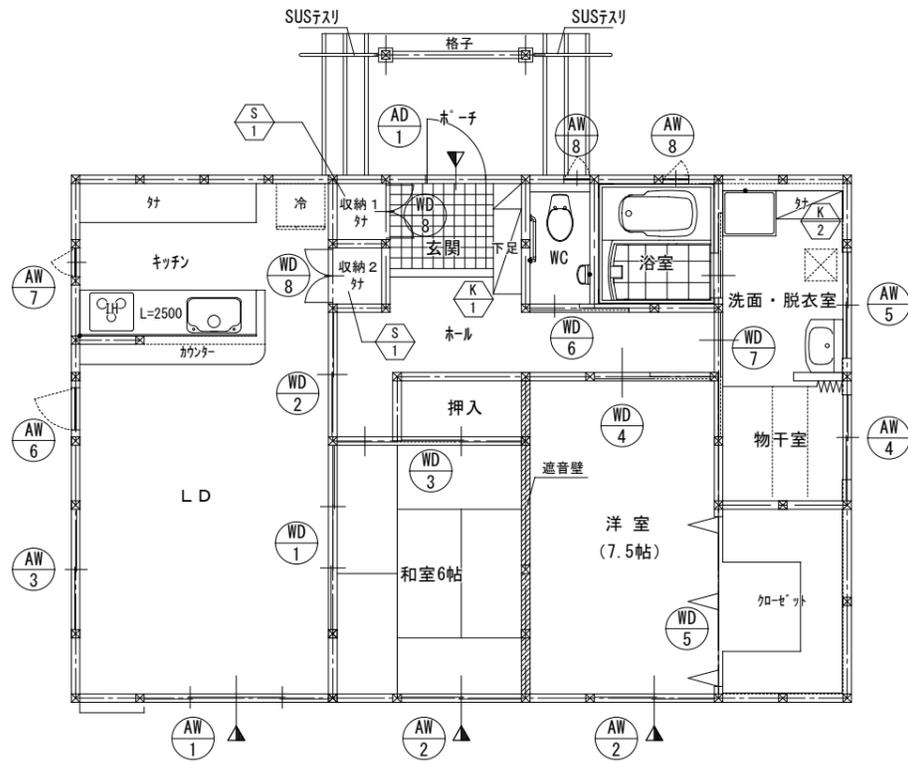
SCALE S=1:100
 工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
 図面名称 立面図
 省-02
 No. **



断面図 S=1:100



設計年月日		 株式会社 プラス1設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG	SCALE S=1:100	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図 図面名称 断面図	省-03 No. **



キープラン S=1:100

記号・数量	AD 1 × 1	AW 1 × 1	AW 2 × 2
形状	S=1:100 熱貫流率: 1.59W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 2.03W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 2.03W/(㎡・K)
場所	玄関	LD	和室6帖、洋室
形式	住宅用玄関片開き戸	4枚引き違い窓	引き違い窓
見込		70mm	70mm
材質・仕上	アルミ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝子	型板複層ガラス LowE4+Ar16+型板6	(断熱)複層ガラス	(断熱)複層ガラス
金物	付属金物一式、SUSハートハンドル、シリコン錠	遮熱グリーン3+Ar16+透明3G	遮熱グリーン3+Ar15+透明4G
備考	住宅用	付属金物一式 雨戸、SUS網戸付	付属金物一式 住宅用 半外付型 シャッター雨戸、SUS網戸付
記号・数量	AW 3 × 1	AW 4 × 1	AW 5 × 1
形状	S=1:100 熱貫流率: 1.22W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.27W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.27W/(㎡・K)
場所	LD	物干室	洗面・脱衣室
形式	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓
見込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar13+透明1.3+Ar13+グリーン3G	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	シャッター雨戸、SUS網戸付	SUS網戸付	SUS網戸付
記号・数量	AW 6 × 1	AW 7 × 1	AW 8 × 2
形状	S=1:100 熱貫流率: 1.12W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.26W/(㎡・K)	S=1:100 熱貫流率: 1.26W/(㎡・K)
場所	LD	キッチン	浴室、WC
形式	縦入り出し窓	縦入り出し窓	入り出し窓
見込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar14+透明1.3+Ar14+グリーン3	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	SUS網戸付	SUS網戸付	SUS網戸付

設計年月日	R07 05 15
-------	---------------

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也

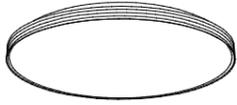
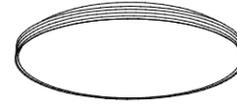
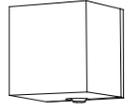


SCALE
S=1:100

工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称 キープラン 建具表-1

省-04
No. **

照明器具参考姿図

<p>A LEDシーリングライト 8畳タイプ 消費電力：32W</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83/電球色（2700K）、Ra83 器具光束3950lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイト） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC31156K</p>	<p>B LEDシーリングライト 14畳タイプ 消費電力：41.3W</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83/電球色（2700K）、Ra83 器具光束5050lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイト） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC51156K</p>	<p>C LEDシーリングライト 8畳タイプ 消費電力：32W</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83/電球色（2700K）、Ra83 器具光束3350lm、消費電力32W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、回転金具方式、カチットF 下面パネル：アクリル（乳白つや消し） 側面強化和紙張り、木製（ダークブラウン仕上） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC35823</p>	<p>D LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当 消費電力：7.3W</p>  <p>LEDフラットランプφ70 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束700lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：鋼板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100NKCE1</p>	<p>E LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当 消費電力：7.3W</p>  <p>LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：鋼板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100LKCE1</p>
<p>F LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当 消費電力：5W</p>  <p>LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束440lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：鋼板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD1100LKCE1</p>	<p>G LEDシーリングライト 100形電球1灯器具相当 消費電力：8.1W</p>  <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束810lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵 人感センサーON/OFF・明るさセンサー付、拡散タイプ カバー：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGBC58022LE1</p>	<p>H LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当 消費電力：7.1W</p>  <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束515lm、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 ツマミネジ方式、人感センサーON/OFF・明るさセンサー付 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGWC80360LE1</p>	<p>I LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当 消費電力：12W</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） プルスイッチ付、両面化粧タイプ パナソニック LGB52097LE1</p>	

※照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3の測定方法による。

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 高知県幡多郡四万十市西土佐用井
2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
住宅	木造	平屋建	80.15 m ²	
		階建	m ²	
		階建	m ²	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

建物別及び屋外工事種目	屋内			
電灯コンセント設備	○			
幹線設備	○			
受変電設備				
自家発電設備				
共用灯設備				
電話配管設備	○			
情報配管設備	○			
インターホン設備	○			
テレビ共聴設備	○			
電気時計設備				
放送設備				
非常照明・誘導灯設備				
TVL呼出表示設備				
住宅火災警報器設備	○			
外灯設備				
構内線路				

II 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版）及び電気設備工事標準図（令和4年版）による。

2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項目	特記事項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工所用電力、水、その他	本工事に必要な工所用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ・ できる ○ できない 次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業) アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ・ 構内指示の場所に敷きならし ・ 構外搬出適切処理
③ 工所用仮設物	
4 建設副産物	
5 残土処分	
⑥ 産業廃棄物の処理について	高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。
⑦ 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事 補強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補強 ※別途工事 ・ 本工事

⑧ 電線類

- ⑨ 呼び線
- ⑩ フラッシュプレートの材質
- ⑪ 加プレート用途別表示
- ⑫ 接地極

13 埋設表示

- 14 再使用機器
- 15 絶縁抵抗の測定
- ⑬ 補修など
- ⑭ 屋上・屋側の支持金物
- 18 結露防止
- 19 はつり

- 20 天井仕上区分
- ⑮ 配線器具

⑯ LED照明器具・蛍光管

- ⑰ 照明器具の接地
- ⑱ 照明器具用位置ボックス

- 25 非常用照明の照度測定
- 26 分電盤分岐回路
- ⑲ テレビ共同受信設備

28 構内埋設線路

⑳ 耐震施工

照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事
屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ビット(ふたを含む) ※別途工事 ・ 本工事
屋外の受変電設備基礎 ※本工事 ・ 別途工事
動力機器（電動機など）への接続 ※本工事 ・ 別途工事
電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事
図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。

EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(HP)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。
長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

○ 樹脂製 ・ 新金属 ・ ステンレス

シール等を貼付する。

下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
共同接地	E A E D	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
A種	E A	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
B種	E B	150/Is Ω Is=1線地絡電流	E B (14φ) x 3連-2組
D種	E D	100Ω以下	E B (10φ) x 1
C種	E C	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
避雷用	E L	10Ω以下	E P x 1
高圧避雷用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製
上記以外の接地極及び地中配線の表示 100φ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付を行う。
工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。
工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。
ステンレス製とする。（装柱金物は除く）

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

(室名)はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。

壁付スイッチは原則としてワイド型とする。

壁付コンセントは原則としてワイド型とし、連用形以外はプラグ付とする。

単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。
グリーン購入法（国等による環境物品等の調達推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。
ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。
ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。

設置した各部屋2箇所以上
分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50AFの1Pサイズとする。
分岐器、分配器、直列ユニットはB S ・ C S 共用形(B L品)とする。 ・ 双方向型
電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要

埋設深さ 特記なきはG L - 600 以上とする。
地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。
地中配線には電圧、線路長に關係なく構設シート(ダフル)を管頂と地表面の中間に設ける。
設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。
1) 設計用水平地震力

機器の重量[N]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 塔屋及び屋上	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階2.0とする。
【備考】(※1)水槽類は、オイルタンクを含む。
注: 上層階の定義は次による。

2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階
13階建以上の場合は上層4階

重要機器 (・ 自立配電盤 ・ 防災用発電装置 ・ 直流電源装置)
(・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機)
(・ 中央監視制御装置 ・ 分電盤 ・)

2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

30 コンクリート工事/骨材

31 ハンドホール

⑳ 工事・完成写真

㉓ 工事完成図

㉔ 機器取付高

名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
ブラケット(一般)	床上~中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上~中心	800
"(踊場)	"	2,500	接地極埋設標	地上~中心	600
"(鏡上)	鏡上端~中心	150	室内端子盤(廊下、室内)	床上~下端	300
避難口誘導灯	床上~下端	1,500以上	接地用端子箱	床上~下端	500
廊下通路誘導灯	床上~上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上~中心	(天井高) x 0.9
スイッチ(一般)、アツテナ	床上~中心	1,300	呼出ボタン(身体障害者用)	"	900
スイッチ、インキわ子機(身体障害者用)	"	1,100	復帰ボタン(")	"	1,800
コソット、電話用アット、直列ユニット(一般)	"	300	廊下表示灯(")	"	2,000
"(和室)	"	150	テレビ機器収容箱	"	1,800
"(台所)	台上~中心	150	火報受信機(複合盤)	床上~操作部	800~1,500
コソット(ガス漏れ検知器(LPガス))	床上~中心	200	火報総合盤	床上~中心	800~1,500
分電盤、制御盤、親時計	"	1,500	コンセント(車庫)	床上~中心	800
閉閉器箱、中間端子盤(EPS、電気室)	"	(上端1,900以下)	ガス漏れ検知器(LPガス)	床上~警報器上端	300
インターホン、副受信機	"	1,500	"(都市ガス)	天井面~中心	(天井面)-200
			引込閉閉器箱(低圧)	床上~上端	2,000

備考 (天井高) x 0.9は天井高が、2,500~3,000mmの場合に適用する。

㉕ 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板、木質系フローリング 構造用パネル、集成材 単板積層材、MDF パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、紙衝材、断熱材 保温材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大匠認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エテルベンゼンを含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等)	クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノプロカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤 配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エテルベンゼンを含有しないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器	(①②③④)の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。)
室内に関わる材料(上記①~④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エテルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノプロカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。	

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

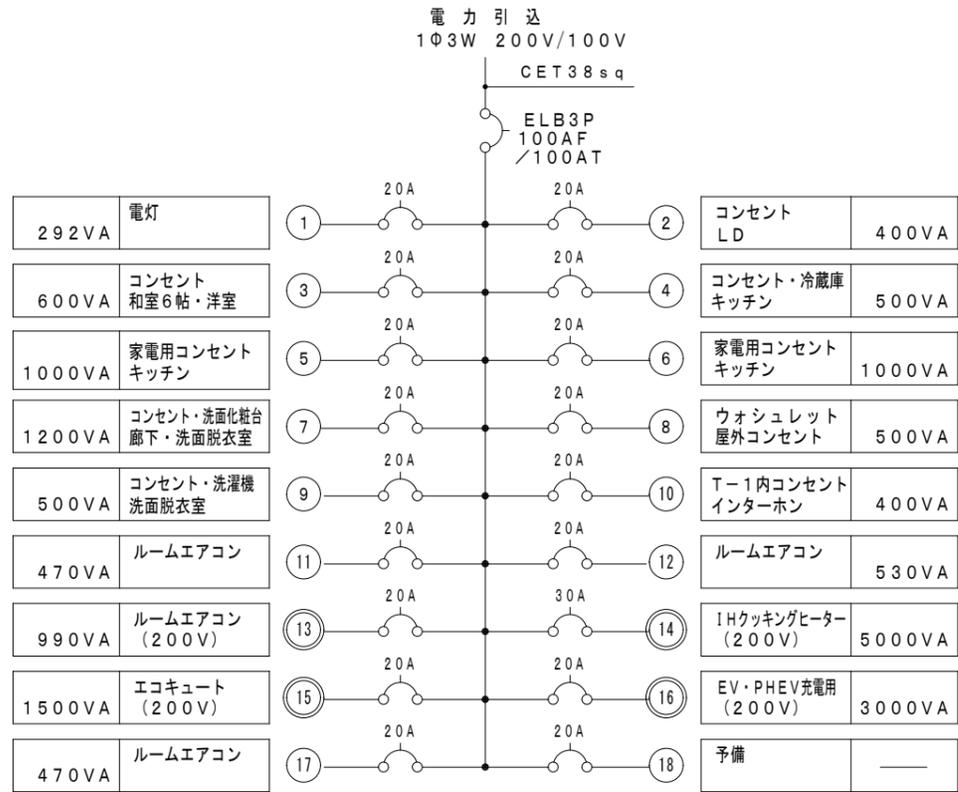
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG



SCALE
S=N・S

工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	E-01
図面名称	特記仕様書	No. **

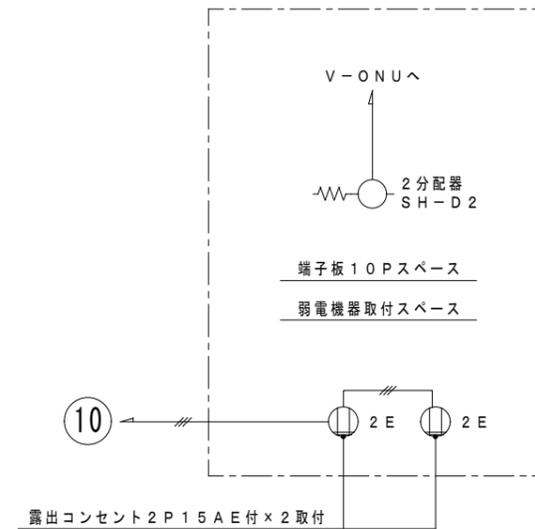
機 材 名	指 定 品	機 材 名	指 定 品	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			高周波点灯形蛍光灯安定器	東芝ライテック (株) パナソニック (株) 三菱電機照明 (株)	蓄電池 へん形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・カドミウム可充電電池 ※3 据置ニッケル・カドミウム可充電電池に限る	(株)GSユアサ 日立化成(株) 古河電池(株) 本多電機(株) ※3		
電 線 類 等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書(電気設備工事編)			蛍光灯器具 LED照明器具	上記3社のほか 岩 崎 電 気 (株) 東和ライティング(株) (株)Y A M A G I W A (株)因幡電機製作所 (株)遠藤照明 大光電機(株) 山田照明(株)	監視カメラ装置	株式会社JVCケンウッド・公共産業システム T O A (株) パナソニック(株) (株)日立国際電気 三菱電機(株)		
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			照明制御装置	東芝ライテック(株) パナソニック(株) 三菱電機照明(株)	盤類(公共建築工事標準仕様) 分電盤・制御盤 キュービクル式配電盤	(株)イトウテック 共栄電機工業(株) 光電設(株) 上記の他、30年版「建築 材料・設備機材等品質性能 評価事業評価名簿」に掲載 されたもの		
配線器具類	J I S マーク表示品			可変速電動機用インバーター装置	(株)日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株)安川電機	太陽光発電装置	(株)三社電機製作所 山洋電気(株) (株)GSユアサ 東芝インフラシステム(株) パナソニック(株) 富士電機(株) 三菱電機(株) (株)京セラソーラーソリューション		
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機(真空)	東芝インフラシステム(株) 日 新 電 機 (株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株) (株)明 電 舎	交流無停電電源装置(UPS)	サンケン電気(株) (株)三社電機製作所 山洋電気(株) (株)GSユアサ 東芝インフラシステム(株) 日立化成(株) (株)日立製作所 富士電機(株) 古 河 電 池 (株) 三菱電機(株) (株)明電舎		
電磁接触器 JIS C 8201-1, JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝インフラシステム(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株)				
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート(株) 大垣電機(株) (株)新愛知電機製作所 東芝インフラシステム(株) (株)戸上電機製作所 日本高圧電気(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株)				
指示電気計器 JISC1102(指示電気計器)	J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	(株)指月電機製作所 東芝インフラシステム(株) ニ チ コ ン (株) 日 新 電 機 (株) 三 菱 電 機 (株) 利 昌 工 業 (株) ※1				
非常用照明器具	(社)日本照明器具工業会 のJ I L 適合マークが貼付 されたもの			高圧用変圧器	愛知電機(株) 四 変 テ ッ ク (株) (株)ダイヘン タカオカ化成工業(株)※2 (株)東光高岳 東芝インフラシステム(株) 日 新 電 機 (株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株)明 電 舎 利 昌 工 業 (株) ※2				
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの			※1 モールドコンデンサに限る					
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの			※2 モールド変圧器に限る					
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの								
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの								
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの								
非常警報装置(非常ベル)	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの								
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの								
構内交換装置	(財)電気通信端末機器 審査協会の認定品								



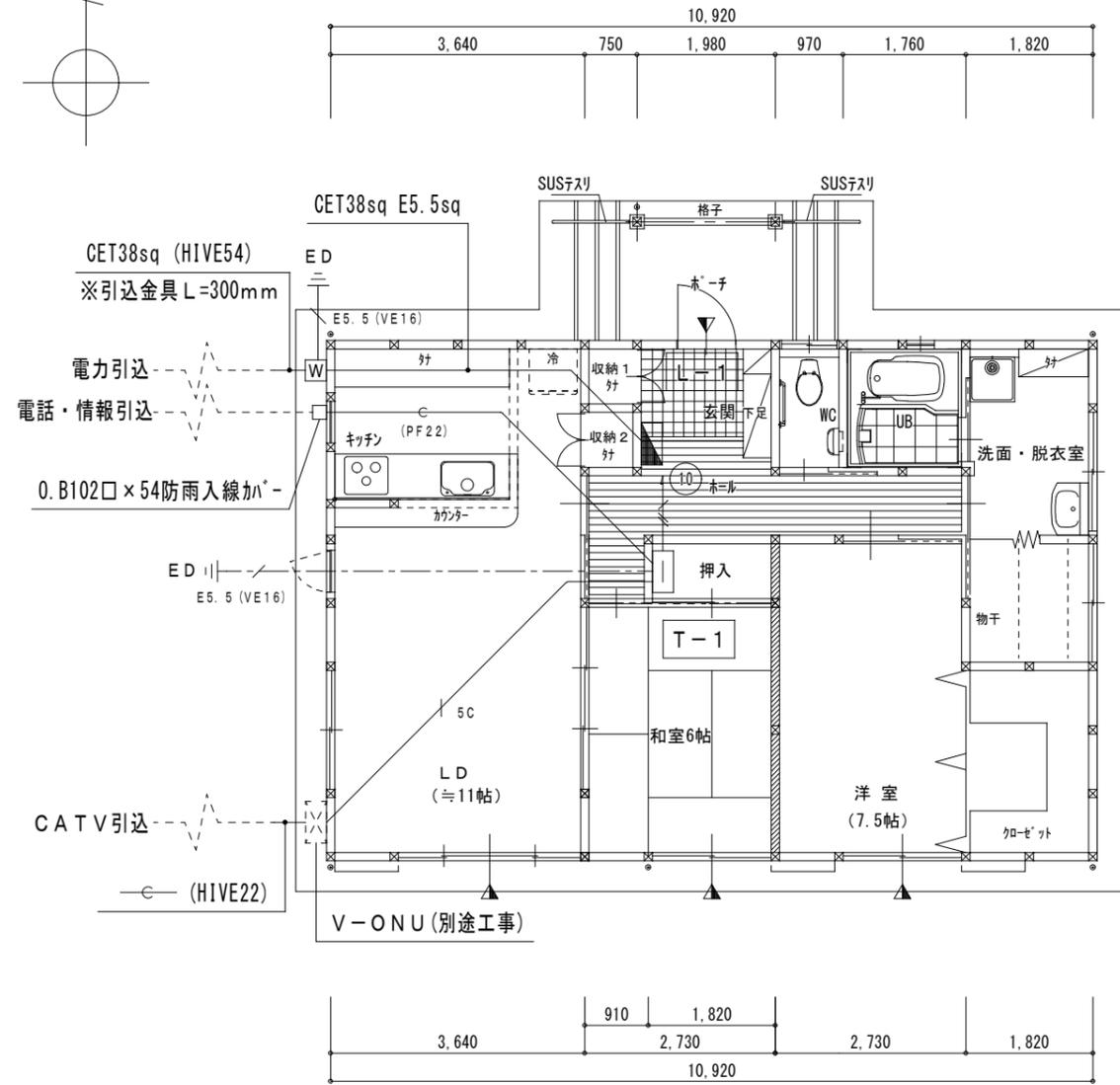
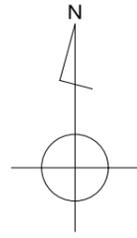
MCB2P30/20AT(100V) x 14
 MCB2P30/20AT(200V) x 3
 MCB2P30/30AT(200V) x 1

◎ 速結アース端子台
ED(ELB)

新設電灯盤L-1 ※市販品可
 樹脂製 露出・半埋込両用型 ドア付

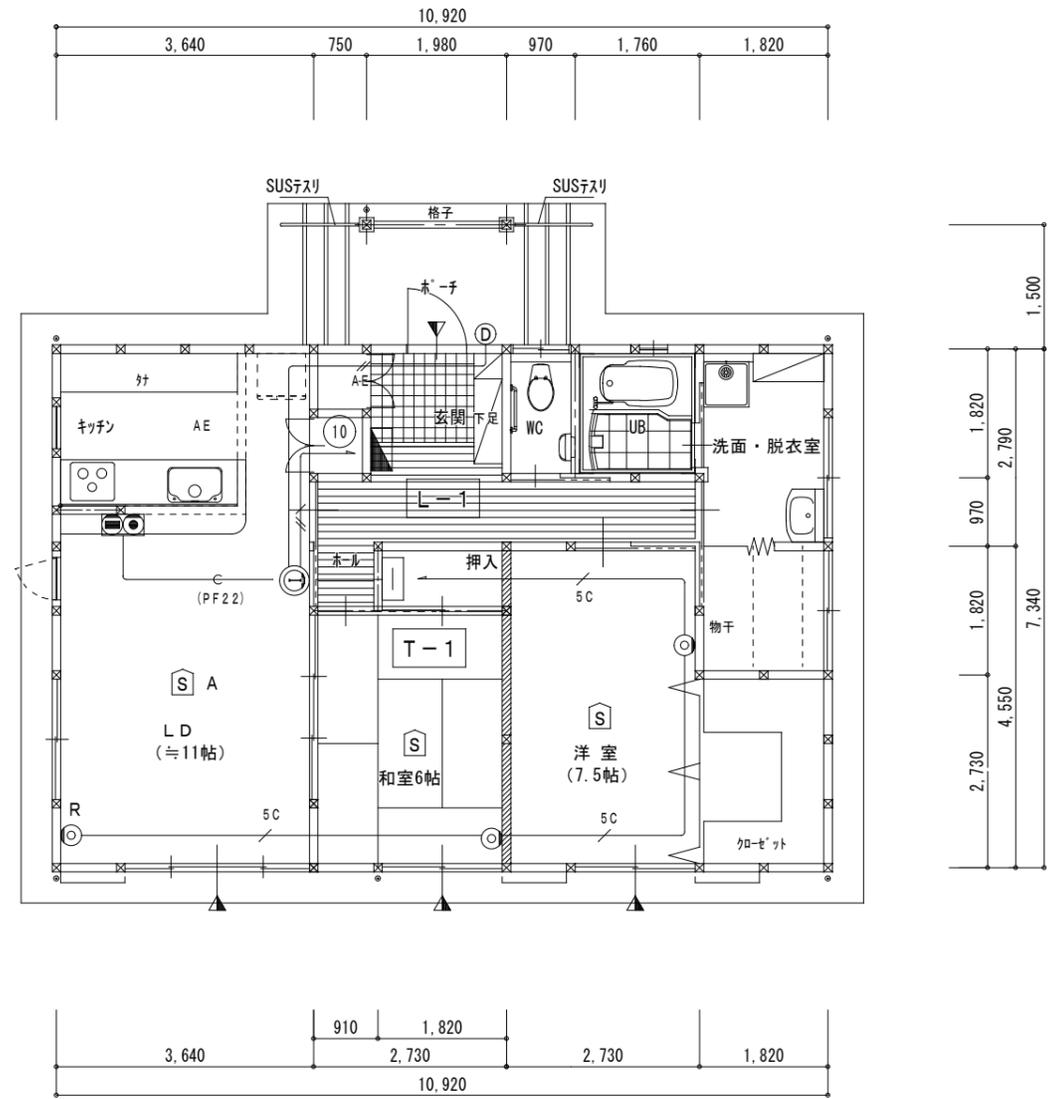


弱電端子盤T-1 ※市販品可
銅板製 露出型



平面図

S=1:100



平面図

S=1:100

記号	名称	備考
	電灯分電盤	図示 L-1 別図参照
	弱電端子盤	図示 T-1 //
	電力量計収納箱	単相3線式 120A 1個用 スマートデザインタイプ
	電話・情報コンセント	電話モジュラー6極4芯×1+CAT6×1 樹脂プレート共
	直列ユニット	一端子 中間 //
	"	一端子 端末 //
	インターホン親機	カラーモニター付
	ドアホン子機	カラーカメラ付
	住宅火災警報器	ワイヤレス運動型 親機 煙型 光電式2種 専用リチウム電池
	"	" 子機 " " " "

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	AE0.9-2C	コロガシ
	S5C-FB	"
	EEF2.0-3C	"
	(PF22)	インベイ

設計年月日	
R07 04 01	

株式会社
プラス1設計室

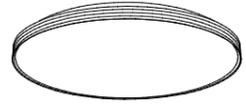
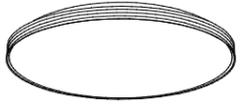
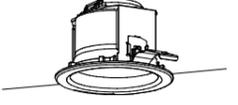
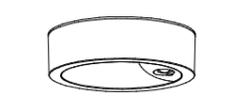
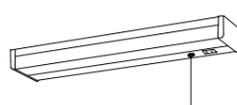
高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也 THINKING KONG

SCALE
S=1:100

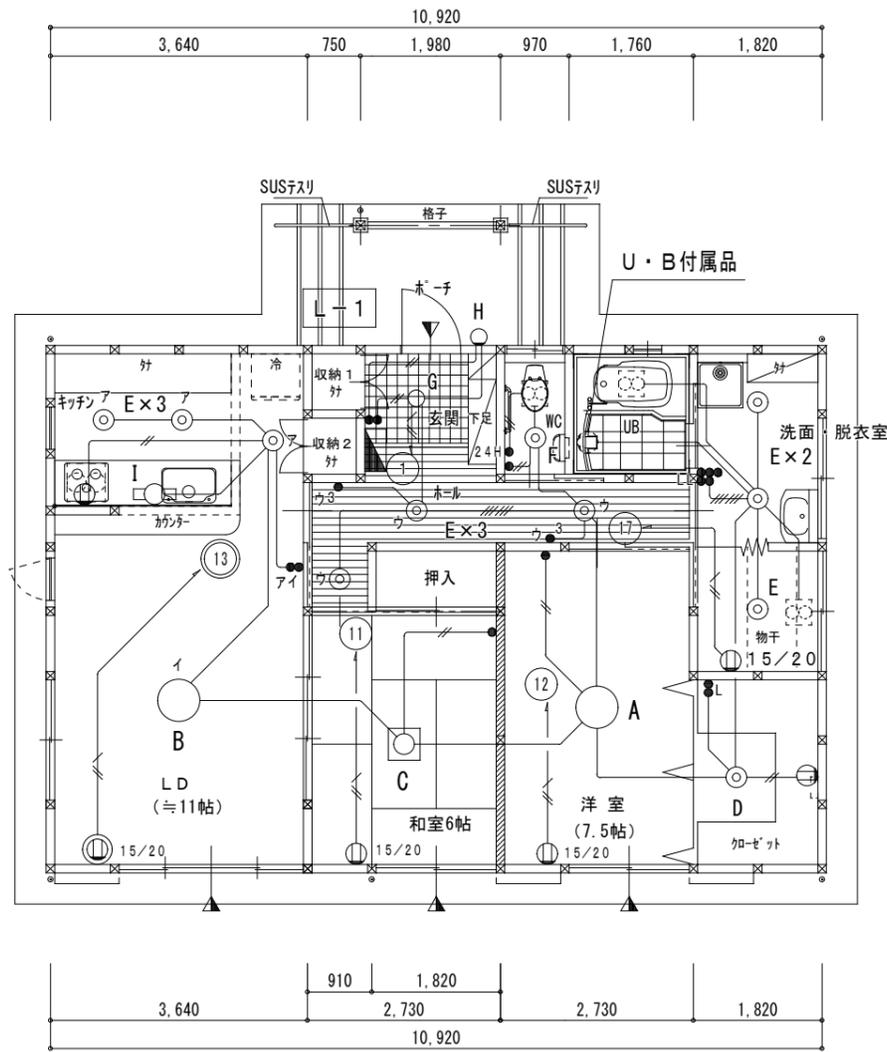
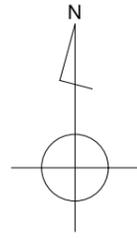
工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称
幹線・弱電設備図

E-04
No. **

照明器具参考姿図

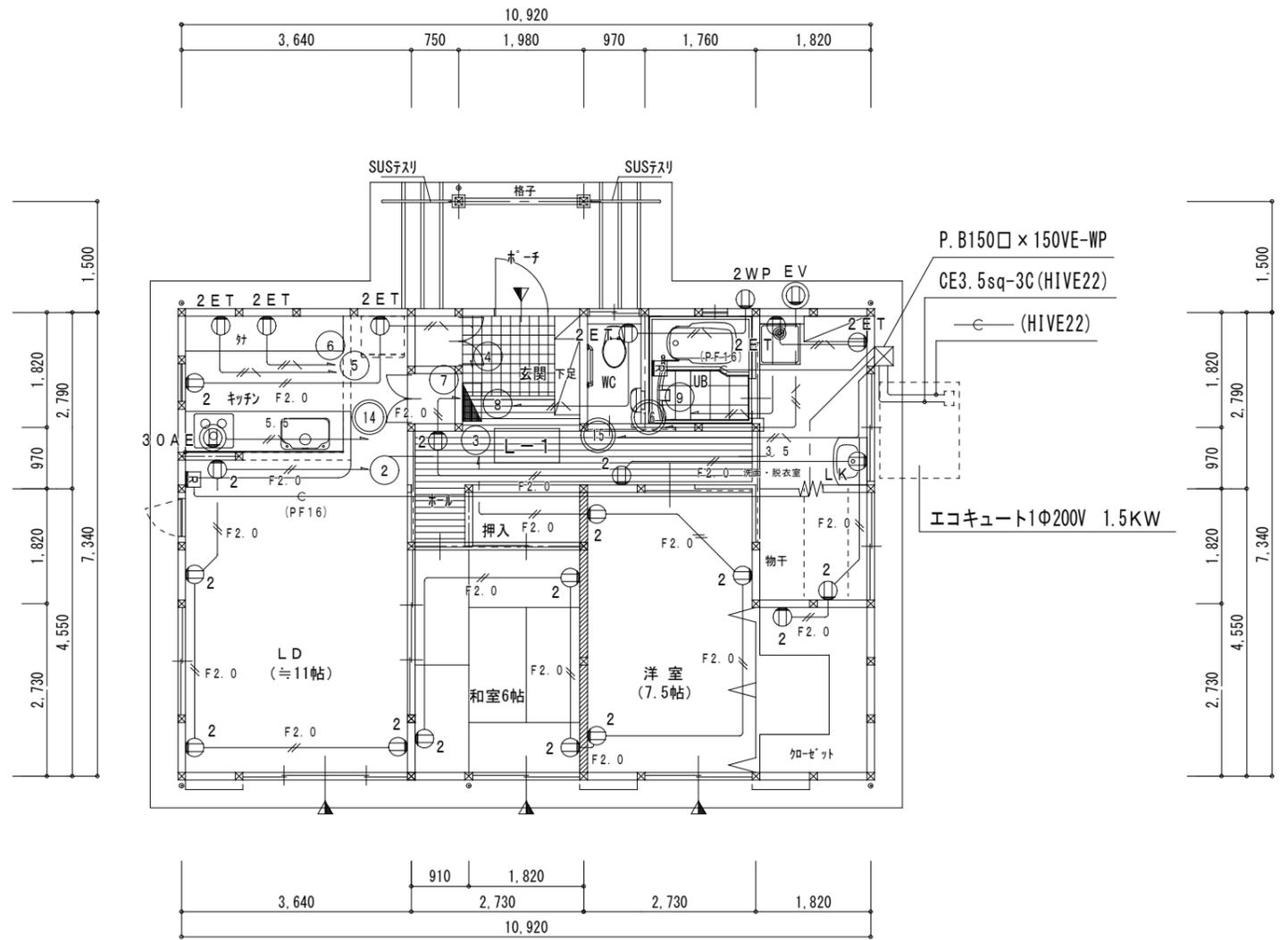
<p>A LEDシーリングライト 8畳タイプ</p> <p>消費電力：32W</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3950lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイト） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC31156K</p>	<p>B LEDシーリングライト 14畳タイプ</p> <p>消費電力：41.3W</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束5050lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイト） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC51156K</p>	<p>C LEDシーリングライト 8畳タイプ</p> <p>消費電力：32W</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3350lm、消費電力32W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、回転金具方式、カチットF 下面パネル：アクリル（乳白つや消し） 側面強化和紙張り、木製（ダークブラウン仕上） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC35823</p>	<p>D LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当</p> <p>消費電力：7.3W</p>  <p>LEDフラットランプφ70 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束700lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：鋼板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100NKCE1</p>	<p>E LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当</p> <p>消費電力：7.3W</p>  <p>LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：鋼板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100LKCE1</p>
<p>F LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当</p> <p>消費電力：5W</p>  <p>LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束440lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：鋼板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD1100LKCE1</p>	<p>G LEDシーリングライト 100形電球1灯器具相当</p> <p>消費電力：8.1W</p>  <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束810lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵 人感センサーON/OFF・明るさセンサー付、拡散タイプ カバー：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGBC58022LE1</p>	<p>H LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当</p> <p>消費電力：7.1W</p>  <p>電球色（2700K）、Ra83 器具光束515lm、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 ツマミネジ方式、人感センサーON/OFF・明るさセンサー付 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGWC80360LE1</p>	<p>I LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当</p> <p>消費電力：12W</p>  <p>昼白色（5000K）、Ra83 電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） プルスイッチ付、両面化粧タイプ パナソニック LGB52097LE1</p>	

※照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3の測定方法による。



平面図

S=1:100



平面図

S=1:100

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	図示 L-1 別図参照
●	埋込スイッチ	1P15A×1 ホタル・ネーム付 ワイドプレート共
●3	"	3W15A×1 ホタル・ネーム付 "
⊙2	埋込コンセント	2P15A×2 "
⊙ET	"	2P15A×1 ET "
⊙2ET	"	2P15A×2 "
⊙LK	"	2P15A×1 抜止 "
⊙15/20	"	2P15/20A×1 EET (100V) "
⊙15/20	"	2P15/20A×1 EET (200V) "
⊙2WP	防水コンセント	2P15A×2 EET
⊙30AE	露出コンセント	2P30A E付×1(200V)
⊙EV	EV・PHEV充電用コンセント	2P15/20A E付×1(200V) Panasonic:WK4322S
□	給湯器リモコン支給品取付	機械設備工事支給品 スイッチボックス2個用に取付
●24H	24時間換気用スイッチ取付	機械設備工事支給品

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
———	EEF1.6-2C	コロガン
———	EEF1.6-3C	"
———	EEF1.6-2C×2	"
———	EEF1.6-2C+3C	"
——— F2.0	EEF2.0-2C	"
———	EEF2.0-3C	"
——— 3.5	CE3.5sq-3C	"
——— 5.5	CE5.5sq-3C	"
——— (PF16)	——— (PF16)	インペイ

設計年月日	
R07 04 01	

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也



SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称
電灯コンセント設備図

E-06
No. E